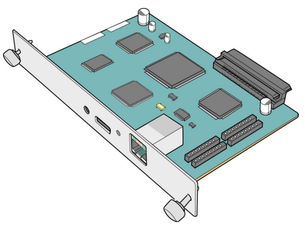
CASIO

CASIO SPEEDIA N5000 Series
CASIO SPEEDIA N5/N4-614 Series
CASIO SPEEDIA CP-E8500 Series
CASIO SPEEDIA CP-E8000 Series
CASIO COLOR PAGEPRESTO N4 Series
CASIO PAGEPRESTO CP-7000 Series

Ethernet Board ***CP-NW110***

ユーザーズマニュアル

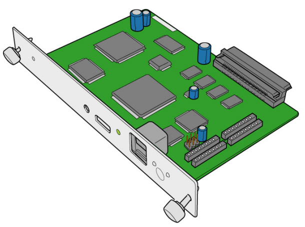
【注意】CP-NW110 ＬＡＮボード用 ファームウェア(制御用ソフトウェア)は、CP-NW110,CP-NW100SP,CP-NW100L,CP-NW100 の各モデル共通のソフトウェアですが、ハードウェアの相違によりお取り扱い方法が若干異なります。このユーザーズマニュアルでは以下のような図にてハードウェアの相違による差異に関して記載してあります。



《青色のコンピュータ基板》
ご購入いただいた際の製品名が、

・CP-NW110

のお客様は、本ユーザーズマニュアルをご利用願います。



《緑色のコンピュータ基板》
ご購入いただいた際の製品名が、

・CP-NW100SP　・CP-NW100L　・CP-NW100

で、CP-NW110用ﾌｧｰﾑｳｪｱ(制御ｿﾌﾄｳｪｱ)を使用してバージョンアップをおこなったお客様は、本ユーザーズマニュアルをご利用願います。
※CP-NW110へのバージョンアップをおこなっていないお客様は、CP-NW100用(製品に添付されています)ユーザーズマニュアルをご利用願います。

2003.11.20　第 7．4版　発行
CPNW11-PDFUM0704

☆☆☆　CP-NW110用 ソフトウェア 使用許諾について　☆☆☆

●本ユーザーズマニュアルに記載されている全てのソフトウェア（以下、ソフトウェアと略す）の全部または一部を修正、改変したり、リバースエンジニアリング、逆コンパイル等することはできません。
●ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
●ソフトウェアを営利目的で第三者に譲渡、貸与する事はできません。
●ソフトウェアに関する著作権表記を改変することはできません。
●ソフトウェアは、将来予告無しに改良されることがあります。
●ソフトウェアの著作権は、カシオ計算機株式会社、カシオ電子工業株式会社、株式会社ＡＣＣＥＳＳに帰属します。
●ソフトウェアの導入は、お客様の責任においておこなってください。

本ＬＡＮボード（ＣＰ－ＮＷ１１０）は、SPEEDIA N5000/N5/N4-614シリーズ／ SPEEDIA CP-E8500/CP-E8000シリーズ ／ COLOR PAGEPRESTO N4シリーズ／ PAGEPRESTO CP-7000シリーズ（クラスＢ正規装置）のオプションです。
本オプションを使用した場合、システムの適合レベルは以下の通りです。

N5000ｼﾘｰｽﾞ/N5ｼﾘｰｽﾞ/N4-614ｼﾘｰｽﾞ/CP-E8500ｼﾘｰｽﾞ/CP-E8000ｼﾘｰｽﾞ/N4ｼﾘｰｽﾞ/CP-7000ｼﾘｰｽﾞのシステム・・・・・・ｸﾗｽA　正規

なお、本オプションを使用すると、SPEEDIA N5000/N5/N4-614シリーズ ／ SPEEDIA CP-E8500/CP-E8000シリーズ ／ COLOR PAGEPRESTO N4シリーズ ／ PAGEPRESTO CP-7000シリーズ　は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ごあいさつ

このたびは、カシオ SPEEDIA N5000/N5/N4-614シリーズ，SPEEDIA CP-E8500/CP-E8000シリーズ，COLOR PAGEPRESTO N4シリーズ，PAGEPRESTO CP-7000シリーズ および Ethernet Board CP-NW110 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は、カシオ SPEEDIA N5000/N5/N4-614シリーズ，SPEEDIA CP-E8500/CP-E8000シリーズ，COLOR PAGEPRESTO N4シリーズ，PAGEPRESTO CP-7000シリーズのプリンタをEthernetに直接接続するためのインターフェイスボードです。これにより、Ethernetケーブルが敷設されている所であればどこにでもプリンタを設置することができます。(敷設されている10Base-T/100Base-TX規格のコンセントレータ(Hub)へ、10Base-T/100Base-TXケーブルで接続して使用します。)

また、本マニュアルは「N5000シリーズ/N5シリーズ/N4-614シリーズ/CP-E8500シリーズ/CP-E8000シリーズ/N4シリーズ/CP-7000シリーズ用LANボード CP-NW110」を正しくご使用いただくための基本的な取り扱い方法等について記載してあります。

注）ご使用にあたっては、ネットワーク管理者の方の指導のもとに運用してください。

＜本書の適用機種＞
・ＣＰ－ＮＷ１１０（TCP/IP,IPX/SPX,SNMP,DHCP,BOOTP，RARP，HTTPDで使用できます）

＜おことわり＞
画面表示等が実際のものと一部異なる場合があります。

本書の見方

１．使用されるプロトコル毎の設定

ＬＡＮボードをTCP/IPで使用するか、またはNetWareで使用するか、またはTCP/IP、NetWareで共通で使用するかによって設定の方法が一部異なります。本マニュアルでは各ページのヘッダ部分により以下のように分類されています。

（１）TCP/IPに関するページ

ＴＣＰ／ＩＰ	~~ＮｅｔＷａｒｅ~~

（２）NetWareに関するページ

~~ＴＣＰ／ＩＰ~~	ＮｅｔＷａｒｅ

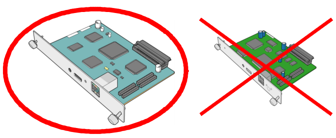
（３）TCP/IP、NetWareで共通のページ

ＴＣＰ／ＩＰ	ＮｅｔＷａｒｅ

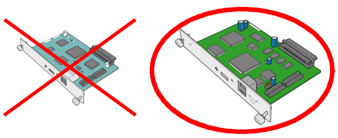
２．使用されるＬＡＮボードハードウェア個別の設定または取り扱いに関するページ

CP-NW110 ＬＡＮボード用 ファームウェア(制御用ソフトウェア)は、
CP-NW110 ，CP-NW100SP ，CP-NW100L ，CP-NW100
の各モデル共通のソフトウェアですが、ハードウェアの相違によりお取り扱い方法が若干異なります。このユーザーズマニュアルでは以下のような図にてハードウェアの相違による個別の設定またはお取り扱いに関してページ毎に記載してあります。
お間違えのないようにご注意ください。

（１）ご購入いただいた製品が『*ＣＰ－ＮＷ１１０*』の場合にお読みいただくページ。
☆製品基板面が図のような青色のコンピュータ基板になっています。



（２）ご購入いただいた製品が『*ＣＰ－ＮＷ１００ＳＰ*』『*ＣＰ－ＮＷ１００Ｌ*』『*ＣＰ－ＮＷ１００*』の場合にお読みいただくページ。
☆製品基板面が図のような緑色のコンピュータ基板になっています。



（３）共通でお読みいただくページ。
※上述の様な図が記載されていないページです。

目次

ごあいさつ

第１章　ＬＡＮボードご利用手順

第２章　ＬＡＮボード用コマンド解説

空白ページ

第１章　ＬＡＮボードご利用手順

１．ご利用の手順及びハードウェアの設定

ＴＣＰ／ＩＰ	ＮｅｔＷａｒｅ

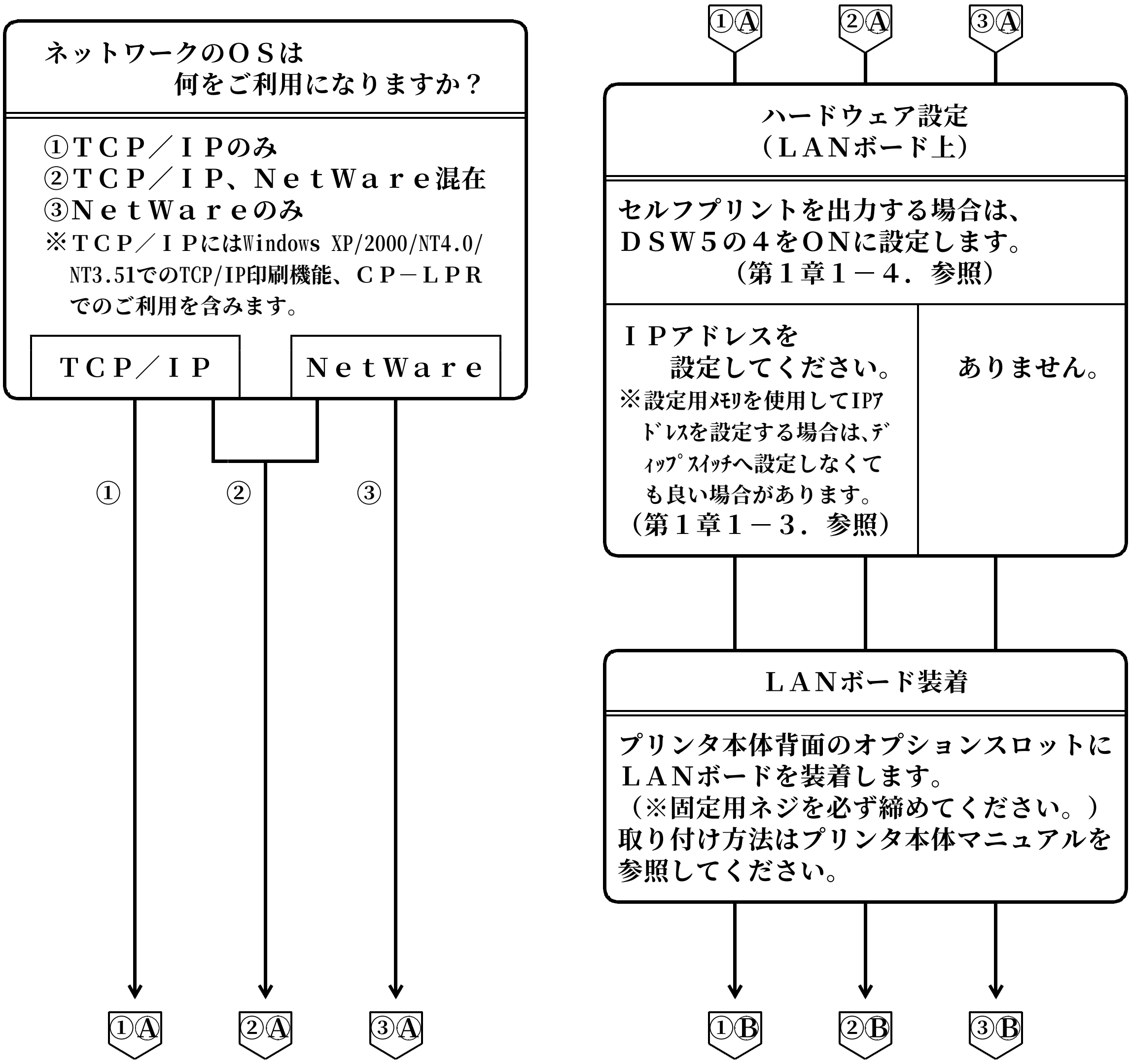
１－１．装着手順に関するフローチャート

　ＬＡＮボードの装着は、以下に示すフローチャートの手順に従って行ってください。
フローチャートの各ボックスに対応する詳細説明は、ボックス内に付記された指示ページを参照してください。

　ＬＡＮボードのインストールに関する作業は、基本的にはシステム管理者（NetWare:Admin／UNIX:superuser／WindowsNT:Administrator／Windows 2000:Administrator／Windows XP:Administrator）に委ねられるべきものです。作業を代行する場合に於いても、必ずシステム管理者の同意を得た後におこなってください。

　特に、ＰＳＥＲＶＥＲのＵＮＬＯＡＤ（ＮｅｔＷａｒｅ）やプリントモードの選択（同左）、またｐｒｉｎｔｃａｐファイルの変更（ＵＮＩＸ）など、現在運用中のシステム環境に深刻な影響を与える可能性のあるオペレーションが含まれており、慎重な作業進行をお願いします。

　ＣＰ－ＬＰＲについては「第１章　２－５．ＣＰ－ＬＰＲでのご利用について」を参照してください。



①Ⓑ　②Ⓑ　③Ⓑ

プリンタ本体電源投入

ハードウェア設定
（プリンタ本体）

ＬＡＮボードのご使用にあたっては、プリンタ本体の「ポート設定」が「オプション」になっていることを確認してください。「ポート設定」が「パラレル」になっている場合は「オプション」に設定してください。
※ポート設定の無いプリンタでは必要ありません
（第１章１－８．参照）

セルフプリント出力

ＳＷ５の４がＯＮであれば、セルフプリントが出力され、接続が確認できます。
（第１章１－９．参照）
（※出力後は、ＳＷ５の４を
元の0FFの位置に戻してください。）

NetWare用ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ実行

マシン名を確認します。
マシン名　CPxxxxxx
（第２章３．参照）

①Ⓒ　②Ⓒ　③Ⓒ

①Ⓒ　②Ⓒ　③Ⓒ

ソフトウェア設定
（基本設定）

UNIXﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝの設定
（第１章２－３．参照）
または
Windows XP/2000/NT4.0
/NT3.51 ＣＰ－ＬＰＲ
の 設定
（第１章２－４．参照）

PCONSOLEによる設定
（第１章３．参照）

ソフトウェア設定
（ＬＡＮボード個別設定）

telnetによる設定
（第２章１．参照）
または
WWWﾌﾞﾗｳｻﾞによる設定
（第２章４．参照）

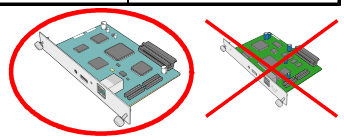
CP1CONFによる設定
（第２章２．参照）
または
CPNAIXSによる設定
（第２章３．参照）

準　備　完　了

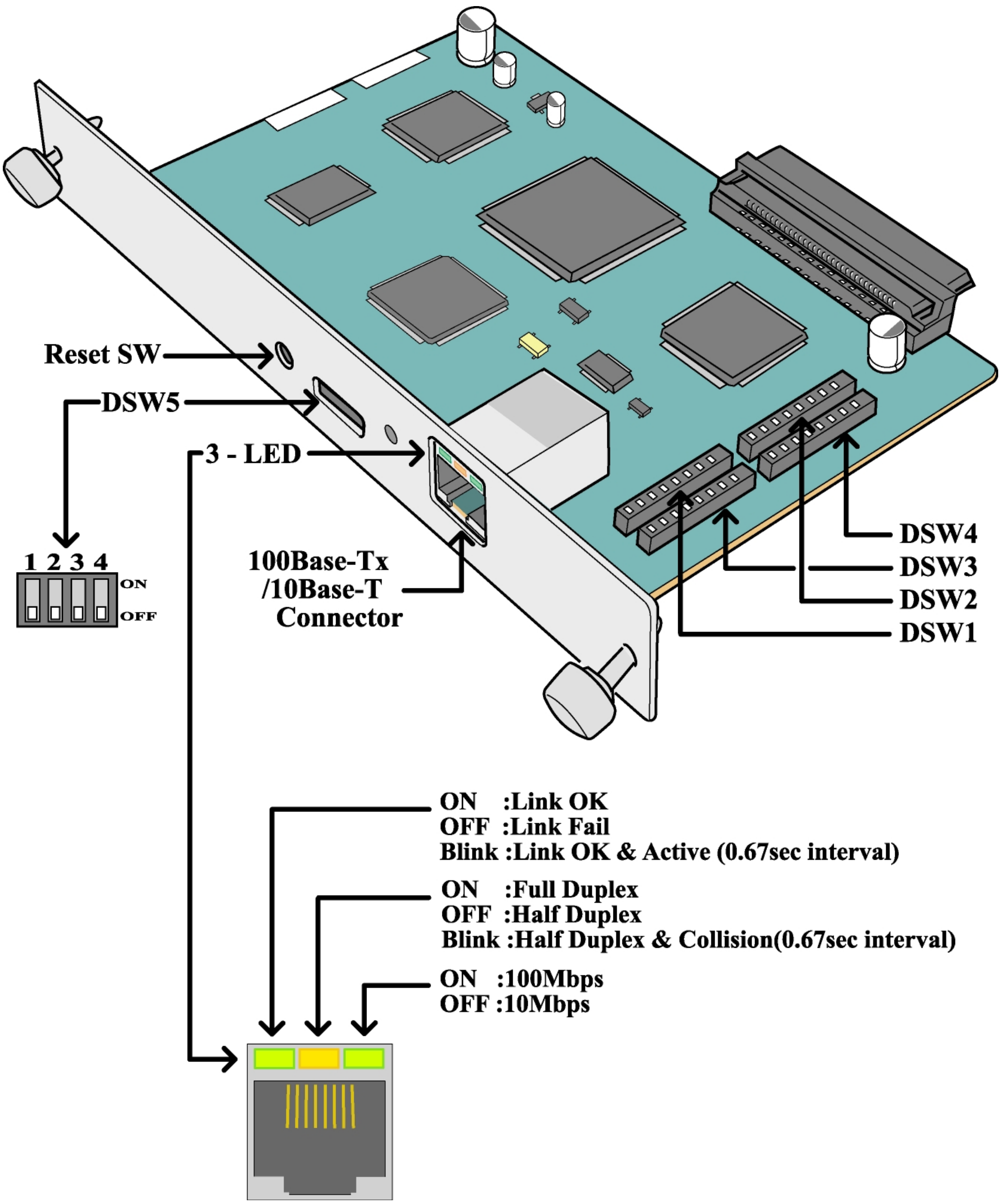
１－２．ハードウェアの構成

ＴＣＰ／ＩＰ	ＮｅｔＷａｒｅ

［１］《青色のコンピュータ基板》の場合

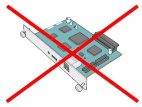


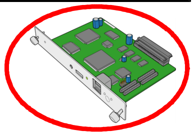
《注意》　ＬＡＮボードをプリンタに装着、または取外す際には、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。



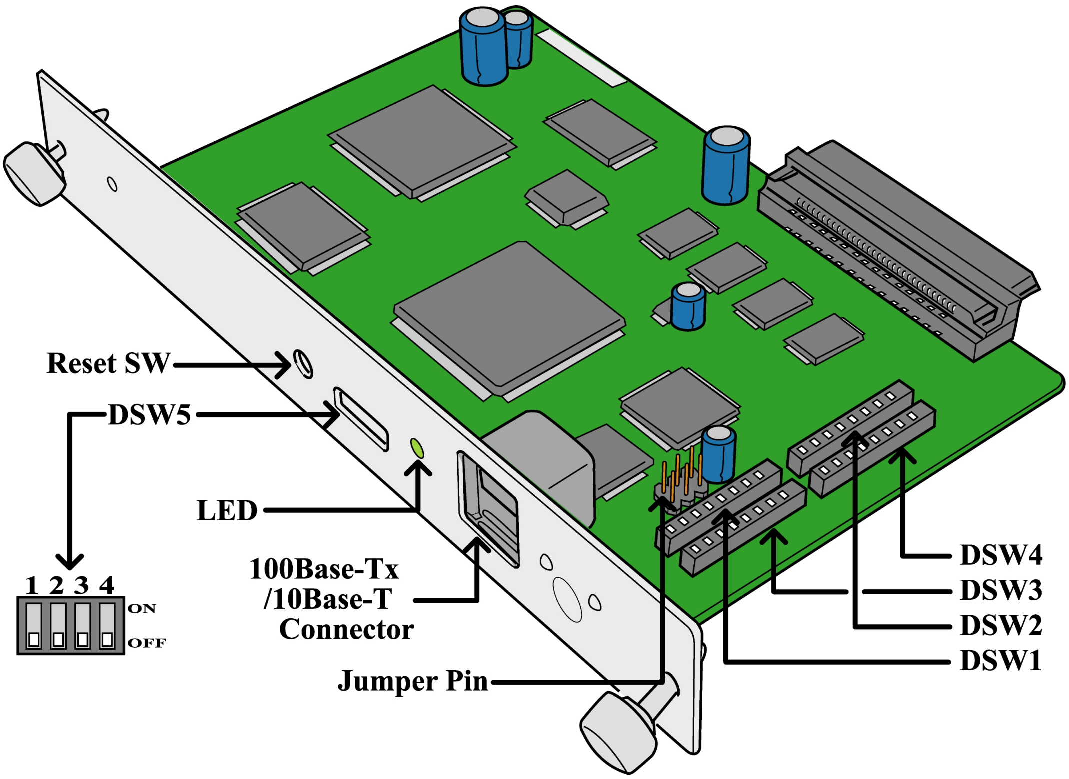
ＴＣＰ／ＩＰ	ＮｅｔＷａｒｅ

［２］《緑色のコンピュータ基板》の場合





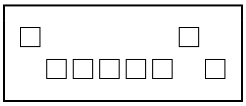
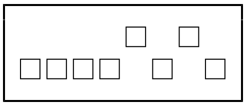
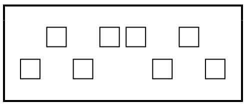
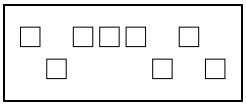
《注意》　ＬＡＮボードをプリンタに装着、または取外す際には、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。



ＬＡＮボードをＴＣＰ／ＩＰ環境で使用する場合には、そのシステム環境で予め定められているＩＰアドレスを、基板上のディップスイッチで設定する必要があります。
※設定用ﾒﾓﾘへIPｱﾄﾞﾚｽを設定する場合や、RARP/BOOTP/DHCPの各ﾌﾟﾛﾄｺﾙを使用してIPｱﾄﾞﾚｽの設定をおこなう場合は､ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁでIPｱﾄﾞﾚｽを設定しなくても良い場合があります。お使いのｺﾝﾋﾟｭｰﾀの「ＡＲＰコマンド」を使用してLANﾎﾞｰﾄﾞのIPｱﾄﾞﾚｽの仮設定をおこなった後、「telnet」または「WWWﾌﾞﾗｳｻﾞ」を使用しておこなうLANﾎﾞｰﾄﾞの環境変数設定にて、IPｱﾄﾞﾚｽをはじめ必要な設定をおこなうことができます。
（ＩＰアドレスの設定については、再度「第１章２．ＴＣＰ／ＩＰでのご利用について」で述べます。）
例えば割り当てられたＩＰアドレスが「１３０．１０．９０．１８６」である場合、下表に示すような設定となります。

ＩＰアドレスはシステム管理者によって管理されている内容です。ＩＰアドレスの設定にあたっては、システム管理者の了承のもとで行ってください。

■基板上のディップスイッチの位置は、「第１章１－５．ＥＴＨＥＲＮＥＴアドレスについて」の基板概略図を参照してください。
■ＩＰアドレスの１０進→１６進変換、１６進→２進変換については、次ページのコード変換表を参照してください。

ＩＰアドレス	１３０．(①) １０．(②) ９０．(③) １８６ (④) 《例示》				ディップスイッチ
	１０進		１６進		２進	
ＤＳＷ１：①	１ ３ ０	→	８ ２	→	１ ０ ０ ０ ０ ０ １ ０	DSW1 ON  １２３４５６７８
ＤＳＷ２：②	１ ０	→	０ Ａ	→	０ ０ ０ ０ １ ０ １ ０	DSW2 ON  １２３４５６７８
ＤＳＷ３：③	９ ０	→	５ Ａ	→	０ １ ０ １ １ ０ １ ０	DSW3 ON  １２３４５６７８
ＤＳＷ４：④	１ ８ ６	→	Ｂ Ａ	→	１ ０ １ １ １ ０ １ ０	DSW4 ON  １２３４５６７８

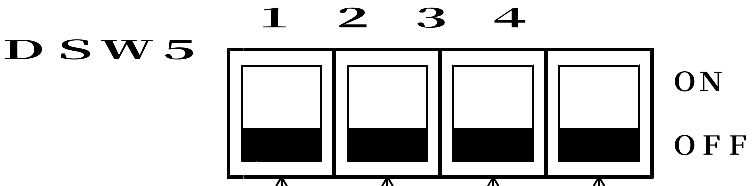
【１６進数←→１０進数変換表】

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	16	32	48	64	80	96	112	128	144	160	176	192	208	224	240
1	1	17	33	49	65	81	97	113	129	145	161	177	193	209	225	241
2	2	18	34	50	66	82	98	114	130	146	162	178	194	210	226	242
3	3	19	35	51	67	83	99	115	131	147	163	179	195	211	227	243
4	4	20	36	52	68	84	100	116	132	148	164	180	196	212	228	244
5	5	21	37	53	69	85	101	117	133	149	165	181	197	213	229	245
6	6	22	38	54	70	86	102	118	134	150	166	182	198	214	230	246
7	7	23	39	55	71	87	103	119	135	151	167	183	199	215	231	247
8	8	24	40	56	72	88	104	120	136	152	168	184	200	216	232	248
9	9	25	41	57	73	89	105	121	137	153	169	185	201	217	233	249
A	10	26	42	58	74	90	106	122	138	154	170	186	202	218	234	250
B	11	27	43	59	75	91	107	123	139	155	171	187	203	219	235	251
C	12	28	44	60	76	92	108	124	140	156	172	188	204	220	236	252
D	13	29	45	61	77	93	109	125	141	157	173	189	205	221	237	253
E	14	30	46	62	78	94	110	126	142	158	174	190	206	222	238	254
F	15	31	47	63	79	95	111	127	143	159	175	191	207	223	239	255

【１６進数←→２進数変換表】

16 進数	2 進数
0	0000
1	0001
2	0010
3	0011
4	0100
5	0101
6	0110
7	0111

16 進数	2 進数
8	1000
9	1001
A	1010
B	1011
C	1100
D	1101
E	1110
F	1111



セルフ印刷／セルフチェック	４
行う	ＯＮ
行わない	ＯＦＦ

各種設定用メモリ	３
初期化する	ＯＮ
初期化しない	ＯＦＦ

リザーブ	２
未使用	ＯＦＦ

ＩＰアドレス設定方法	１
ＩＰｱﾄﾞﾚｽ設定用DSW(DSW1,DSW2,DSW3,DSW4)設定優先	ＯＮ
設定用メモリ設定優先	ＯＦＦ

①セルフ印刷／セルフチェック
「第１章１－９．セルフプリントについて」を参照してください。

②各種設定用メモリ
各種設定用メモリＤＳＷをＯＮに設定すると電源投入時に、各種設定用メモリの内容が工場出荷時の設定に戻ります。

③リザーブ
未使用です。必ずＯＦＦにしてください。

④ＩＰアドレス設定方法
「ＩＰｱﾄﾞﾚｽ設定用DSW(DSW1,DSW2,DSW3,DSW4)設定優先」を有効にすると「第１章１－３．ＩＰアドレスの設定」の要領で設定されたＩＰアドレスが有効になります。
また、「設定用メモリ設定優先」を有効にするとＩＰアドレスは「ip_decision(IP決定方法)設定変数」の設定値にしたがって、「ip_address(IPｱﾄﾞﾚｽ)設定変数」、ＤＨＣＰマネージャ、ＢＯＯＴＰマネージャ、ＲＡＲＰマネージャにより決定されます。次ページを参照してください。　くわしくはシステム管理者にお尋ねください。

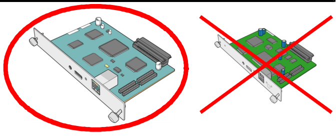
【ＩＰアドレス設定方法】

①設定用メモリ設定優先
「ip_decision(IP決定方法)設定変数」※1の設定値に応じてＩＰアドレスを決定します。
・normalの場合(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ)
「ip_address設定変数」※1の設定値をＩＰアドレスとします。
「ip_address設定変数」が「0.0.0.0(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ)」の場合は「ＩＰｱﾄﾞﾚｽ設定ＤＳＷ」の設定値※2をＩＰアドレスとします。
・dswの場合
「ＩＰｱﾄﾞﾚｽ設定ＤＳＷ」の設定値をＩＰアドレスとします。
・bootpの場合
「BOOTP」を使用してＩＰアドレスを設定します。
・dhcpの場合
「DHCP」を使用してＩＰアドレスを設定します。
・rarpの場合
「RARP」を使用してＩＰアドレスを設定します。

②ＩＰアドレス設定用DSW(DSW1,DSW2,DSW3,DSW4)設定優先
「ＩＰアドレス設定ＤＳＷ」の設定値に応じてＩＰアドレスを決定します。
「ＩＰアドレス設定ＤＳＷ」の設定値をＩＰアドレスとします。
「ＩＰアドレス設定ＤＳＷ」が「0.0.0.0(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ)」の場合は「ip_decision設定変数」の設定値に応じてＩＰアドレスを決定します。
・normalの場合(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ)
「ip_address(IPｱﾄﾞﾚｽ)設定変数」の設定値をＩＰアドレスとします。
・dswの場合
インターネットプロトコル(ＩＰ)は使用できません。
・bootpの場合
「BOOTP」を使用してＩＰアドレスを設定します。
・dhcpの場合
「DHCP」を使用してＩＰアドレスを設定します。
・rarpの場合
「RARP」を使用してＩＰアドレスを設定します。

※1:「ip_decision(IP決定方法)設定変数」、「ip_address(IPｱﾄﾞﾚｽ)設定変数」はＬＡＮボード内部の設定です。「第２章　６．設定可能変数一覧」を参照してください。
※2:「ＩＰｱﾄﾞﾚｽ設定ＤＳＷ」も「0.0.0.0(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ)」の場合は、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの「ＡＲＰコマンド」を使用してＩＰアドレスの仮設定がおこなえます(「ip_address(IPｱﾄﾞﾚｽ)設定変数」へは設定されません)。ＩＰアドレス仮設定をおこなった後、「ｔｅｌｎｅｔ」または「WWWブラウザ」を使用してＬＡＮボードの環境変数設定をおこなうことができます。詳しくは「第２章　１．ＴＣＰ／ＩＰでの設定コマンド」「第２章　４．WWWブラウザでの設定」を参照してください。
※3:上記設定方法にて設定を試みた際にＩＰアドレスが未決定または使用を禁じられているＩＰアドレス(255.255.255.255, 0.0.0.0等)に決定された場合は、インターネットプロトコル(ＩＰ)は使用できません。

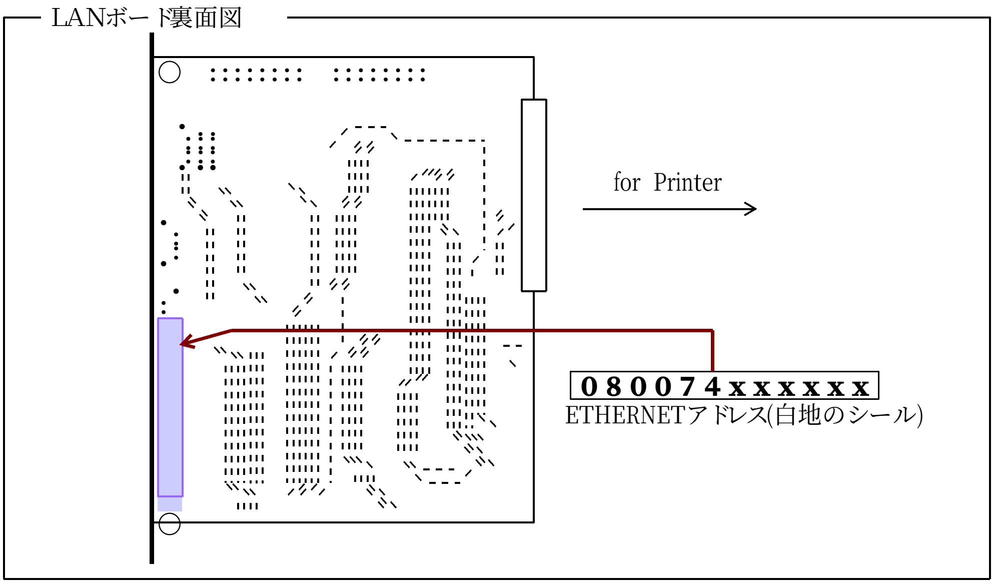
［１］《青色のコンピュータ基板》の場合

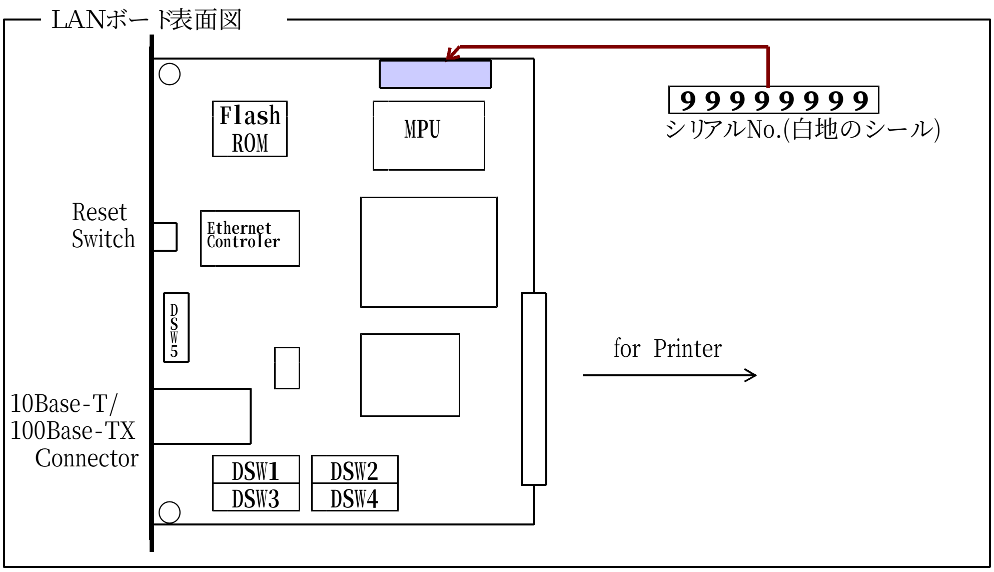


ＬＡＮボードのETHERNETアドレスは、ＬＡＮボードからセルフテストプリントを出力するか、本体添付のシールにより確認できます。

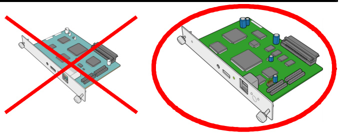
また、このETHERNETアドレスの下６桁は、「machine_name(ﾏｼﾝ名)設定変数」のデフォルト文字列の一部として使用していますので、NetWareのデフォルトのプリンタ名やWINS(Windows Internet Name Service)でのﾉｰﾄﾞ名(NetBIOS名)、SNMPのｼｽﾃﾑ名(sysName)に使用されています。

《注意》　ＬＡＮボードをプリンタに装着、または取外す際には、必ずプリンタ本体の電源を切ってからおこなってください。



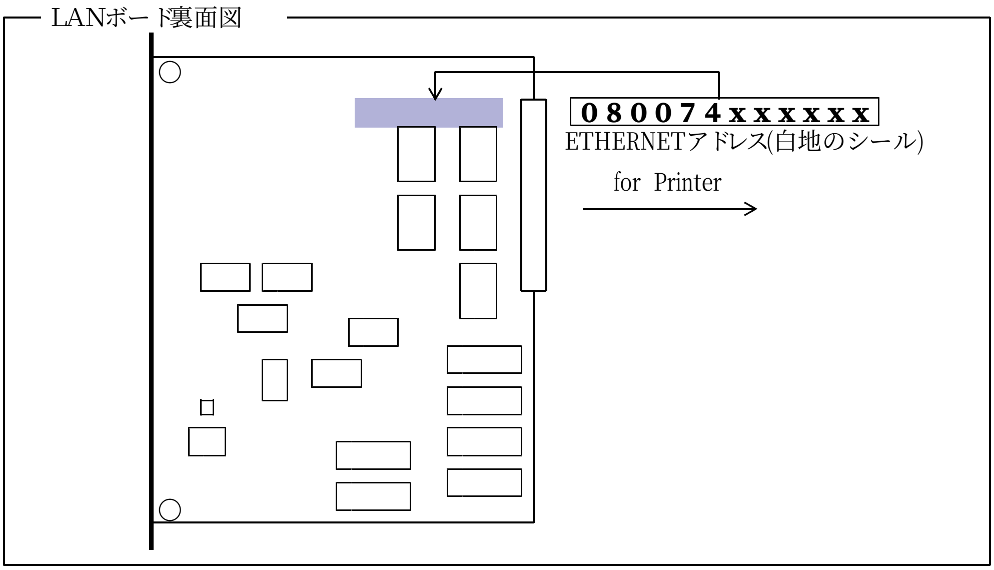


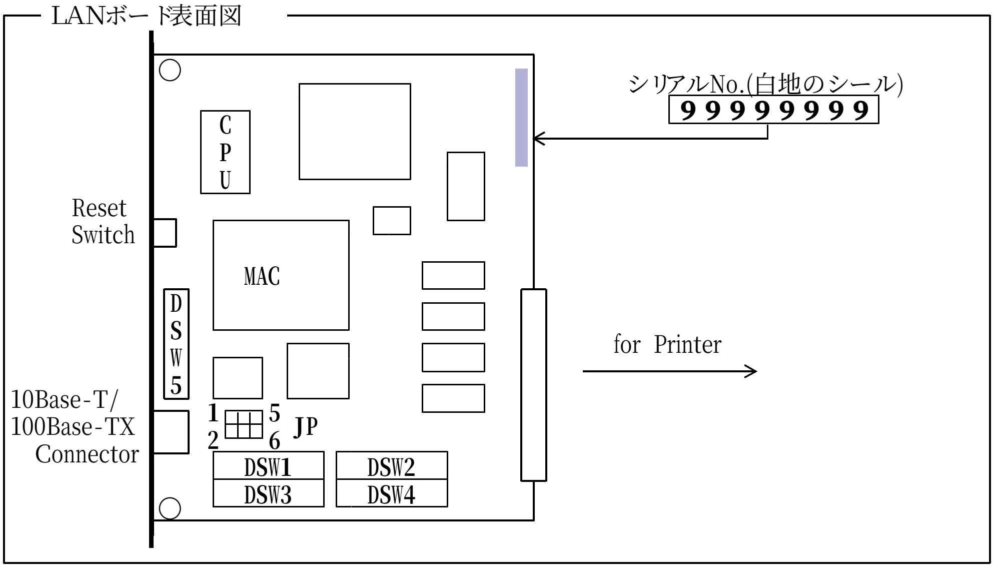
［2］《緑色のコンピュータ基板》の場合



ＬＡＮボードのETHERNETアドレスは、ＬＡＮボードからセルフテストプリントを出力するか、本体添付のシールにより確認できます。
また、このETHERNETアドレスの下６桁は、「machine_name(ﾏｼﾝ名)設定変数」のデフォルト文字列の一部として使用していますので、NetWareのデフォルトのプリンタ名やWINS(Windows Internet Name Service)でのﾉｰﾄﾞ名(NetBIOS名)、SNMPのｼｽﾃﾑ名(sysName)に使用されています。

《注意》　ＬＡＮボードをプリンタに装着、または取外す際には、必ずプリンタ本体の電源を切ってからおこなってください。

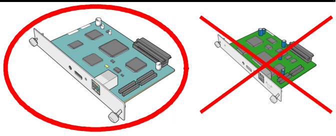




１－６．通信速度／通信モードについて

ＴＣＰ／ＩＰ	ＮｅｔＷａｒｅ

［１］通信速度／通信モード決定方法
《青色のコンピュータ基板》の場合



ＬＡＮボードは10Base-Tと100Base-TXの通信速度、および全二重と半二重の通信モードで使用することができます。

ＬＡＮボードは、ご使用になるシステム環境で定められている通信速度／通信モードを自動的に検索して決定します。

検索順序は、以下の通りとなっています。

①通信速度／通信モード検索スタート

②IEEEにより規定されたAutoNegotiation機能を用いて、ＬＡＮボードが接続された機器との間でﾈｺﾞｼｴｰｼｮﾝ(交渉)をおこない、通信速度／通信モードを決定します。

③通信速度を100Mbps、通信モードを全二重に設定して、ＬＡＮボードが接続された機器との間で通信が確立するか試みます。通信が確立した場合は、通信速度を100Mbps、通信モードを全二重に決定します。

④通信速度を100Mbps、通信モードを半二重に設定して、ＬＡＮボードが接続された機器との間で通信が確立するか試みます。通信が確立した場合は、通信速度を100Mbps、通信モードを半二重に決定します。

⑤通信速度を10Mbps、通信モードを全二重に設定して、ＬＡＮボードが接続された機器との間で通信が確立するか試みます。通信が確立した場合は、通信速度を10Mbps、通信モードを全二重に決定します。

⑥通信速度を10Mbps、通信モードを半二重に設定して、ＬＡＮボードが接続された機器との間で通信が確立するか試みます。通信が確立した場合は、通信速度を10Mbps、通信モードを半二重に決定します。

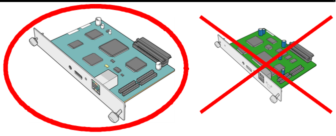
⑦以上の検索をおこなってもＬＡＮボードが接続された機器との間で通信が確立しなかった場合は、一定時間間隔をおいた後、再度上記①より順に検索処理をおこないます。

決定した通信速度／通信モードは以下の方法により確認することができます。

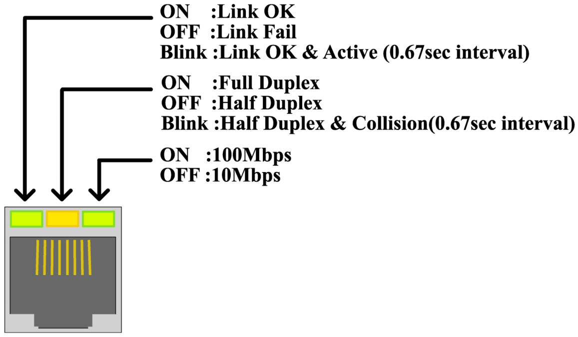
a)プリンタ本体「ＬＡＮ設定印刷」機能がある場合、ＬＡＮ設定印刷印刷をおこない確認する。(「第１章　１－１０．　ＬＡＮ設定印刷」参照)

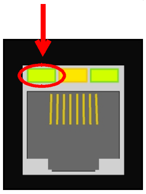
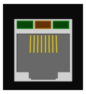
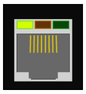
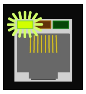
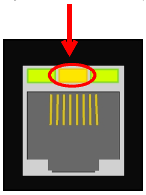
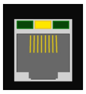
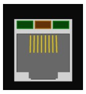
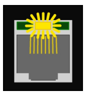
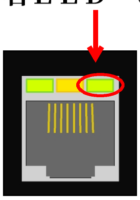
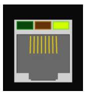
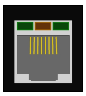
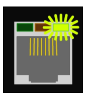
b)telnet,WWWﾌﾞﾗｳｻﾞ,CP1CONFﾕｰﾃｨﾘﾃｨ,LANﾎﾞｰﾄﾞ設定ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ,などを使用してＬＡＮボードへ接続し、ＬＡＮボードの状態を表示し確認する。(「第２章　１．ＴＣＰ／ＩＰでの設定コマンド」「第２章　２．ＭＳ－ＤＯＳ用設定ユーティリティ」「第２章　３．ＭＳ－Ｗｉｎｄｏｗｓ用設定ユーティリティ」「第２章　４．WWWブラウザでの設定」参照)

c)ＬＡＮボードのＬＥＤの点灯状態で確認する。(次項参照)

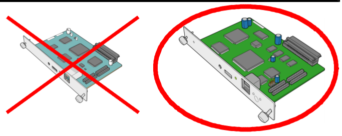


［2］ＬＡＮボードＬＥＤによる状態表示説明
《青色のコンピュータ基板》の場合



左ＬＥＤ　《緑色》  通信状態を表しています。 (Link-status & Active-statys)		消灯	接続された機器との通信確立せず (Link-Fail)
		点灯	接続された機器との通信確立 かつ　パケット送受信無 (Link-Success)
		点滅 (注１)	接続された機器との通信確立 かつ　パケット送受信有 (Link-Success & Activity) (Activity:transmit or recive)
中ＬＥＤ　《オレンジ色》  通信モードおよびコリジョンを表しています。 (Duplex-mode-status & Collision-status)		点灯	全二重通信 (Full-Duplex-mode)
		消灯	半二重通信 (Half-Duplex-mode)
		点滅 (注2)	半二重通信　かつ　コリジョン発生 (Half-Duplex-mode & Collision-occurrence)
右ＬＥＤ　《緑色》  通信速度を表しています。 (Line-speed-status)		点灯	１００Ｍｂｐｓ (indicates-100Mbps)
		消灯	１０Ｍｂｐｓ (indicates-10Mbps)
		点滅 (注3)	通信速度／通信モード検索中 接続された機器との通信確立中

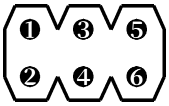
(注1)：パケット送信中／受信中のみ、約0.67秒点灯→約0.67秒消灯、を繰り返します。
(注2)：ｺﾘｼﾞｮﾝ発生中のみ、約0.67秒点灯→約0.67秒消灯、を繰り返します。常に点滅を繰り返すわけではありません。
(注3)：通信速度／通信モード検索処理にて、全二重通信を試みたときのみ点灯します。従って、点滅間隔は不規則になります。

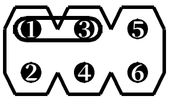
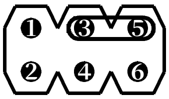
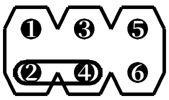
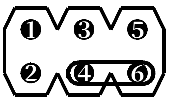


［3］ジャンパピンによる設定
《緑色のコンピュータ基板》の場合

ＬＡＮボードは10Base-Tと100Base-TXの通信速度で使用することができます。
使用する場合には，そのシステム環境で予め定められているスピードを設定します。
デフォルトは自動決定になっています。

ジャンパピンナンバー



ジャンパピン番号	設定内容
接続(ｼｮｰﾄ)ピン無し 及び 下記以外	Auto Negotiation (100Base/10Base 自動決定、Full/Half 自動決定)
	10Base-T,Full-Duplex(10Mbps/Sec、全二重通信)
	10Base-T,Halfl-Duplex(10Mbps/Sec、半二重通信)
	100Base-TX,Full-Duplex(100Mbps/Sec、全二重通信)
	100Base-TX,Halfl-Duplex(100Mbps/Sec、半二重通信)

通常ＬＡＮボードの通信速度(100Mbps/Sec／10Mbps/Sec)と通信モード(全二重通信／半二重通信)の設定は『自動設定』で動作しますが、使用するネットワーク環境よっては『自動設定』では正しく動作しない場合があります。使用するネットワーク環境に応じて設定を変更される場合は、下表の○印の組合せになるように設定してください。

		本ＬＡＮボード　CP-NW100SP				
		自動設定	100Mbps／全二重	100Mbps／全半重	10Mbps／全二重	10Mbps／全半重
接続先（ＨＵＢ等）	自動認識	○	×	○	×	○
	100Mbps／全二重	※１	○	×	×	×
	100Mbps／半二重	○	×	○	×	×
	10Mbps／全二重	※２	×	×	○	×
	10Mbps／半二重	○	×	×	×	○

※１：100Mbps／半二重での通信となります。
※２：10Mbps／半二重での通信となります。

１－７．ＬＡＮボードの取り付けについて

ＴＣＰ／ＩＰ	ＮｅｔＷａｒｅ

■取り付けの前に
ＬＡＮボードの取り付けにはプラスのドライバーが必要です。
取り付けを始める前にご用意ください。

・基板の脱着は、必ずプリンタの電源スイッチをＯＦＦにしてから行ってください。
・基板のコネクタやＩＣに直接手を触れないでください。
・基板を曲げたり、キズをつけないようご注意ください。

■取り付けかた
プリンタ本体に付属の取り扱い説明書の「拡張パラレル・ＬＡＮ　Ｉ／Ｆボード（オプション）の使い方」を参照して、ＬＡＮボードをプリンタ背面の拡張インターフェイスボード装着口に取り付けてください。

１－８．プリンタ本体の設定

ＬＡＮボードのご使用にあたっては、プリンタ本体の「ポート設定」が「オプション」になっていることを確認してください。「ポート設定」が「パラレル」になっている場合は「オプション」に設定してください。

「ポート設定」の無いプリンタでは必要ありません。

「ポート設定」の確認と変更の方法は、プリンタ本体に付属の取扱説明書をご覧ください。（プリンタ本体の「ポート設定」は、工場出荷時（デフォルト）状態では「オプション」になっています。）

※「ポート設定」は、プリンタ本体の設定項目の『【使用ポート】　Ｆ０　インターフェイス』を指します。

ＬＡＮボードとプリンタ本体との接続及びボード自身のチェックは、ＬＡＮボードからセルフテストプリントを出力させることにより確認できます。

①ＬＡＮボードのＤＳＷ５の４をＯＮの位置にします。
②ＬＡＮボードをプリンタ本体の拡張インターフェーススロットに装着します。
③ＨＵＢに接続された１０ＢＡＳＥ－T/１００ＢＡＳＥ－ＴＸケーブルを、ＬＡＮボードに接続します。
④プリンタ本体の電源を再投入します。
⑤条件によって異なりますが、しばらくすると、プリンタ本体のデータランプが点灯します。
⑥チェックを全てクリアすると、次に示すようなテストプリントが出力されます。

```
 CASIO CP-NW100 Series Boot Ver.F510111.02.01
    Copyright (C) 1996-2002 ACCESS CO.,LTD.
    Copyright (C) 1996-2002 CASIO COMPUTER CO., LTD.
    Copyright (C) 1996-2002 CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.


*** Initial test  ==> start: 1234 5678 9ABC DEF0
#   Timer test   ==> ok

*** Memory test -->
#   Flash Memory read check            ==> ok
#   MPU internal RAM write/read check ==> ok
#   Module check                       ==> ok



*** Protocol load information -->
CASIO CP-NW110 Ver.NH0T 4.04
    Copyright (C) 1996-2003 ACCESS CO.,LTD.
        NW REMOTE PRINTER
        NW PRINT SERVER
```

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

中　　略

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

```
*** Network configuration informations -->
#   Configuration Memory read check    ==> ok
+   Ethernet address ==> 08:00:74:80:00:01
+   Ethernet speed   ==> 100Base/Full Duplex (Auto)
+   IP address       ==> 130.10.90.186 (DSW1-4)
    Machine name     ==> CP800001
```

←このETHERNETアドレスは、製品毎に異なります

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

以下　省略

《注意１》　テストプリントの出力を確認した後は、ＤＳＷ５の４は、必ず元のＯＦＦの位置に戻してください。そのままにしておきますと、プリンタの電源投入時に毎回テストプリントが出力されることになります。

《注意２》　テストプリントの中段に「Configuration Memory read check ==> error」と表示されている場合、設定変更中や各種設定用メモリの初期化中にプリンタの電源を遮断してしまった、などの理由により、設定メモリの内容が壊れていることが考えられます。
設定メモリの内容が壊れている場合は、ＤＳＷ５の３をＯＮにしてプリンタの電源を再投入し、しばらく待った後、再度各種設定を行ってください。正しく設定変更が行えたにも関わらず、再度設定メモリの内容が壊れているようでしたら、お手数ですがお買い求めの販売店までご連絡ください。
なお、各種設定用メモリの初期化を行った後は、ＤＳＷ５の３は必ず元のＯＦＦの位置に戻してください。　そのままにしておきますと、プリンタの電源投入時に毎回各種設定用メモリの初期化が行われてしまい、設定変更内容が反映されません。

１－１０．ＬＡＮ設定印刷について

プリンタ本体に「ＬＡＮ設定印刷」機能がある場合、ＬＡＮボードの現在の動作状態および各種設定用メモリの各設定変数の設定内容が印刷できます。

ＬＡＮ設定印刷

```
CASIO CP-NW110 Ver.NHOT 4.04
  Copyright (C) 1996-2003 ACCESS CO.,LTD.
  Copyright (C) 1996-2003 CASIO COMPUTER CO., LTD.
  Copyright (C) 1996-2003 CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.

[** Active informations **]
 < Basic status >
    Ethernet address   : 08:00:74:80:00:01
    Ethernet speed     : 100Base/Full Duplex (Auto)
    IPX packet type    : IEEE802.2 (Auto)
    DIP_SW1-5          : 82:0A:5A:BA:0
 < TCP/IP status >
    IP address     : 130.10.90.186 (DSW1-4)
 ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
          中　略
 ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~

[** Configuration memory settings **]
 < common >
    machine_name   : CP800001
    comment        :
 < TCP/IP >
    ip_address     : 0.0.0.0          ip_decision    : nomal
    netmask        : 0.0.0.0          gateway        : 0.0.0.0
    ftp_passwd     : off              tcp_keep_alive : 30
    print_reset    : disable
 < SNMP >
    snmp_mode      : enable           snmp_name      : public
    snmp_host      : 0.0.0.0
 < NetWare >
 ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
          後　略
```

「ＬＡＮ設定印刷」の操作方法は、プリンタ本体に付属の取扱説明マニュアルをご覧ください。

２．ＴＣＰ／ＩＰでのご利用について

２－１．サポート・プロトコルについて

ＴＣＰ／ＩＰ	~~ＮｅｔＷａｒｅ~~

ＴＣＰ／ＩＰ環境において、ＬＡＮボードは複数のプロトコルを実装しています。
以下にサポート・プロトコルとその機能概要を示します。

プロトコル	機能概要
ＦＴＰ	ＦＴＰサーバーサービスにより、ファイルの転送を行います。 ＬＡＮボードはＦＴＰにより印字が行えます。 ＦＴＰはＲＦＣ959に準拠します。実装はＢＳＤ系に準拠します。
ＬＰＤ	ＬＡＮボードのＬＰＤにプリントデータの転送を行います。 ＬＡＮボードはＬＰＲにより印字が行えます。 ＬＰＤはＲＦＣ1179に準拠します。実装はＢＳＤ系に準拠します。
ＴＥＬＮＥＴ	ＬＡＮボードの内部設定の参照・変更に使用します。 これによりＬＡＮボードの環境変数の設定が行えます。 ＴＥＬＮＥＴはＲＦＣ854、ＲＦＣ855に準拠します。 実装はＢＳＤ系に準拠します。
ＨＴＴＰ	ＬＡＮボードの内部設定の参照・変更に使用します。 これによりＬＡＮボードの環境変数の設定が行えます。 WWWブラウザが必要です。
ＢＯＯＴＰ	ＬＡＮボード起動時にＬＡＮボードで使用するＩＰアドレスを ＢＯＯＴＰサーバーから取得します。 ＢＯＯＴＰによりＬＡＮボードへＩＰアドレスの自動割当が行えます。 ＢＯＯＴＰはＲＦＣ951、ＲＦＣ1497に準拠します。
ＤＨＣＰ	ＬＡＮボード起動時にＬＡＮボードで使用するＩＰアドレスを ＤＨＣＰサーバーから取得します。 ＤＨＣＰによりＬＡＮボードへＩＰアドレスの自動割当が行えます。 ＤＨＣＰはＲＦＣ1531に準拠します。
ＲＡＲＰ	ＬＡＮボード起動時にＬＡＮボードで使用するＩＰアドレスを ＲＡＲＰサーバーから取得します。 ＲＡＲＰによりＬＡＮボードへＩＰアドレスの自動割当が行えます。 ＲＡＲＰはＲＦＣ903に準拠します。
ＳＮＭＰ	ＬＡＮボードはＳＮＭＰによりＭＩＢ情報をＳＮＭＰマネージャーに 送信します。これによりプリンタの状態監視が行えます。 ＳＮＭＰはＲＦＣ1155、ＲＦＣ1157に準拠します。 ＭＩＢ規格はＭＩＢ－Ⅱ（ＲＦＣ1213）に準拠します。

　ＬＡＮボードをＴＣＰ／ＩＰ環境で使用する場合には、そのシステム環境で予め定められているＩＰアドレスを、基板上のディップスイッチで設定する必要があります。
　設定方法については、「第１章　１－３．ＩＰアドレスの設定」を参照してください。
※設定用ﾒﾓﾘへIPｱﾄﾞﾚｽを設定する場合や、RARP/BOOTP/DHCPの各ﾌﾟﾛﾄｺﾙを使用してIPｱﾄﾞﾚｽの設定をおこなう場合は､ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁでIPｱﾄﾞﾚｽを設定しなくても良い場合があります。お使いのｺﾝﾋﾟｭｰﾀの「ＡＲＰコマンド」を使用してLANﾎﾞｰﾄﾞのIPｱﾄﾞﾚｽの仮設定をおこなった後、「telnet」または「WWWﾌﾞﾗｳｻﾞ」を使用しておこなうLANﾎﾞｰﾄﾞの環境変数設定にて、IPｱﾄﾞﾚｽをはじめ必要な設定をおこなうことができます。

　ＩＰアドレスはシステム管理者によって管理されている内容です。ＩＰアドレスの設定にあたっては、システム管理者の了承のもとで行ってください。

■基板上のディップスイッチの位置は、「第１章　１－５．ETHERNETアドレスについて」の基板概略図を参照してください。
■ＩＰアドレスの１０進→１６進変換、１６進→２進変換については、「第１章　１－３．ＩＰアドレスの設定」のコード変換表を参照してください。
■ＬＡＮボードに設定されたＩＰアドレスは以下の方法により確認することができます。
　a)プリンタ本体「ＬＡＮ設定印刷」機能がある場合、ＬＡＮ設定印刷印刷をおこない確認する。(「第１章　１－１０．　ＬＡＮ設定印刷」参照)
　b)CP1CONFﾕｰﾃｨﾘﾃｨ,LANﾎﾞｰﾄﾞ設定ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ,などを使用してＬＡＮボードへ接続し、ＬＡＮボードの状態を表示し確認する。(「第２章　２．ＭＳ－ＤＯＳ用設定ユーティリティ」「第２章　３．ＭＳ－Ｗｉｎｄｏｗｓ用設定ユーティリティ」参照)
■「ＡＲＰコマンド」を使用してＩＰアドレスの仮決定をおこなう方法は、「第２章　１．ＴＣＰ／ＩＰでの設定コマンド」を参照してください。

［１］ｈｏｓｔｓファイルの設定

ＵＮＩＸワークステーションの/etc/hostsに、ＬＡＮボードを装着して利用するプリンタのＩＰアドレス及びホスト名を記述します。

例えばＩＰアドレスを「130.10.90.186」、ホスト名を「casiopr1」とする場合、下記のように記述を追加してください。
その場合ＩＰアドレス及びホスト名は、他の行での記述と重複することはできません。

```
130.10.90.186        casiopr1
（ＩＰアドレス）      （ホスト名）
```

［２］ｐｒｉｎｔｃａｐファイルの設定　【ｌｐｄプロトコル利用の場合】

ＵＮＩＸワークステーションの /etc/printcapファイルに、ＬＡＮボードを装着して利用するプリンタのエントリを記述します。

例えばホスト名をcasiopr1とした場合、次の例を参考に登録を行ってください。

```
casioprlp|PRINTER1:\
        :lp=:rm=casiopr1:rp=presto0:sd=/usr/spool/casioprlp:\
        :lf=/usr/adm/casioprlp-errs:
```

変数	意味または設定内容
lp	プリンタがつながるデバイス名を指定します。ＬＡＮボードを利用するに際してはｌｐを設定せず、ネットワークへの出力としてください。
rm	リモートプリンタのあるホスト名を指定します。ＬＡＮボードを利用するに際しては、ＬＡＮボードを装着したプリンタに付与したホスト名を記述します。
rp	リモートホストのプリンタ名を指定します。ＬＡＮボードを利用するに際しては、プリンタポート名(presto0,presto1,presto2) のいずれかを記述します。 presto0 ････ コード変換をせずスルーで出力するポート presto1 ････ ＳＪＩＳコードをプリンタコードに変換して出力するポート presto2 ････ ＥＵＣコードをプリンタコードに変換して出力するポート
sd	スプールディレクトリ名
lf	エラーログファイル名

また、ｌｐｄプロトコル利用時には /etc/printcapファイルの内容に合わせて、コマンドラインでスプールディレクトリを作成するなどの手続きが必要となります。

```
casiopr#
casiopr# mkdir /usr/spool/casioprlp              ← スプールディレクトリの作成
casiopr# chown daemon /usr/spool/casioprlp       ← スプールディレクトリのオーナーの設定
casiopr# chgrp daemon /usr/spool/casioprlp       ← スプールディレクトリのグループの設定
casiopr# touch /usr/adm/casioprlp-errs           ← エラーログファイルの作成
casiopr# chown daemon /usr/adm/casioprlp-errs    ← エラーログファイルのオーナーの設定
casiopr# chgrp daemon /usr/adm/casioprlp-errs    ← エラーログファイルのグループの設定
casiopr#
```

２－４．MS-Windows XP／2000／NT4.0／NT3.51で印刷する際の設定【ＴＣＰ／ＩＰ印刷機能利用の場合】

ＴＣＰ／ＩＰ	~~ＮｅｔＷａｒｅ~~

Microsoft Windows XP/2000/NT4.0/NT3.51では、「Microsoft TCP/IP印刷」によりTCP/IP接続されたプリンタに対し、リモート印刷を行うことができます。

※注）MS-Windows NT4.0/NT3.51でTCP/IP印刷を行うには、NTに「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールする必要があります。
くわしくは、MS-Windows NT4.0/NT3.51のオンラインヘルプをお読みください。

【ＷｉｎｄｏｗｓＮＴ にてご使用の際の注意事項。】

◆印刷に関する仕様または制限など

1．ＴＣＰ／ＩＰプリント（ＬＰＲ）実行時の注意事項
Q．複数のプリンタでＴＣＰ／ＩＰプリント（ＬＰＲ）を実行した場合に不当な遅延が発生する。
A．Microsoft(R) Windows NT(R) 4.0 Service Pack 3以降では、ＲＦＣ準拠に変更されたため、ＴＣＰ／ＩＰプリント（ＬＰＲ）でパフォーマンスの劣化を伴うケースが想定されます。
詳細はMicrosoft(R)社からＷｅｂで提供されている「サポート技術情報」をご参照ください。
http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JA/

※以下の内容は、上記「サポート技術情報」での記載から、関連部分を抜粋して転載したものです。
情報の全容に関しては当該ＵＲＬにてご確認ください。

【文書番号：ＪＰ１４１７０８】
WindowsNT Version 3.51 SP4 またはそれ以前のバージョンでは、WindowsNTのLPRサービスでLPRに接続するためにTCPポート731から721を使用していました。これは RFC 1179 に準拠するものですが、このサービスは11個のTCPポートまでをサポートするので、パフォーマンスに限界があります。RFC 1122 では、各ポートは4分間おかないと再使用できません (RFC 1122では、2 * Maximum Segment Lifetime と定義されています)。
WindowsNT 3.51 SP5 は変更され、WindowsNT 4.0 はサービスパック2 にアップされて、LPR印刷のパフォーマンスが向上しました。このパフォーマンスの向上によって、TCPポート 512-1023 を LPR 接続に使用できるようになりました。ただし、RFC 1179 に外れることになるので、アプリケーションによっては問題が発生することもあります。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;JP141708

【文書番号：ＪＰ１７９１５６】
WindowsNT 4.0 サービスパック2(SP2) までのTCP/IPプリント(LPR)では、512から1,023までが既定のTCPポートでした。　WindowsNT 4.0 サービスパック3 のLPRでは、RFC 1179 (Windows NT 3.51 Service Pack 4 までのバージョン) で記述されているように、721から731までが既定のTCPポートです。これに加えてService Pack 3 のLPRでは、2つのレジストリ エントリで1,024 以降のTCPポートを使用するように設定できるようになりました。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;JP179156

※以下のように要約できると考えられます。

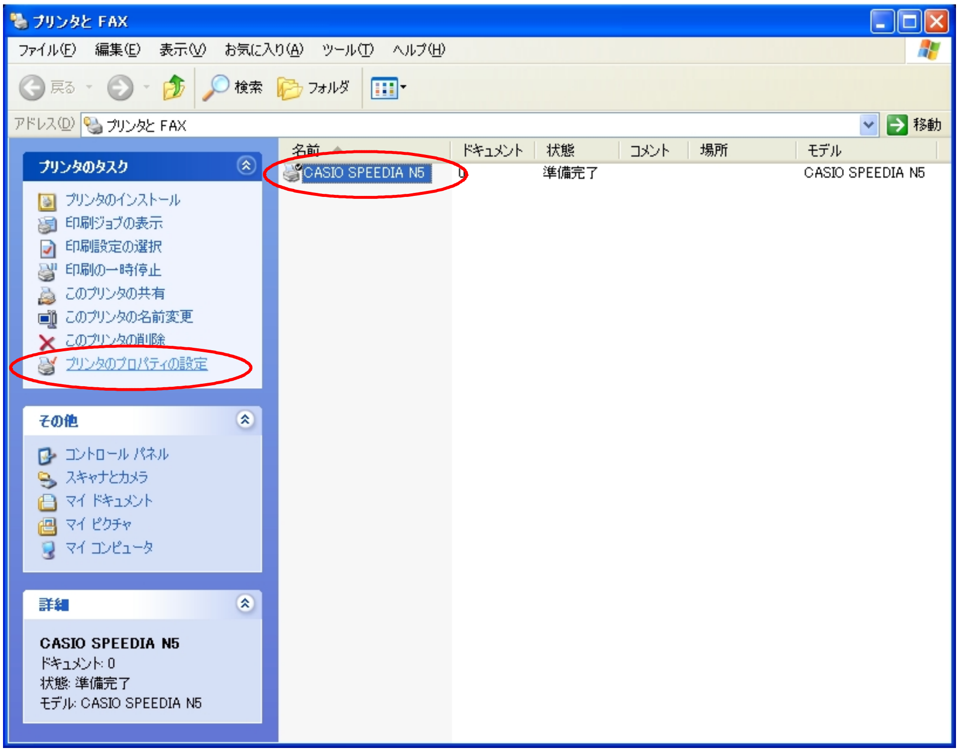
■Microsoft WindowsNT 4.0 Service Pack 2では、TCPポート512～1023をLPR接続に使用できるようにしたが、RFC 1179からは外れていた。
（文書番号：JP141708）
■Microsoft WindowsNT 4.0 Service Pack 3では、RFC 1179で記述されているように、721～731までを既定のTCPポートとするように変更した。
（文書番号：JP179156）
■その結果、このサービスではTCPポートのサポートが11個までとなるので、パフォーマンスに限界が生じる。RFC 1122では、各ポートは4分間おかないと再使用できないと規定されているのである。
（文書番号：JP141708）
■Service Pack 3のLPRでは、2つのレジストリ・エントリで1,024以降のTCPポートを使用できるように設定可能とした。
（文書番号：JP179156）
但しレジストリ操作は自己責任の範疇となる。

［１］MS-Windows XP/2000/NTを立ち上げ、ユーザグループ「Admistrators」に属するユーザ名でログインします。
※ここではあらかじめ「印刷するポート」として「LPT1:」に設定されているプリンタの印刷ポートを、TCP/IP印刷用に設定変更する場合の手順を、各オペレーティングシステム別に説明します。
なお、プリンタの追加にて新しいプリンタをインストールする場合も印刷ポートの作成手順は概ね同じです。

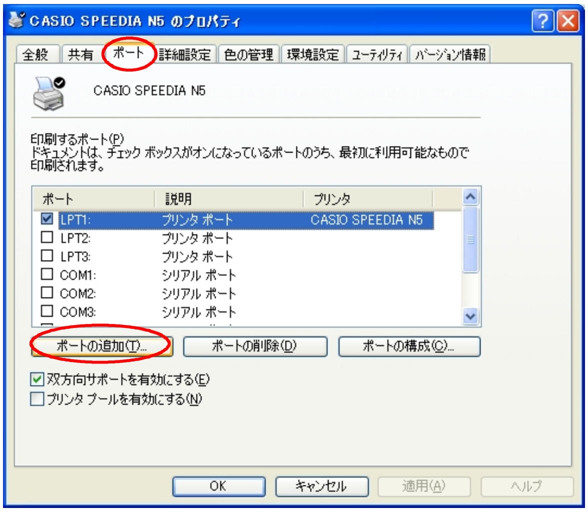
［２］MS-Windows XP で印刷する際の設定。
Windows XP環境では、TCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する方法として２通りあり、「UNIX用印刷サービス」をインストールすることにより利用できる「LPR Port」(WindowsNT4.0と同様のLPR)を使用する場合、もう１つは「Standard TCP/IP Port」を使用する場合です。
ここでは「Standard TCP/IP Port」を使用してTCP/IPネットワーク印刷をおこなう手順を説明します。

①「スタート」メニューから「プリンタとＦＡＸ」を選択し、プリンタとＦＡＸフォルダを開きます。

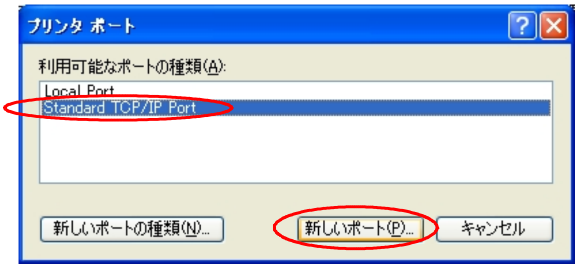
②TCP/IPネットワーク印刷をおこないたいプリンタのプロパティを開きます。



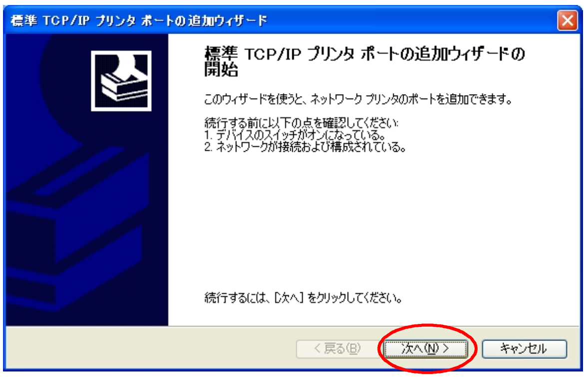
③プリンタプロパティより「ポート」タブをクリックしてポートタブを選択します。
続いて、【ポートの追加】をクリックし、ポートの追加を開始します。



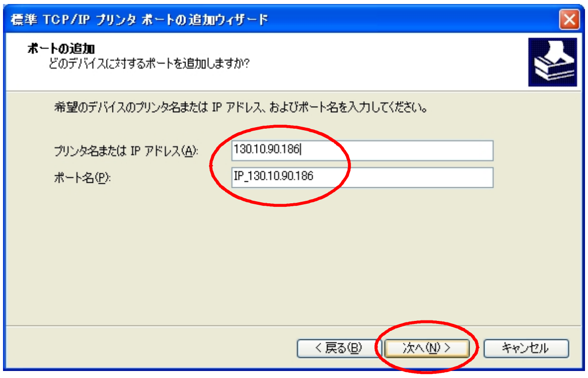
④「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選択し、【新しいポート】をクリックします。



⑤「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザート」が起動されますので、【次へ】をクリックします。

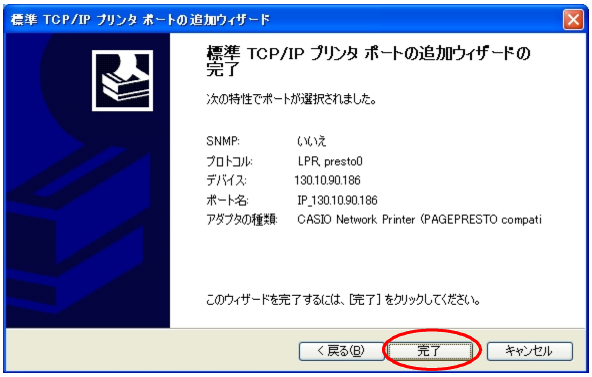


⑥「ポートの追加」画面が表示されますので、「プリンタ名またはIPアドレス」へIPアドレスを入力し、【次へ】をクリックします。IPアドレスを入力すると、「ポート名」は自動的に表示されます。



⑦「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されますので、【完了】をクリックします。

※以下の「ポートの設定」はWindows XPにより自動的に設定されます。
●プロトコル「LPR」の選択。
●LPR設定「キュー名」へ「presto0」の設定。
●LPR設定「バイトカウントを有効にする」の選択。
なお、本ＬＡＮボード(CP-NW110)は、「バイトカウントを有効にする」を選択しなくても正常に動作します。

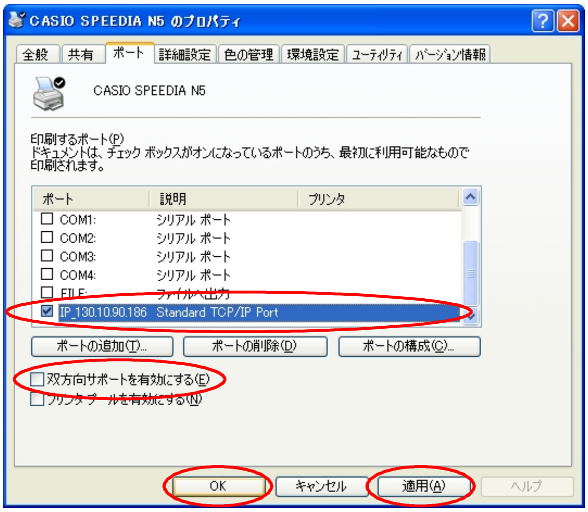


注)LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を「使用する」に設定する場合は、「バイトカウントを有効にする」を選択する必要があります。
プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用しますと、LANボードが「ドキュメントのキャンセル」を検出して自動的にプリンタ制御ソフトウェアのリセットをおこないます。
ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。
詳しくは「第２章　６－１．設定可能変数の説明」を参照してください。

⑧「プリンタポート」画面へ戻りますので、【閉じる】をクリックします。



⑨プリンタプロパティ画面へ戻りますので、設定したポートが登録され選択されている(チェックボックスがオン)ことを確認してください。
そして、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。
その後、【適用】、【ＯＫ】をクリックし終了します。



以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。
Windows XP 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

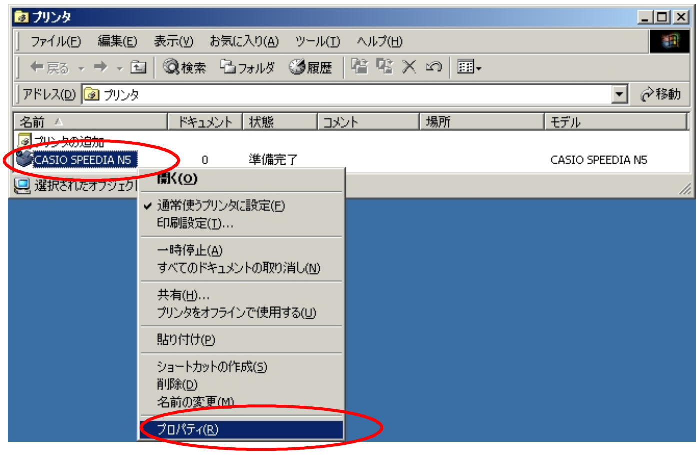
［3］MS-Windows 2000 で印刷する際の設定。

　Windows 2000環境では、TCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する方法として２通りあり、「UNIX用印刷サービス」をインストールすることにより利用できる「LPR Port」(WindowsNT4.0と同様のLPR)を使用する場合、もう１つは「Standard TCP/IP Port」を使用する場合です。

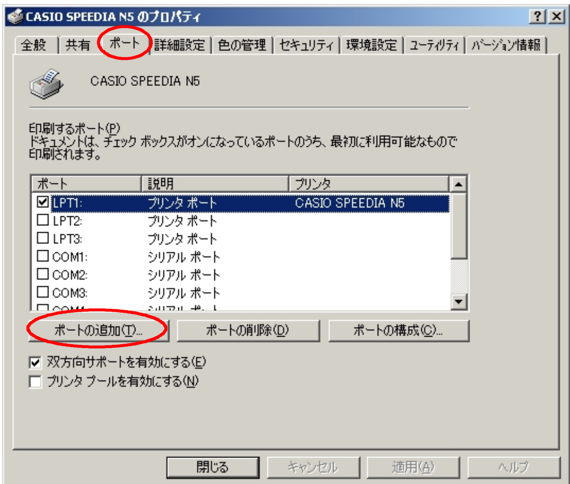
　ここでは「Standard TCP/IP Port」を使用してTCP/IPネットワーク印刷をおこなう手順を説明します。

①「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択し、プリンタフォルダを開きます。

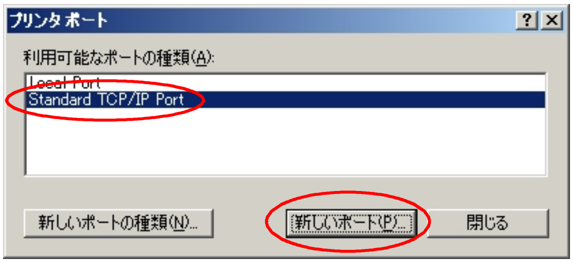
②TCP/IPネットワーク印刷をおこないたいプリンタのプロパティを開きます。



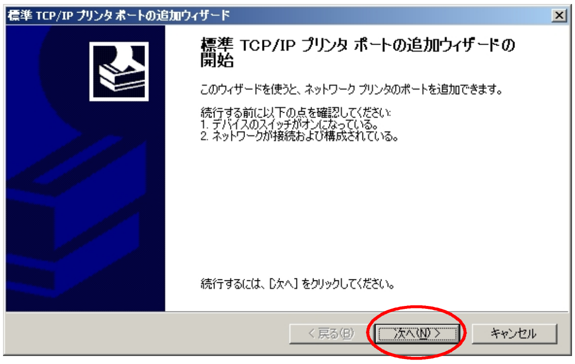
③プリンタプロパティより「ポート」タブをクリックしてポートタブを選択します。
続いて、【ポートの追加】をクリックし、ポートの追加を開始します。



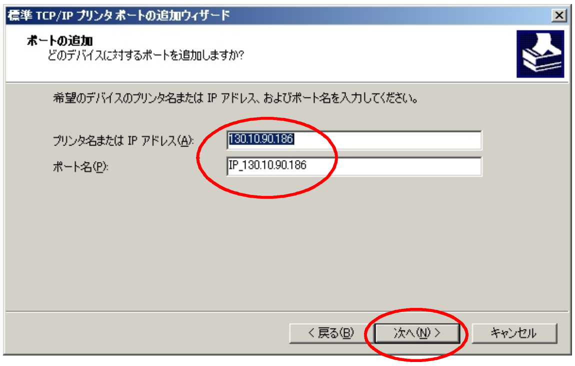
④「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選択し、【新しいポート】をクリックします。



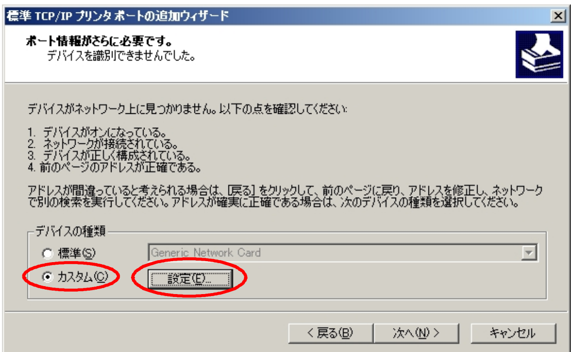
⑤「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザート」が起動されますので、【次へ】をクリックします。



⑥「ポートの追加」画面が表示されますので、「プリンタ名またはIPアドレス」へIPアドレスを入力し、【次へ】をクリックします。IPアドレスを入力すると、「ポート名」は自動的に表示されます。



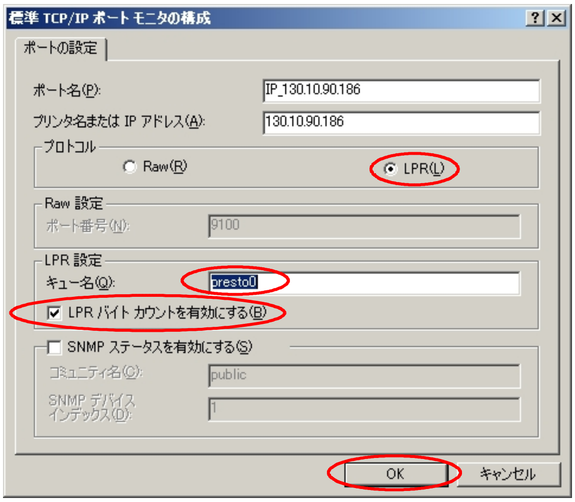
⑦「ポートの情報が更に必要です。」画面が表示されますので、「デバイスの種類」で「カスタム」を選択した後、【設定】をクリックします。



⑧「ポートの設定」画面が表示されますので、以下の設定をおこないます。

●プロトコルは「LPR」を選択します。
●LPR設定の「キュー名」へ「presto0」と小文字で入力します。
●LPR設定の「バイトカウントを有効にする」にチェックします。

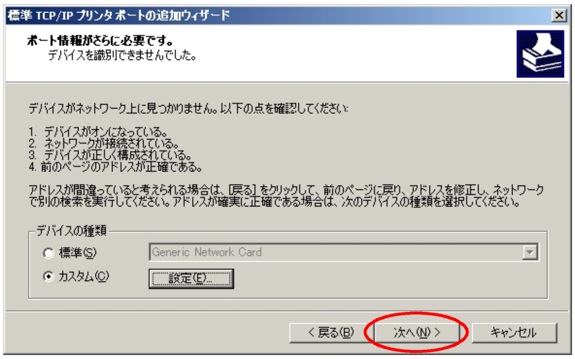
すべての設定が終了したら【ＯＫ】をクリックします。



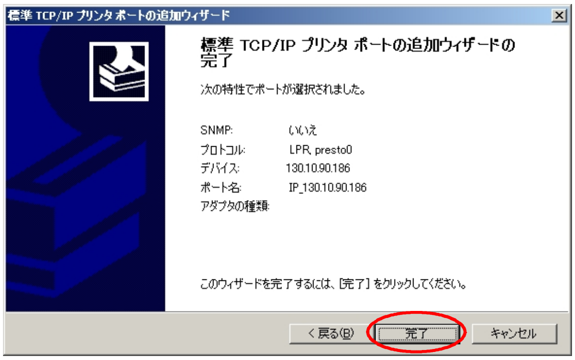
※本ＬＡＮボード(CP-NW110)は、「バイトカウントを有効にする」を選択しなくても正常に動作します。

注)LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を「使用する」に設定する場合は、「バイトカウントを有効にする」を選択する必要があります。
プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用しますと、LANボードが「ドキュメントのキャンセル」を検出して自動的にプリンタ制御ソフトウェアのリセットをおこないます。
ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。
詳しくは「第２章　６－１．設定可能変数の説明」を参照してください。

⑨「ポートの情報が更に必要です。」画面へ戻りますので、【次へ】をクリックします。



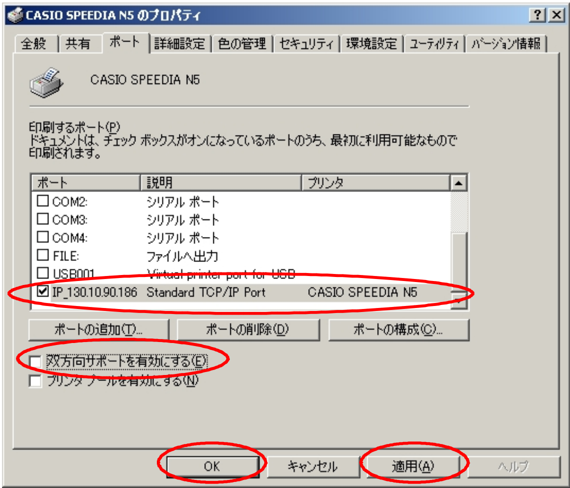
⑩「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されますので、【完了】をクリックします。



⑪「プリンタポート」画面へ戻りますので、【閉じる】をクリックします。



⑫プリンタプロパティ画面へ戻りますので、設定したポートが登録され選択されている(チェックボックスがオン)ことを確認してください。
そして、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。
その後、【適用】、【OK】をクリックし終了します。



以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。
Windows 2000 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

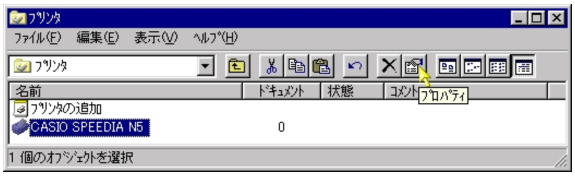
［4］MS-WindowsNT 4.0 で印刷する際の設定。

WindowsNT 4.0環境では「Microsoft TCP/IP印刷」を利用することにより、TCP/IP接続されたプリンタに対し、リモート印刷をおこなうことができます。

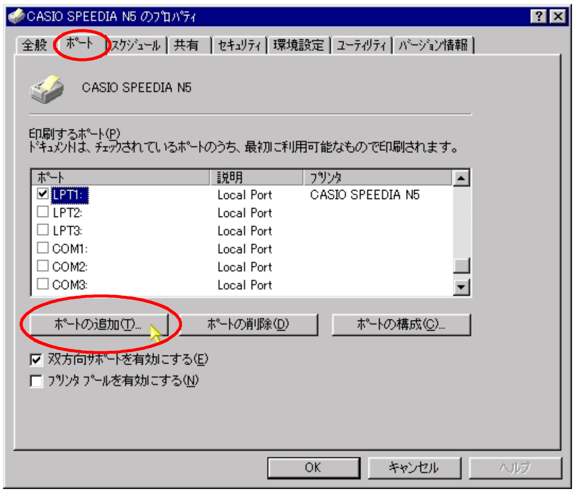
ここでは「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールすることにより利用できる「LPR Port」を使用してTCP/IPネットワーク印刷をおこなう手順を説明します。

①「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択し、プリンタフォルダを開きます。

②TCP/IPネットワーク印刷をおこないたいプリンタのプロパティを開きます。

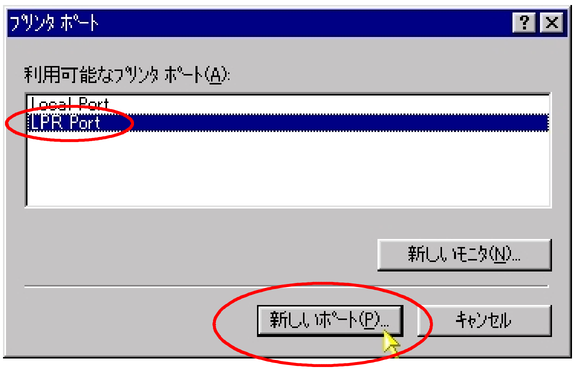


③プリンタプロパティより「ポート」タブをクリックしてポートタブを選択します。
続いて、【ポートの追加】をクリックし、ポートの追加を開始します。

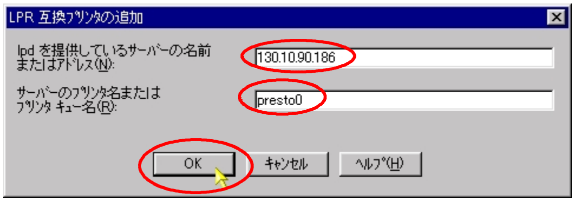


④「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なプリンタ ポート」から「LPR Port」を選択し、【新しいポート】をクリックします。

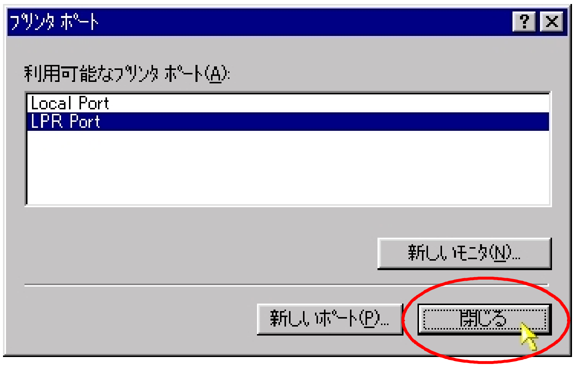
※「LPR Port」は「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールしていないと表示されません。
「利用可能なプリンタポート」に「LPR Port」が表示されていない場合は、先に「MicrosoftTCP/IP印刷」をインストールしてください。くわしくは、オンラインヘルプをお読みください。



⑤「LPR互換プリンタの追加」画面が表示されますので「lpdを提供しているサーバー名前またはアドレス」へLANボードのIPアドレスを、「サーバーのプリンタ名またはプリンタ キュー名」には、"presto0"と入力します。("presto0"は必ず小文字で入力してください。)
両方の入力が終了したら【ＯＫ】をクリックします。

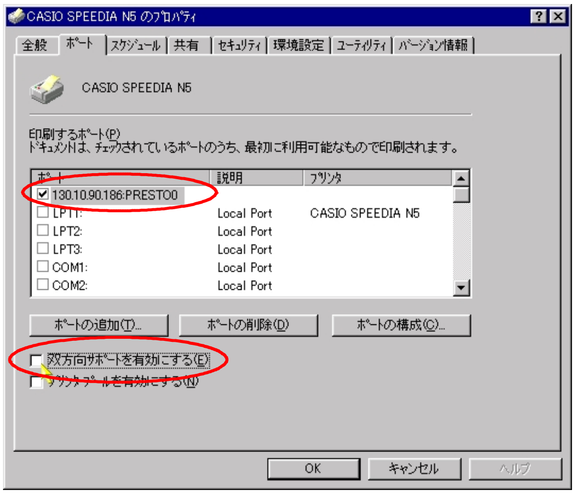


⑥「プリンタポート」画面へ戻りますので、【閉じる】をクリックします。

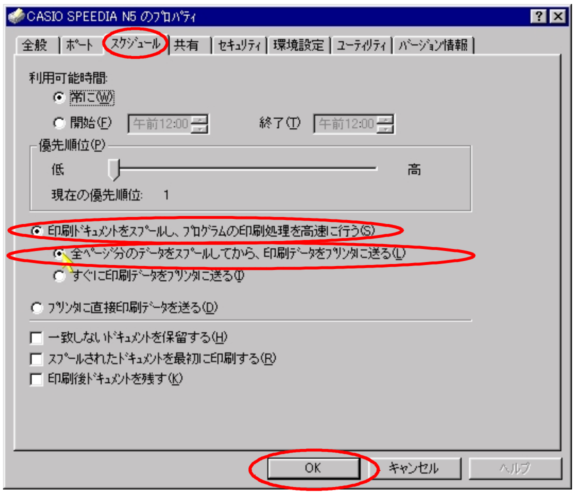


⑦プリンタプロパティ画面へ戻りますので、設定したポートが登録され選択されている(チェックボックスがオン)ことを確認してください。
※追加されたポートが
「***.***.***.***:PRESTO0」
となっていることを確認してください。
なお、"presto0"は小文字で入力しても大文字で表示されます(小文字で設定されています)ので、ご注意ください。

そして、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。



⑧「スケジュール」タブをクリックしてスケジュールタブを選択します。



【重要】

印刷データをプリンタへ確実に送信するために、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」をチェックし、更に「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」をチェックします。

その後、【ＯＫ】をクリックしプロパティを終了します。

以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。
WindowsNT 4.0 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

［５］MS-Windows NT3.51 で印刷する際の設定。

WindowsNT 3.51環境では「Microsoft TCP/IP印刷」を利用することにより、TCP/IP接続されたプリンタに対し、リモート印刷をおこなうことができます。

ここでは「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールすることにより利用できる「LPR Port」を使用してTCP/IPネットワーク印刷をおこなう手順を説明します。

①「プリントマネージャー」を起動します。

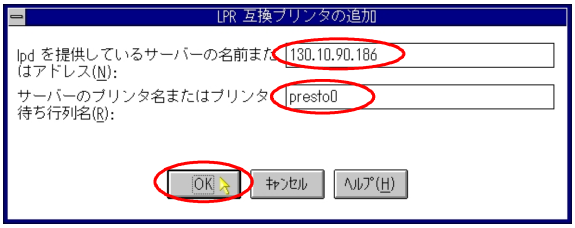
②メニューバーの「プリンタ」から、「プリンタ情報」を選択します。

③「プリンタ情報」ダイアログボックスが開きますので、「印刷先」のリストボックスより「その他..」を選択します。

④「印刷先」のダイアログボックスが開きますので、「利用可能な印刷モニタ」の「LPR Port」を選択し、【ＯＫ】をクリックします。
（「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールしていないと、「LPR Port」はリストに現れません。）



⑤「LPR互換プリンタの追加」ダイアログボックスが開きますので、「lpdを提供しているホストの名前またはアドレス」には、ＬＡＮボードのIPアドレスを、「コンピュータのプリンタ名」には、"presto0"と入力します。
（"presto0"は必ず､小文字で入力してください。）
両方の入力が終了したら【ＯＫ】をクリックします。



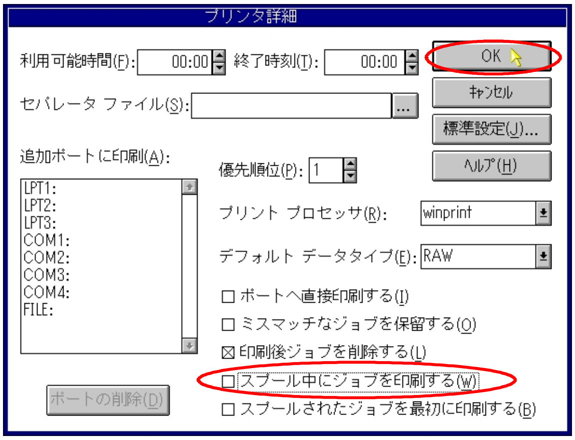
⑥「プリンタ情報」ダイアログボックスに戻りますので、印刷先が「***.***.***.***:PRESTO0」となっている事を確認してください。
※"PRESTO0"は､小文字で入力しても大文字で表示されます(小文字で設定されています)ので、ご注意ください。

⑦続いて【詳細】をクリックし、
「プリンタ詳細」ダイアログボックスを
開きます。

【重要】

印刷データを確実にプリンタへ送信するために、「スプール中にジョブを印刷する」のチェックが解除されていることを確認してください。

確認後【ＯＫ】をクリックします。



⑧「プリンタ情報」ダイアログボックスに
戻りますので、項目に問題がなければ
【ＯＫ】をクリックします。

以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。
WindowsNT 3.51 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

２－５．ＣＰ－ＬＰＲでのご利用について

★「ＣＡＳＩＯ スピーディアマネージャ for Network」のご紹介。
　ＬＡＮボードに付属のCD-ROMには、Microsoft Windows 95/98/Me ／ Microsoft Windows NT 4.0 ／ Microsoft Windows 2000 ／ Microsoft Windows XP 環境にてより印刷を快適におこなうことができる「ＣＡＳＩＯ スピーディアマネージャ for Network」を収納しております。
「ＣＡＳＩＯ スピーディアマネージャ for Network」には
・LPRプロトコルを使用して、TCP/IP接続されたプリンタに対しリモート印刷がおこなえます。
・印刷の開始から印刷の完了まで、印刷ジョブの状態がくわしく表示されます。
・プリンタの状態と印刷ジョブの状態が、同じ画面で確認できます。
・印刷開始時にプリンタにエラーが発生していた場合、代替プリンタをその場で指定することができます。
・その他、プリンタ用の各ユーティリティおよびＬＡＮボード用の各ユーティリティと連携して、ＣＡＳＩＯ製ページプリンタの統合管理がおこなえます。
といった特長があります。
　弊社としては、Microsoft Windows 95/98/Me ／ Microsoft Windows NT 4.0 ／ Microsoft Windows 2000 ／ Microsoft Windows XP 環境にてTCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する場合、「ＣＡＳＩＯ スピーディアマネージャ for Network」をご利用されることを推奨いたします。
　「ＣＡＳＩＯ スピーディアマネージャ for Network」の詳細は、ＬＡＮボード付属のCD-ROMに収納されている取扱説明書をお読みください。

　Microsoft-Windows 95/98/Meでは、ＣＰ－ＬＰＲにより接続されたプリンタに対し、リモート印刷を行うことができます。
　ＣＰ－ＬＰＲ環境で印刷するにはローカルプリンタとしてインストールする必要があります。
　最初にＣＰ－ＬＰＲのインストールを行います。（［１］インストール）
　次にＷｉｎｄｏｗｓ上にプリンタを追加します。既に存在するプリンタのポートを変更する場合は「［２］プリンタドライバの設定」は省略できます。
　ただし、「スプールの設定」（有効）、「双方向通信機能」（無効）の設定は必要です。
　さらにプリンタポートの設定を行います。（「［３］プリンタポートの設定」、「［４］プリンタの検索」、「［５］印刷」）
　また、ＣＰ－ＬＰＲを複数プリンタに設定する場合は、２台目以降のＣＰ－ＬＰＲのインストールは省略できます。設定は各プリンタ単位に必要です。

※注）MS-Windows 95/98/MeでＣＰ－ＬＰＲ印刷を行うには、MS-Windowsのネットワークに
　「Microsoft TCP/IP」プロトコルをインストールする必要があります。
　くわしくは、MS-Windows 95/98/Meのオンラインヘルプをお読みください。

　ＣＰ－ＬＰＲ環境で印刷するにはＬＡＮボードのＩＰアドレスの取得及びＬＡＮボードの環境変数設定がおこなわれている必要があります。プリンタの管理者にお問い合わせください。
　環境変数設定は「ｔｅｌｎｅｔ」、「ＭＳ－ＤＯＳ用設定ユーティリティ」、「ＭＳ－Ｗｉｎｄｏｗｓ用設定ユーティリティ」、「WWWブラウザ」で行うことが出来ます。
　設定方法は「第２章 ＬＡＮボード用コマンド解説」を参照してください。

以下の環境変数を設定します。
また、設定可能項目については、「第１章　２－７．ｔｅｌｎｅｔによる設定」、「第２章　６．設定可能変数一覧」も参照してください。

変数グループ／項目	設定内容または推奨値等	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
ｎｅｔｗｏｒｋ		
ip_address	ＩＰアドレス設定値（ip_decisionがnormalの時に有効）	0.0.0.0
ip_decision	ＩＰアドレス決定方法 normal,dsw,bootp,dhcp,rarpを選択※2	normal
netmask	サブネットマスク	0.0.0.0
gateway	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
print_reset	プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の設定※1 （enable:使用する/disable:使用しない）	disable
プリンタポート共通		
index	インデックス印字指定（enable:する/disable:しない）	disable
Ｔｈｒｏｕｇｈポート（presto0）		
banner0	ftp/lpr時のバナー印字の指定（on:する/off:しない）	off
bojstring0	ftp/lpr時、印字開始位置に出力される文字列	未設定
eojstring0	ftp/lpr時、印字終了位置に出力される文字列	未設定

※1）使用可能な環境に制限があります。詳しくは「第２章　６－１．設定可能変数の説明」を参照してください。

［１］インストール

〔１〕ＣＰ－ＬＰＲをＣＤ－ＲＯＭからインストールする場合。

①「ＣＰ－ＬＰＲ」をインストールするには、ＬＡＮボード付属のCD-ROMのセットアッププログラム(STARTUP.EXE)からおこないます。
コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの "STARTUP.EXE" を実行してください。)

②「セットアップタイプ」の選択画面が表示されます。
「カスタム」インストールを選択し【次へ(N)>】をクリックします。

③「コンポーネントの選択」画面が表示されます。
「ＣＰ－ＬＰＲ ソフト」を選択(チェックボックスをオン)し、【次へ(N)>】をクリックします。　この時、すでにインストール済みの他のコンポーネントは選択しないでください。

④「インストール先の選択」画面が表示されます。
インストール先ディレクトリを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑤「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
プログラムフォルダを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑥「使用許諾契約」画面が表示されます。
よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は【はい(Y)】をクリックしてください。
インストールを中止する場合は【いいえ(N)>】をクリックしてください。

⑦プログラムのインストールが開始されます。

⑧「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
Readmeファイルを表示する場合には【はい(Y)】をクリックしてください。

> Readmeファイルは必ずご覧ください。
> 本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

⑨「ＣＰ－ＬＰＲの検索」確認画面が表示されます。
「ＣＰ－ＬＰＲの検索」を実行する場合は【はい(Y)】をクリックしてください。

⑩以上で「ＣＰ－ＬＰＲ」のインストールは終了しました。

〔２〕ＣＰ－ＬＰＲをフロッピーディスクからインストールする場合。

①「ＣＰ－ＬＰＲ」をインストールするには、ＬＡＮボード付属のCD-ROMから「ＣＰ－ＬＰＲ」の「ＦＤ作成」をおこなってください。　ＦＤ作成については「スタートアップメニュー」の【ＦＤ作成】をクリックし、画面の指示に従って操作してください。
コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの "STARTUP.EXE" を実行してください。)

②「ＣＰ－ＬＰＲ　ディスク　1」をフロッピードライブへ挿入します。

③【スタート】をクリックし、【ファイル名を指定して実行(R)】をクリックします。

④「ファイル名を指定して実行」画面にて「A:\SETUP.EXE」と入力し、【ＯＫ】をクリックするとインストールプログラムが起動します。
※ここではフロッピードライブが "A" ドライブでの説明です。
　ドライブ番号は、ご利用になるコンピュータによって異なることがあります。

⑤「セットアップ」画面が表示されます。
【次へ(N)>】をクリックします。

⑥「使用許諾契約」画面が表示されます。
よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は【はい(Y)】をクリックしてください。
インストールを中止する場合は【いいえ(N)>】をクリックしてください。

⑦「インストール先の選択」画面が表示されます。
インストール先ディレクトリを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑧「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
プログラムフォルダを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑨プログラムのインストールが開始されます。

⑩「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
Readmeファイルを表示する場合には【はい(Y)】をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。
本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

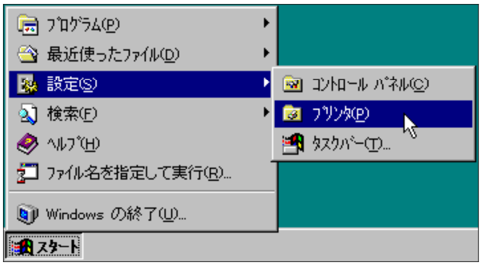
⑪「ＣＰ－ＬＰＲの検索」確認画面が表示されます。
「ＣＰ－ＬＰＲの検索」を実行する場合は【はい(Y)】をクリックしてください。

⑫以上で「ＣＰ－ＬＰＲ」のインストールは終了しました。

［２］プリンタドライバの設定

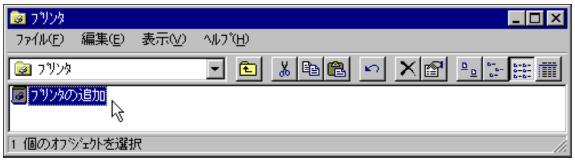
Microsoft-Windows 95/98/Meで印刷する際の設定を、MS-Windows 95を例に説明します。
「１．ご利用の手順及びハードウェアの設定」でＬＡＮボードの「プリンタポートの設定」が終了し、プリンタ（ＬＡＮボード）の電源が投入されている状態で行ってください。
プリンタの管理者にお問い合わせください。

①タスクバーよりプリンタフォルダを開きます。



②プリンタの追加を行います。

「プリンタの追加」をダブルクリックします。



③【次へ】をクリックします。



④「ﾛｰｶﾙﾌﾟﾘﾝﾀ(L)」を選択して、【次へ】をクリックします。

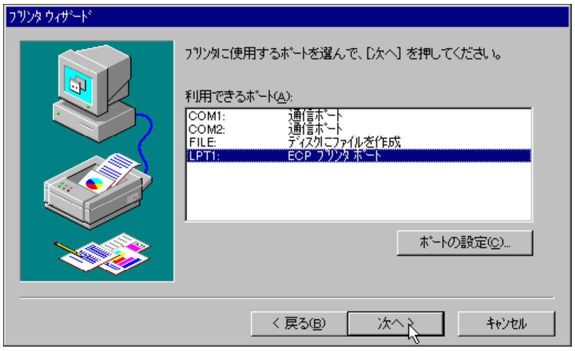


⑤プリンタドライバを選択します。
ご利用のプリンタ機種に対応するプリンタドライバを選択(ｸﾘｯｸ)し、プリンタ本体に同梱されているご利用のプリンタ機種に対応するプリンタドライバのディスクメディアをセットし【ﾃﾞｨｽｸ使用(H)】をクリックします。

※最新のプリンタドライバは弊社インターネットインフォメーション（**http://www.casio.co.jp/ppr/**）より入手できます。



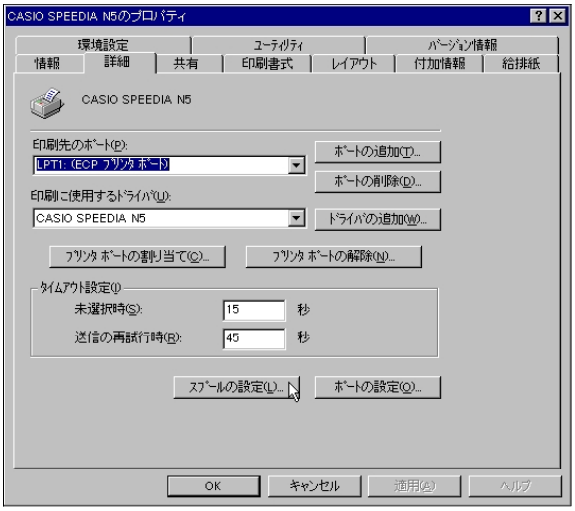
⑥「利用できるポート」は暫定的に「ＬＰＴ１」を選択します。
選択後、【次へ】をクリックします。



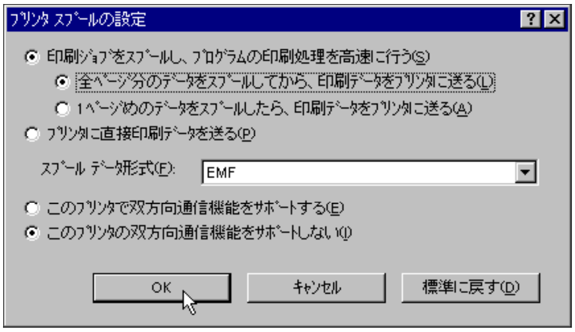
⑦必要に応じて「ﾌﾟﾘﾝﾀ名(P)」「通常使うﾌﾟﾘﾝﾀ」を設定し、【完了】をクリックします。



⑧プリンタフォルダから該当するプリンタのプロパティを表示し、
【スプールの設定】をクリックします。



⑨「印刷ジョブをスプールし、プログラムの処理を高速に行う」「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。
「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」を必ず選択します。

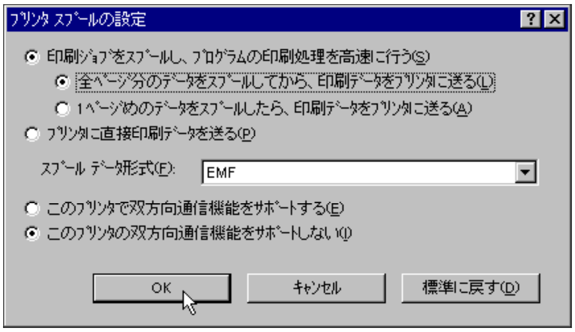


［３］プリンタポートの設定

ＣＰ－ＬＰＲを使用するには「〔１〕ポートの追加」が必要です。次に「〔２〕ポートの設定」を行います。また、必要に応じて「〔４〕プリンタの検索」を個別に行うこともできます。

「［２］プリンタドライバの設定」を省略した場合は、以下の操作を必ず行ってください。

プリンタフォルダから該当するプリンタのプロパティを表示し、【スプールの設定】をクリックします。
「印刷ジョブをスプールし、プログラムの処理を高速に行う」「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。
「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」を必ず選択します。

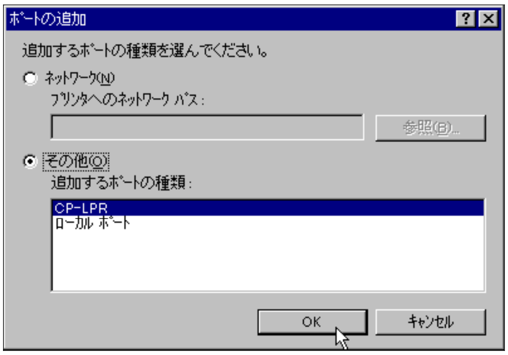


〔１〕ポートの追加

①プリンタフォルダから該当するプリンタのプロパティを表示し、
【ポートの追加】をクリックします。



②「ポートの追加」で「その他」を選択し、
更に「ＣＰ－ＬＰＲ」を選択し【ＯＫ】
をクリックします。



③「ＣＰ－ＬＰＲの設定」で「プリンタ名」を「プリンタ一覧」で選択し、【選択】をクリックします。
プリンタ名は直接「ＩＰアドレス」或いは「ホスト名」を入力することもできます。
ポート名は「presto0」をそのまま使います。
「プリンタ一覧」にプリンタ名が表示されない場合は「一覧更新」をクリックし、「ＣＰ－ＬＰＲの検索」を呼び出して表示更新できます。
プリンタの検索については「［４］プリンタの検索」を参照してください。





〔２〕ポートの設定

①プリンタのプロパティで【ポートの設定】をクリックします。





②必要な項目を設定します。
通常は特に変更する必要はありません。

「印刷タイムアウト」
・印刷の転送が本項目で指定された時間停止するとエラーを表示します。
０分を指定した場合はエラーになりません。

「ポーリング間隔」
・印刷の転送が本項目で指定された時間停止すると状態表示をします。

「印刷状況表示」
・印刷時の状況を表示します。

「印刷状況表示最前面」
・印刷状況表示を最前面に表示します。

「印刷完了通知」
・印刷の完了を表示します。
確認操作がされるまで停止しますので注意が必要です。

「ポート番号拡張」
・印刷時に使用するTCP/IPのポート番号を変更します。
非選択時：RFC1179に準拠したポート721～731を使用します。
選択時　：使用可能な空いているポートを使用します。
非選択で正常に印刷がおこなえない場合、選択をお試しください。

「印刷状況表示」と「印刷完了通知」はどちらも選択しない、どちらか１つを選択、両方を選択の組合せが可能です。

［４］プリンタの検索

プリンタの検索を単独で行えます。ただし、通常は「［３］プリンタポートの設定　〔１〕ポートの追加」で行います。
また、インストール時にも検索を行えます。

・単独で起動する場合（MS-Windows 95/98/Me）
「スタート」メニュー →「プログラム」→「CASIO SPEEDIA」に登録された「ＣＰ－ＬＰＲの検索」をクリックします。



①「検索結果」には過去に検索された内容が表示されます。
必要なプリンタが見つからない場合は【検索開始】をクリックして検索してください。
検索範囲は「検索開始アドレス」から「検索終了アドレス」です。
検索アドレスは操作しているコンピュータと同一のセグメントに限られます。

例：
コンピュータのＩＰアドレスが
「130.10.90.XXX」の場合は
「130.10.90.0～255」です。
尚、ＩＰアドレスのクラス指定やルータの設定によって異なる場合があります。



②検索が終了すると「検索完了」が表示されます。
プリンタの電源が入っていない等の場合は見つかりません。
検索後、【終了】をクリックします。
「ＣＰ－ＬＰＲの設定」から起動された場合は結果が反映されます。



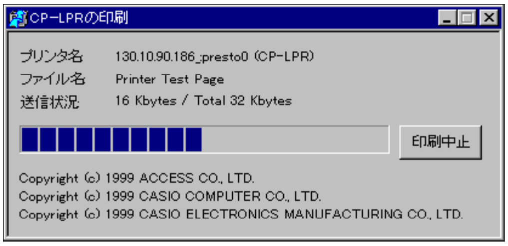


※以上で、MS-Windows 95/98/Meで印刷する際の設定は終了です。

［５］印刷

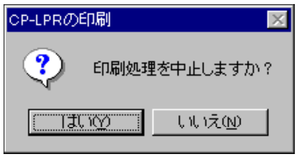
プリンタに印刷を行うと「ＣＰ－ＬＰＲの印刷」が起動されて印刷が行えます。

①「印刷状況表示」を有効にしている場合（デフォルト）は、印刷状況が表示されます。



②【印刷中止】をクリックすると印刷の中止が出来ますがプリンタは別途、リセットする必要があります。

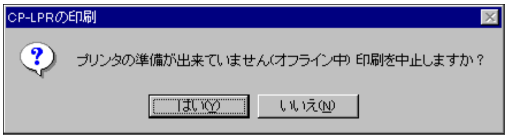
※LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を「使用する」に設定しますと、プリンタのリセットはLANボードが印刷中止を検出して自動的におこないます。　ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。詳しくは「第２章　６－１．設定可能変数の説明」を参照してください。



③印刷の転送が「ポーリング間隔」で指定された時間停止すると状態の表示をします。



④印刷の転送が「印刷タイムアウト」で指定された時間停止するとエラーの表示をします。
印刷の中止が出来ますがプリンタは別途、リセットする必要があります。

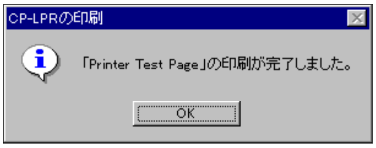


※LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を「使用する」に設定しますと、プリンタのリセットはLANボードが印刷中止を検出して自動的におこないます。　ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。詳しくは「第２章　６－１．設定可能変数の説明」を参照してください。

⑤回線が切断されるとエラー表示されます。
印刷が中止されます。



⑥「印刷完了通知」を有効にしている場合は、印刷完了が通知されます。



２－６．ＤＨＣＰを使用する際の設定

ＴＣＰ／ＩＰ	~~ＮｅｔＷａｒｅ~~

　ＤＨＣＰ(Dynamic Host Configuration Protocol：動的ﾎｽﾄ構成ﾌﾟﾛﾄｺﾙ)を使用してＩＰアドレスの設定／管理をおこなっている環境では、ＬＡＮボードのＩＰアドレスも同様に設定／管理をおこなうことができます。
　ＤＨＣＰはその名称が示すように、ＩＰアドレスを含めたホスト構成を動的におこないますので、印刷をおこなうプリンタにて使用する際には、関連する設定をおこなう必要があります。

　ＬＡＮボードを使用する環境のMicrosoft Network(MS-Windowsのﾈｯﾄﾜｰｸ環境)にて「ＷＩＮＳ(Windows Internet Name Service)」を使用している場合は、WINSサーバのNetBIOSネームサービスによりＬＡＮボードの名前解決(LANボードの名前(設定変数machine_name設定文字列)からDHCPサーバにより割り当てられたIPアドレスへのマッピングの登録と解決)をおこなうことができます。この場合、ＬＡＮボードへDHCPサーバより割り当てられる(ﾘｰｽされる)IPアドレスは「予約」をおこなう必要が無く、毎回異なるIPアドレスをリースされてもＬＡＮボード自身がWINSサーバへNetBIOS名の登録をおこないますので、WINSサーバにより名前解決がおこなわれますので、お使いのコンピュータの設定を毎回変更することなく使用することができます。
　「ＷＩＮＳ」を使用していない場合は、DHCPサーバへLANボードEthernetアドレスとリースするIPアドレスを「予約」登録して使用します。

(注意)・ＷＩＮＳサーバ／ＤＨＣＰサーバはシステム管理者によって管理されています。設定確認にあたっては、システム管理者の了承のもとで行ってください。
・ＷＩＮＳサーバ／ＤＨＣＰはあらかじめサーバコンピュータへインストールされている必要があります。くわしくはシステム管理者に確認してください。または、各オペレーティングシステムのマニュアル／オンラインヘルプをお読みください。

［１］ＤＨＣＰを使用する際の設定手順。

ＬＡＮボードをＤＨＣＰで使用する際は、以下の手順で設定をおこなってください。

①ＬＡＮボードのEthernetアドレス(MACアドレス)を確認します。確認したアドレスは後で使用しますのでメモなどに転記しておいてください。
　→「第１章　１－５．ETHERNETアドレスについて」参照。

②ＤＨＣＰサーバの設定をおこないます。
・ＷＩＮＳを使用している環境の場合、設定の確認をおこないます。必要に応じて設定を追加してください。
・ＷＩＮＳを使用していない環境の場合、「予約」の設定をおこないます。

③ＬＡＮボードの設定をおこないます。
1) ＬＡＮボードへIPアドレスを設定します。
　a)お使いのコンピュータとＬＡＮボードを設置したプリンタが、同一サブネットワーク(ルータ等のネットワーク中継器器を経由しない範囲)に接続されている場合。
　　→コンピュータの「ＡＲＰコマンド」を使用してIPアドレスを仮設定することが可能です。(「第２章　１．ＴＣＰ／ＩＰでの設定コマンド」参照)
　b)お使いのコンピュータとＬＡＮボードを設置したプリンタが、異なるサブネットワークに接続(ルータ等のネットワーク中継器器を経由して接続)されている場合。
　　→ＬＡＮボードの基板上のディップスイッチを使用してIPアドレスを設定します。(「第１章　１－３．ＩＰアドレスの設定」参照)
2)「telnet」または「WWWﾌﾞﾗｳｻﾞ」を使用してLANボードの環境変数を設定します。
　・前述a)またはb)にて設定(仮設定)したIPｱﾄﾞﾚｽを指定して接続します。
　・環境変数「IP アドレス決定方法(ip_decision)」を「DHCP プロトコル使用(dhcp)」へ変更します。　※変更内容の送信(設定の保存)を必ずおこなってください。
　(「第２章　１－２．ｔｅｌｎｅｔ」「第２章　４．WWWブラウザでの設定」参照)

3)ＬＡＮボードを再起動します。
以下のいずれかの方法でおこなえます。
・「telnet」の場合は「reset」コマンドを使用。
・「WWW ﾌﾞﾗｳｻﾞ」の場合は【再起動】をクリック。
・ＬＡＮボードのリセットＳＷを押下。
・プリンタの電源切断、5秒以上待った後、電源投入。

④お使いのクライアントコンピュータの設定をおこないます。
・ＷＩＮＳを使用している環境の場合、ＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_name 設定文字列)を使用してクライアントコンピュータの設定をおこないます。
・ＷＩＮＳを使用していない環境の場合、ＤＨＣＰサーバにて「予約」をおこなったIPアドレスを使用してクライアントコンピュータの設定をおこないます。

［2］ＷＩＮＳサーバ／ＤＨＣＰサーバの設定確認。(ＷＩＮＳを使用している環境の場合のみ)
ここではＷＩＮＳサーバ／ＤＨＣＰサーバの設定を確認します。
以下の説明例ではMS-Windows 2000 Server を例としてしますが、異なる場合は必要に応じて設定をおこなってください。

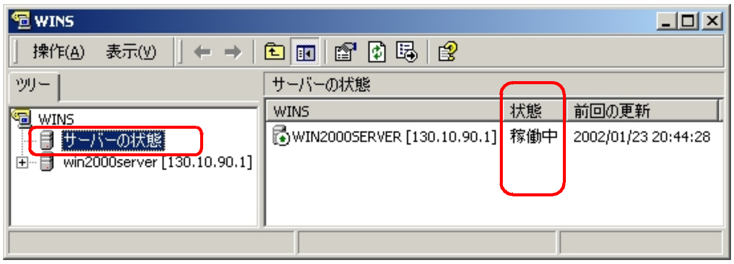
①MS-Windows 2000 Server へユーザグループ「Administrator」に属するユーザ名でﾛｸﾞｲﾝします。

②「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開きます。

③「コントロールパネル」から「管理ツール」を選択し、管理ツールを開きます。

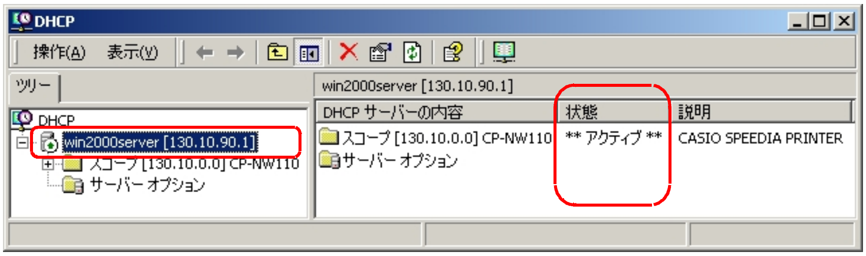
④「管理ツール」から「ＷＩＮＳ」ショートカットを選択し、ＷＩＮＳサーバの管理画面を開きます。(ＷＩＮＳサーバをインストールしていない場合は、ショートカットが表示されません。)

⑤「サーバの状態」が「稼働中」であることを確認してください。

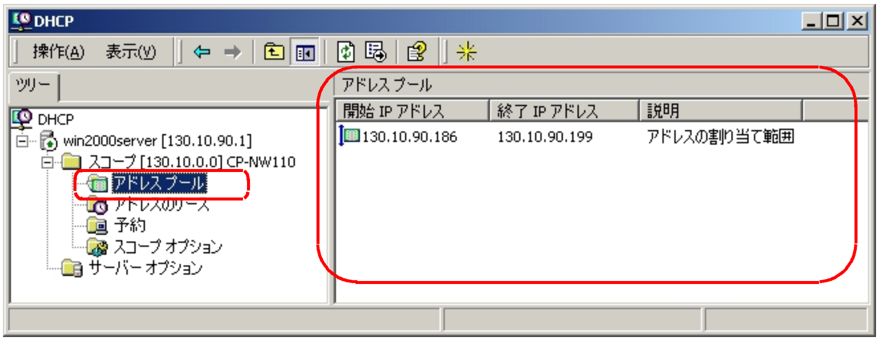


⑥「管理ツール」から「ＤＨＣＰ」ショートカットを選択し、ＤＨＣＰサーバの管理画面を開きます。(ＤＨＣＰサーバをインストールしていない場合は、ショートカットが表示されません。)

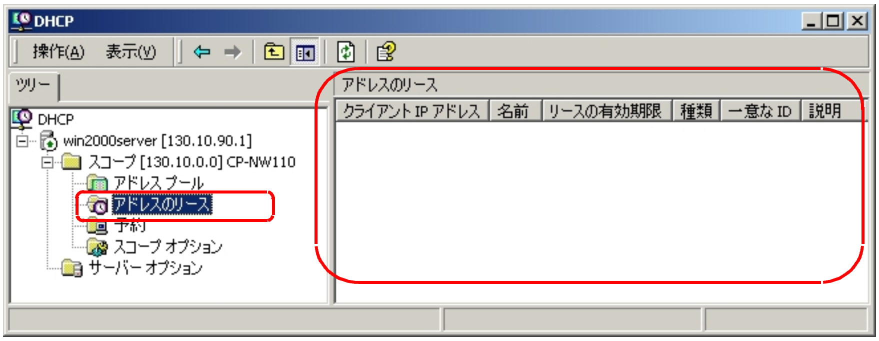
⑦「状態」が「アクティブ」であることを確認してください。また、「スコープ」が正しく設定されていて「アドレスリース」に空きがあることを確認してください。



《「状態」が「アクティブ」である》

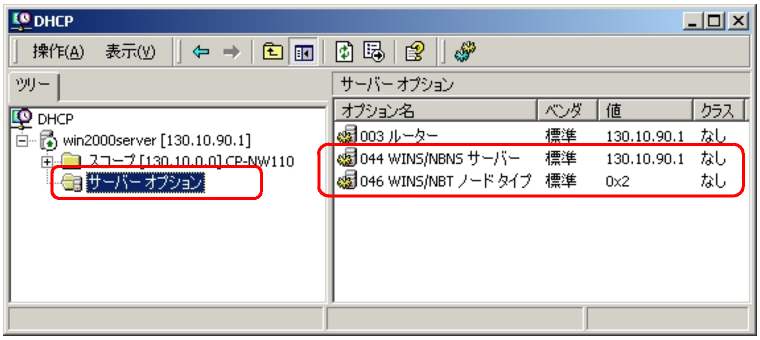


《「アドレスプール」に一定の範囲がある》



《「アドレスリース」で「アドレスプール」が占められておらず、空きがある》

⑧「サーバーオプション」を選択して、ＤＨＣＰサーバのオプションを表示し、以下のオプション設定の確認をしてください。
- 「044 WINS/NBNS サーバー」オプションにＷＩＮＳサーバのＩＰアドレスが設定されている。
- 「046 WINS/NBT ノードタイプ」オプションに「Ｐ－ノード」を含む値が設定されている。



※ノードタイプ設定値は以下の通りです。
- 0x1=B-ﾉｰﾄﾞ
- 0x2=P-ﾉｰﾄﾞ
- 0x4=M-ﾉｰﾄﾞ(Bﾉｰﾄﾞ+Pﾉｰﾄﾞ)
- 0x8=H-ﾉｰﾄﾞ(Pﾉｰﾄﾞ+Bﾉｰﾄﾞ)

※ＬＡＮボードは「Ｐ－ノード」タイプを使用しています。

［３］ＤＨＣＰサーバへ「予約」の追加設定。(ＷＩＮＳを使用していない環境では必須)

ここでは、ＤＨＣＰサーバに対して、LANボードEthernetアドレスとリースするIPアドレスの「予約」登録をおこないます。

以下の説明例ではMS-Windows 2000 Server を例としてしますが、異なる場合は必要に応じて設定をおこなってください。

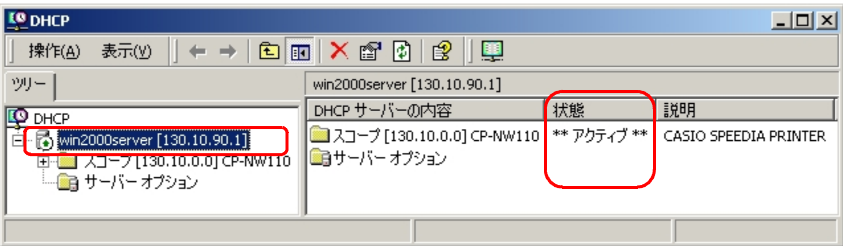
①MS-Windows 2000 Server へユーザグループ「Administrator」に属するユーザ名でﾛｸﾞｲﾝします。

②「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開きます。

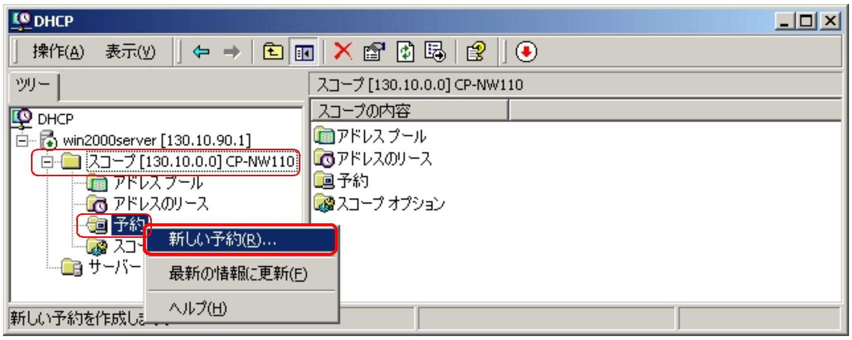
③「コントロールパネル」から「管理ツール」を選択し、管理ツールを開きます。

④「管理ツール」から「ＤＨＣＰ」を選択し、ＤＨＣＰサーバの管理画面を開きます。

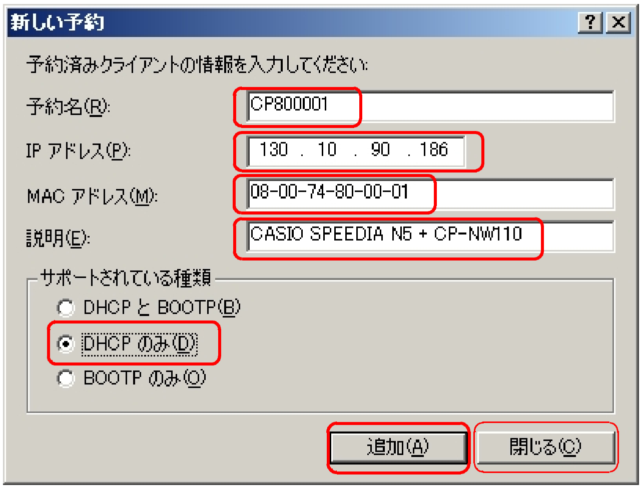
⑤「状態」が「アクティブ」であることを確認してください。



⑥「予約」をおこなう「スコープ」ツリー表示を展開し、「予約」を選択して右クリックメニューより「新しい予約」を選択します。

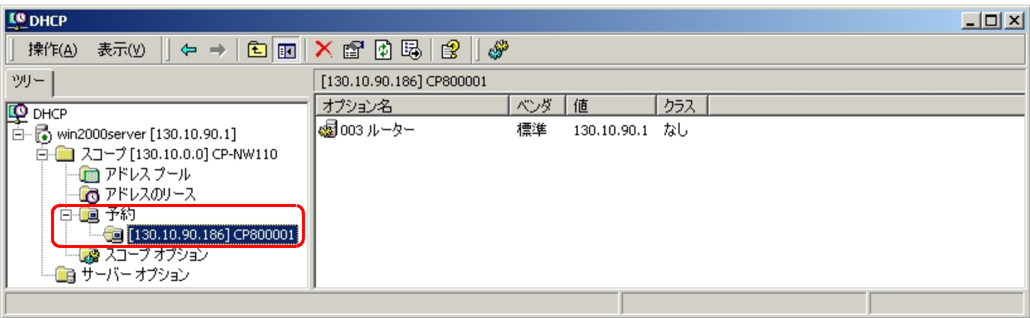


⑦表示される「新しい予約」画面にて、リースをおこなう「ＩＰアドレス」とＬＡＮボードの「ＭＡＣアドレス」(Ethernetｱﾄﾞﾚｽ)を設定し、「ＤＨＣＰのみ」をクリックします。
「予約名」は任意の文字列ですが、ＬＡＮボードのマシン名を設定することをお勧めします。



⑧【追加】をクリックして設定した「予約」を登録します。
続けて複数のプリンタ(ＬＡＮボード)の登録をおこなう場合は、設定と追加を繰り返してください。追加が終了したら【閉じる】をクリックして「新しい予約」を終了します。

⑨「予約」した結果が予約ツリーへ追加表示されていることを確認してください。



［4］ＬＡＮボードの設定。

ここでは、ＬＡＮボードの環境変数「ＩＰアドレス決定方法(変数名：ip_decision)」の設定変更をおこないます。

①ＬＡＮボードへＩＰアドレスを設定します。

a)お使いのコンピュータとＬＡＮボードを設置したプリンタが、同一サブネットワーク(ルータ等のネットワーク中継器器を経由しない範囲)に接続されている場合。

→コンピュータの「ＡＲＰコマンド」を使用してIPアドレスを仮設定することが可能です。
(「第２章　１．ＴＣＰ／ＩＰでの設定コマンド」参照)

コマンド入力画面(MS-Windowsでは｢ｺﾏﾝﾄﾞﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ｣または｢MS-DOSﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ｣)にて、以下のように入力します。

《MS-Windows 2000 の例》

1)ｺﾝﾋﾟｭｰﾀへIPｱﾄﾞﾚｽとEthernetｱﾄﾞﾚｽの対応を記憶させます。

```
C:¥> arp -s 130.10.90.186 08-00-74-80-00-01
```

130.10.90.186 → 仮設定するIPｱﾄﾞﾚｽ
(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀと同一のｻﾌﾞﾈｯﾄﾜｰｸであること)

08-00-74-80-00-01 → LANﾎﾞｰﾄﾞのEthernetｱﾄﾞﾚｽ(MACｱﾄﾞﾚｽ)
※「**第１章 １－５．ETHERNETアドレスについて**」参照。

2)IPﾊﾟｹｯﾄを送信することにより、LANﾎﾞｰﾄﾞへIPｱﾄﾞﾚｽを仮登録します。

```
C:¥> ping 130.10.90.186
```

※ＬＡＮボードの各設定状態が初期状態でないと仮設定できません。
「**第１章 １－４．外部設定ＤＳＷの設定　【ＩＰアドレス設定方法】**」の「**※２**」参照。

b)お使いのコンピュータとＬＡＮボードを設置したプリンタが、異なるサブネットワークに接続(ルータ等のネットワーク中継器器を経由して接続)されている場合。

→ＬＡＮボードの基板上のディップスイッチを使用してIPアドレスを設定します。
(「第１章 １－３．ＩＰアドレスの設定」参照)

②「telnet」または「WWWﾌﾞﾗｳｻﾞ」を使用してLANボードの環境変数を設定します。

・前述a)またはb)にて設定(仮設定)したIPｱﾄﾞﾚｽを指定して接続します。
・環境変数「IP アドレス決定方法(ip_decision)」を「DHCP プロトコル使用(dhcp)」へ変更します。　※変更内容の送信(設定の保存)を必ずおこなってください。
(「第２章　１－２．ｔｅｌｎｅｔ」「第２章　４．WWWブラウザでの設定」参照)

③ＬＡＮボードを再起動します。

以下のいずれかの方法でおこなえます。

・「telnet」の場合は「reset」コマンドを使用。
・「WWWﾌﾞﾗｳｻﾞ」の場合は【再起動】をクリック。
・ＬＡＮボードのリセットＳＷを押下。
・プリンタの電源切断、5秒以上待った後、電源投入。

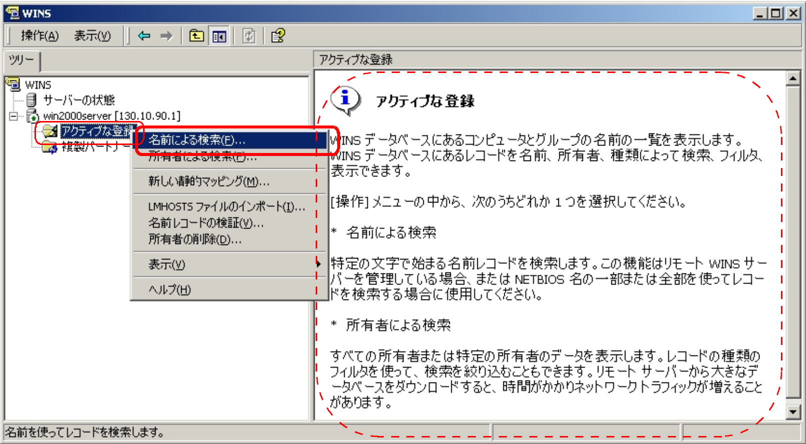
［5］ＤＨＣＰ／ＷＩＮＳの設定の確認。

ここでは、これまでの「ＤＨＣＰを使用する際の設定手順」が正しくおこなわれ、ＬＡＮボードが使用可能状態であることをＷＩＮＳサーバ／ＤＨＣＰサーバの表示で確認します。

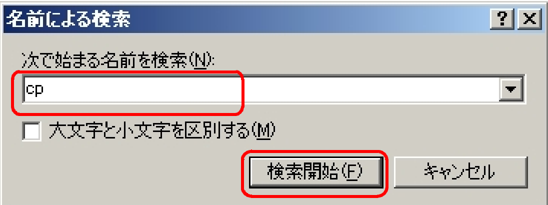
以下の説明例ではMS-Windows 2000 Server を例としてしますが、異なる場合は必要に応じて操作をおこなってください。

①ＷＩＮＳサーバでの確認方法。(ＷＩＮＳを使用している環境の場合のみ)

1)ＷＩＮＳサーバの管理画面で「アクティブな登録」を選択し､右クリックメニューより「名前による検索」を選択します。

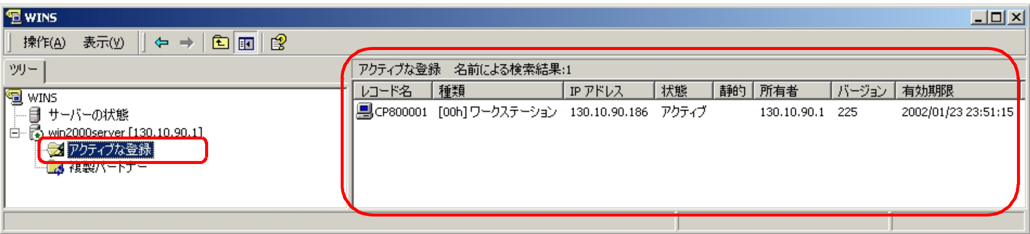


2)「次で始まる名前を検索」欄へＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_name設定文字列)の先頭より2～3文字を入力して【検索開始】をクリックします。



3)検索が終了すると検索結果が表示されますので、「レコード名」欄と「ＩＰアドレス」欄を確認してください。確認した内容は後でクライアントコンピュータの設定に使用しますので、メモなどへ転記しておいてください。

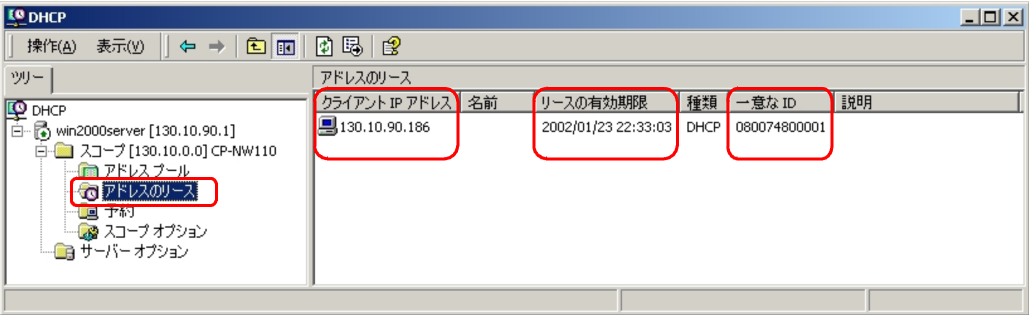
「レコード名」欄にはＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_name設定文字列)が表示されます。先程設定したＬＡＮボードのマシン名と同一であるか確認してください。



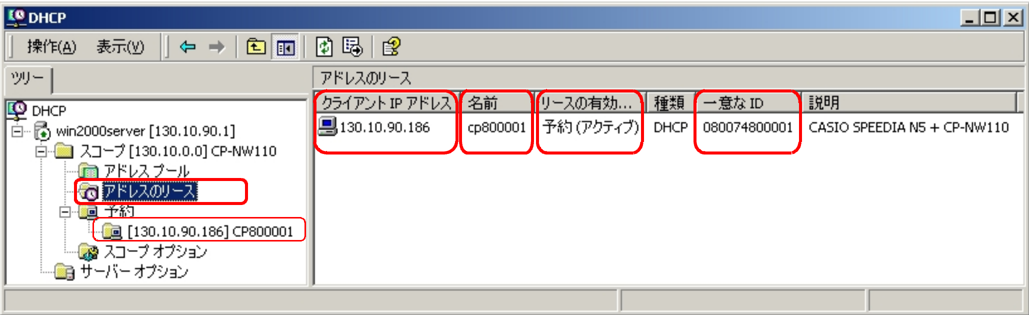
②DHCPサーバでの確認方法。

1)DHCPサーバの管理画面で「アドレスのリース」を選択ます。

2)現在リースされているIPアドレスの一覧が表示されますので、「クライアントIPアドレス」欄，「一意なID」欄を確認してください。確認した内容は後でクライアントコンピュータの設定に使用しますので、メモなどへ転記しておいてください。
「一意なID」欄にはLANボードのEthernetｱﾄﾞﾚｽ(MACｱﾄﾞﾚｽ)が表示されます。先程設定したLANボードのアドレスと同一であるか確認してください。
なお、WINSを使用している環境で「予約」をおこなわなかった場合は「名前」欄は表示されません。



「名前」欄は、「予約」をおこなった際に設定した「予約名」が表示されます。この場合「リースの有効期限」欄に「予約(アクティブ)」と表示されることで、LANボードへ正しくIPアドレスがリースされた(割り当てられた)ことになりますので、確認してください。

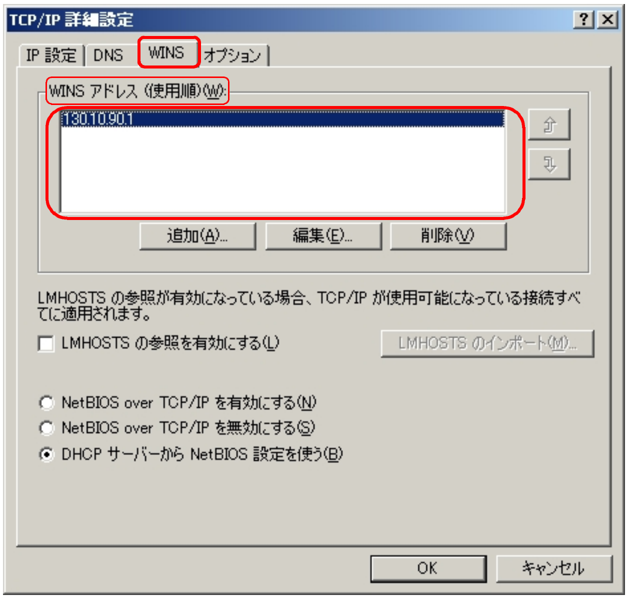


［6］クライアントコンピュータの設定。
　ここでは、これまでの「DHCPを使用する際の設定手順」が正しくおこなわれ、LANボードが使用可能状態になっているものとして、クライアントコンピュータの設定をおこないます。
　以下の説明例ではMS-Windows 2000 Server を例としてしますが、異なる場合は必要に応じて操作をおこなってください。

①「WINS」使用の確認。(WINSを使用している環境の場合のみ)
「スタート」メニューの「設定」から「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択し、ネットワークとダイヤルアップ接続フォルダを開きます。
「ローカルエリア接続」をダブルクリックして「ローカルエリア接続状態」画面を表示させ、【プロパティ】をクリックし「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示させます。

コンポーネントの一覧リストより「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して【プロパティ】をクリックし「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面を表示させます。
【詳細設定】をクリックし、「TCP/IP 詳細設定」画面を表示させ「ＷＩＮＳ」タブをクリックして表示します。

「ＷＩＮＳアドレス」欄にＤＨＣＰサーバに設定してあるＷＩＮＳサーバのＩＰアドレスが含まれていることを確認してください。



②プリンタポートの追加方法。

　プリンタポートの追加方法は、基本的にすでに説明した方法と同じです。異なる点は、ＷＩＮＳを使用している環境の場合、「ポートを追加」する際にＩＰアドレスではなくNetBIOS名としてＬＡＮボードのマシン名(設定変数 machine_name 設定文字列)を使用してポートを定義することができる、点です。特に、ＤＨＣＰサーバにてリースをおこなうＩＰアドレスの「予約」をおこなわなかった場合、プリンタの電源を投入するたびにＬＡＮボードへ割り当てられるＩＰアドレスが異なる場合がありますので、プリンタポートをNetBIOS名で定義してＷＩＮＳサーバにて名前解決(ＬＡＮボードの名前)からＤＨＣＰサーバにより割り当てられたIPアドレスへのマッピングの登録と解決)をおこなわないと快適な印刷ができなくなります。

　ここでは、ＷＩＮＳを使用していて、かつＤＨＣＰサーバにてＩＰアドレスの「予約」をおこなわないで運用する環境での、クライアントコンピュータで印刷する際の設定手順を説明します。　以外の環境ではすでに説明した設定手順を参照してください。

　なお、説明はWindows 2000環境で「Standard TCP/IP Port」を使用してTCP/IPネットワーク印刷をおこなう手順に関しておこないますが、以外の環境においてもポート名またはプリンタ名をＩＰアドレスではなくNetBIOS名としてＬＡＮボードのマシン名を使用して定義することにより設定がおこなえます。

①「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択し、プリンタフォルダを開きます。

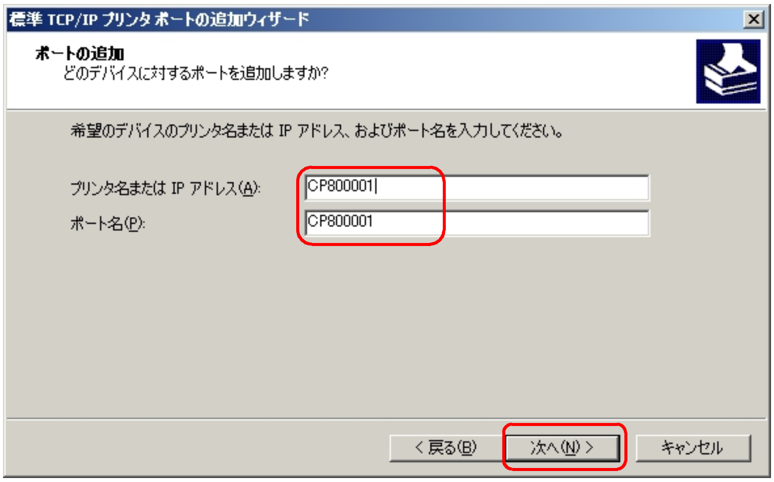
②TCP/IPネットワーク印刷をおこないたいプリンタのプロパティを開きます。

③プリンタプロパティより「ポート」タブをクリックしてポートタブを選択します。
続いて、【ポートの追加】をクリックし、ポートの追加を開始します。

④「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選択し、【新しいポート】をクリックします。

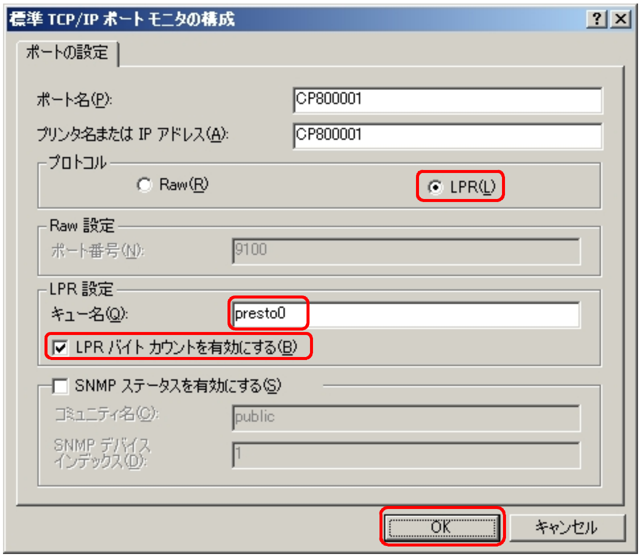
⑤「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザート」が起動されますので、【次へ】をクリックします。

⑥「ポートの追加」画面が表示されますので、「プリンタ名またはIPアドレス」へ NetBIOS 名としてＬＡＮボードのマシン名を入力し、【次へ】をクリックします。マシン名を入力すると、「ポート名」は自動的に表示されます。



⑦「ポートの情報が更に必要です。」画面が表示されますので、「デバイスの種類」で「カスタム」を選択した後、【設定】をクリックします。

⑧「ポートの設定」画面が表示されますので、以下の設定をおこないます。



●プロトコルは「LPR」を選択します。
●LPR設定の「キュー名」へ「presto0」と小文字で入力します。
●LPR設定の「バイトカウントを有効にする」にチェックします。

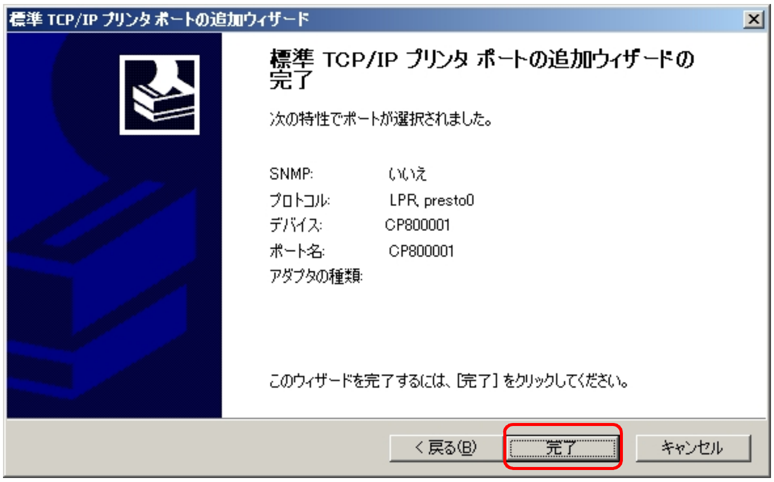
すべての設定が終了したら【ＯＫ】をクリックします。

※本ＬＡＮボード(CP-NW110)は、「バイトカウントを有効にする」を選択しなくても正常に動作します。

注)LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を「使用する」に設定する場合は、「バイトカウントを有効にする」を選択する必要があります。
プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用しますと、LANボードが「ドキュメントのキャンセル」を検出して自動的にプリンタ制御ソフトウェアのリセットをおこないます。
ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。
詳しくは「第２章　６－１．設定可能変数の説明」を参照してください。

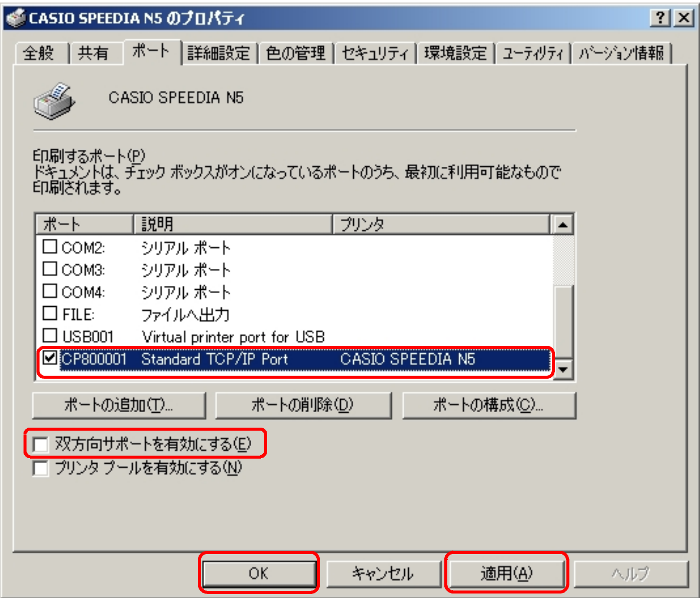
⑨「ポートの情報が更に必要です。」画面へ戻りますので、【次へ】をクリックします。

⑩「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されますので、【完了】をクリックします。



⑪「プリンタポート」画面へ戻りますので、【閉じる】をクリックします。

⑫プリンタプロパティ画面へ戻りますので、設定したポートが登録され選択されている(チェックボックスがオン)ことを確認してください。
そして、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。
その後、【適用】、【ＯＫ】をクリックし終了します。



以上で、ＷＩＮＳを使用していて、かつＤＨＣＰサーバにてＩＰアドレスの「予約」をおこなわないで運用する環境での、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。
Windows 2000 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

２－７．ｔｅｌｎｅｔによる設定

telnetを使用しますと、ＴＣＰ／ＩＰ環境においてＬＡＮボードの環境変数設定を行うことができますが、設定可能項目としてはＴＣＰ／ＩＰ環境に限定されているわけではありません。　ＮｅｔＷａｒｅ環境に於ける環境変数に関しても、telnetのコマンドを用いて設定することが可能です。各設定は管理者でなければ出来ません。

telnetコマンドの詳細については、「第２章　１．ＴＣＰ／ＩＰでの設定用コマンド」を参照してください。

また、設定可能項目については、「第２章　６．設定可能変数一覧」も参照してください。

変数グループ／項目	設定内容または推奨値等	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
admin_passwd	ＬＡＮボード設定管理者用パスワード	未設定
ｎｅｔｗｏｒｋ		
ip_address	ＩＰアドレス設定値（ip_decisionがnormalの時に有効）	0.0.0.0
ip_decision	ＩＰアドレス決定方法 normal,dsw,bootp,dhcp,rarpを選択※2	normal
netmask	サブネットマスク	0.0.0.0
gateway	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
ftp_passwd	passwordを要求するftpdの場合に設定	off
tcp_keep_alive	TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔。（０～７９秒）	30
print_reset	プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の設定※3 （enable:使用する/disable:使用しない）	disable
machine_name	マシン名：デフォルト値の流用を推奨	CPxxxxxx
comment	コメント	未設定
nw_mode	pserver modeでは、[pserver] rprinter modeでは、[rprinter]	rprinter
ｎｗ＿ｐａｒａｍ		
nw_packet	IEEE802.3,IEEE802.2,EHTERNETⅡ,AUTOのどれかを選択※1	auto
nw_spx_abort	ＳＰＸ監視停止タイムアウト時間。（３０～３００秒）	30
nw_spx_listen	ＳＰＸ監視検査タイムアウト時間。（１～１８０秒）	6
nw_spx_verify	ＳＰＸ確認待機タイムアウト時間。（１～１５秒）	3
pserver	rprinter modeでは、必ずプリントサーバ名を入力	未設定
timeout	タイムアウト時間。（１～２５５秒）	10
fserver1	pserver mode では、ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞは最大4台まで設定が可能です。（fserver1～fserver4 のうち必ず1つ以上にﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ名を入力してください）。なお、同じファイルサーバ名を入力しないでください。	未設定
fserver2		未設定
fserver3		未設定
fserver4		未設定
polltime	ポーリング時間。（１～２５５秒）	15
nw_passwd	ＮｅｔＷａｒｅ用パスワード	未設定
nw_ncp_timeout	ＮＣＰタイムアウト監視時間。（１～２５５秒）	3
nw_ncp_retry	ＮＣＰパケット再送信回数。（１～２５５回）	20
ＳＮＭＰ		
snmp_mode	SNMPの動作モードを設定します。	enable
snmp_name	コミュニティ名を設定します。	public
snmp_host	Trapパケットを送信するホストのIPアドレスを設定します	0.0.0.0

次ページへ

※1）それぞれの値はieee802_3,ieee802_2,ethernet_ii,autoと入力してください。

※2）外部設定ＤＳＷ５の１（ＩＰアドレス設定方法）の設定が優先です。
「第１章　１－４．外部設定ＤＳＷの設定」を参照してください。

※3）使用可能な環境に制限があります。詳しくは「第２章　６－１．設定可能変数の説明」を参照してください。

変数グループ／項目	設定内容または推奨値等	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
プリンタポート共通		
index	インデックス印字指定（enable:する/disable:しない）	disable
Ｔｈｒｏｕｇｈポート（presto0）		
banner0	ftp/lpr時のバナー印字の指定（on:する/off:しない）	off
bojstring0	ftp/lpr時、印字開始位置に出力される文字列	未設定
eojstring0	ftp/lpr時、印字終了位置に出力される文字列	未設定
ＳＪＩＳポート（presto1）		
printertype1	ESC/P選択の場合は[ESC/P] と書き換え	PR201
banner1	ftp/lpr時のバナー印字の指定（on:する/off:しない）	off
tabsize1	ftp/lpr時、ＴＡＢスペース変換（１～１３２）	8
bojstring1	ftp/lpr時、印字開始位置に出力される文字列	未設定
eojstring1	ftp/lpr時、印字終了位置に出力される文字列	未設定
ＥＵＣポート（presto2）		
printertype2	ESC/P選択の場合は[ESC/P] と書き換え	PR201
banner2	ftp/lpr時のバナー印字の指定（on:する/off:しない）	off
tabsize2	ftp/lpr時、ＴＡＢスペース変換（１～１３２）	8
bojstring2	ftp/lpr時、印字開始位置に出力される文字列	未設定
eojstring2	ftp/lpr時、印字終了位置に出力される文字列	未設定

２－８．WWWブラウザによる設定

WWWブラウザを使用しますと、ＴＣＰ／ＩＰ環境においてＬＡＮボードの環境変数設定を行うことができますが、設定可能項目としてはＴＣＰ／ＩＰ環境に限定されているわけではありません。　ＮｅｔＷａｒｅ環境に於ける環境変数に関しても、WWWブラウザを用いて設定することが可能です。各設定は管理者でなければ出来ません。

WWWブラウザでの詳細については、「第２章　４．WWWブラウザでの設定」を参照してください。

また、設定可能項目については、「第１章　２－７．ｔｅｌｎｅｔによる設定」、「第２章　６．設定可能変数一覧」も参照してください。

３．ＮｅｔＷａｒｅでのご利用について

~~ＴＣＰ／ＩＰ~~　ＮｅｔＷａｒｅ

ＮｅｔＷａｒｅ環境でのネットワークプリンタとしてインストールする場合、ＬＡＮボードでは、リモートプリンタモードと、プリントサーバモードの２つのモードを選択することができます。

リモートプリンタモードは、ファイルサーバ機、もしくは専用のプリントサーバ機上で動作するＰＳＥＲＶＥＲを介して運用されるモードです。これに対してプリントサーバモードは、プリンタ本体内（正確にはＬＡＮインターフェース上）でＰＳＥＲＶＥＲを動作させ運用されるモードです。どちらにしてもＰＣＯＮＳＯＬＥの設定は不可避であり、しかもそれぞれの設定内容は異なっています。両モードを混同しないよう注意してください。

３－１．リモートプリンタモードの設定

ＲＥＭＯＴＥＰＲＩＮＴＥＲ　ＭＯＤＥ

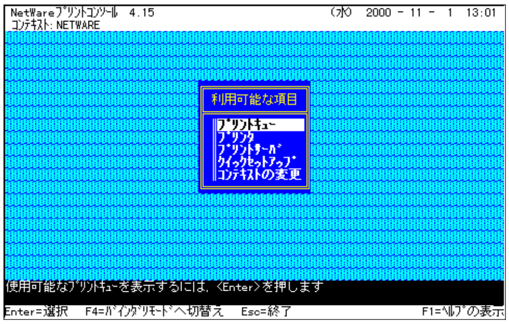
リモートプリンタモード

リモートプリンタモードの設定をおこなうには、ＮｅｔＷａｒｅサーバにインストールされているユーティリティを使用します。
NetWare 4.x以前のバージョンでは「PCONSOLE.EXE」を使用し、NetWare 5以降のバージョンでは「NetWareアドミニストレータ」を使用します。

【1】ＮｅｔＷａｒｅ　４．×Ｊのリモートプリンタモードの設定。

［１］ＰＣＯＮＳＯＬＥを実行します。

※PCONSOLE.EXEは、通常
「SYS:\PUBLIC」に格納されています。



［２］ディレクトリコンテキストを変更します。

※プリントサーバ，プリンタ，プリントキューはディレクトリツリー内に作成されますので、必要に応じてコンテキストを変更します。

(例)コンテキストを「NETWARE」から「FSERVER1.NW411J.NETWARE」へ変更する場合。

1)「利用可能な項目」メニューから「ｺﾝﾃｷｽﾄの変更」を選択します。

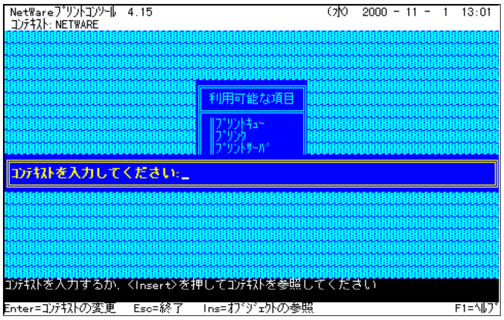


Enterキー押下

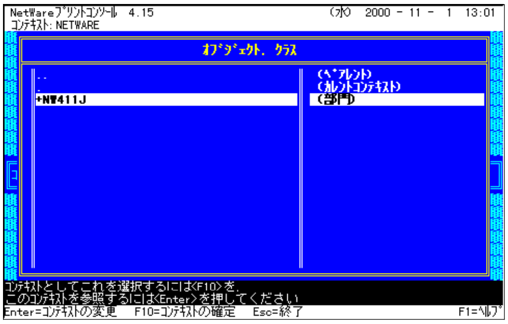
【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

リモートプリンタモード

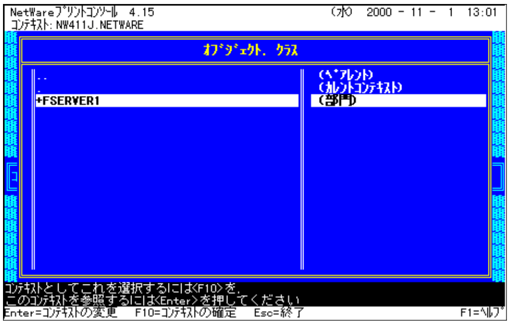
2)コンテキストを入力するか<Insert>キーを押下した後、表示される選択画面に従ってコンテキストを確定します。



Insertキー押下



部門を選択してEnterキー押下

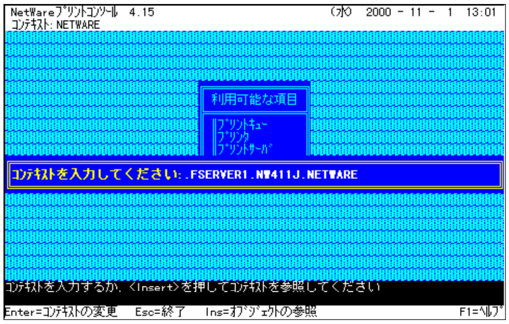


部門を選択してEnterキー押下

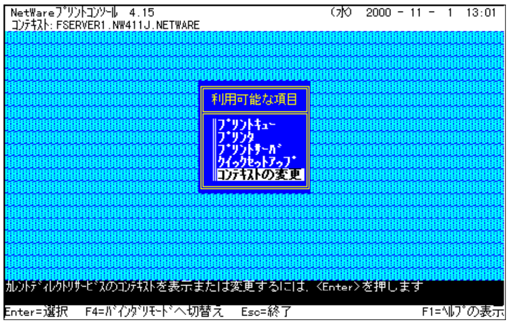


F10キーにて確定

コンテキスト名直接入力
例では
「.FSERVER1.NW411J.NETWARE」
と入力。



Enterキー押下にて確定



【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

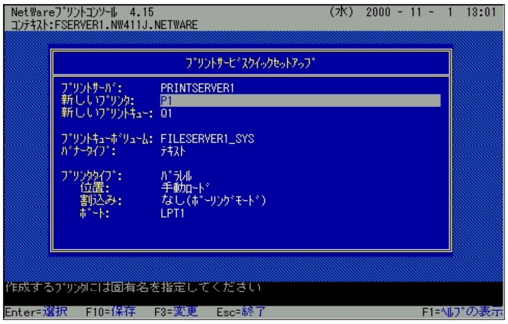
［3］クイックセットアップによる設定

①「利用可能な項目」メニューから、「クイックセットアップ」を選択します。



Enterｷｰ押下

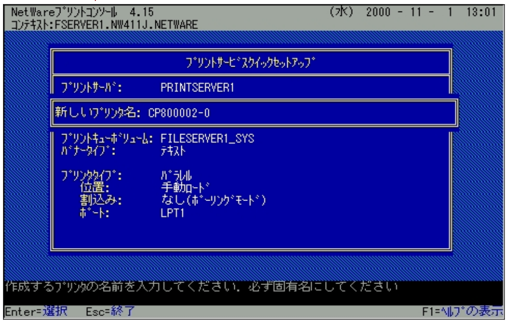
②「プリントサーバ」名を確認した後、「新しいプリンタ」欄へカーソルを移動します。



プリンタ名の入力開始

③「新しいプリンタ名」の入力を開始します。入力ボックスはプリンタ名の入力を開始すると自動的に表示されます。
入力終了後、Enterｷｰを押下して確定します。

※プリンタ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した文字列を入力してください。
ＬＡＮボードのマシン名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初期化時の状態)ではEthernetｱﾄﾞﾚｽの下6桁に「CP」を付加した文字列となっています。
(例)ＬＡＮボードのEthernetｱﾄﾞﾚｽが「080074800002」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっていますので、新しいプリンタ名には図のように「CP800002-0」と入力してください。

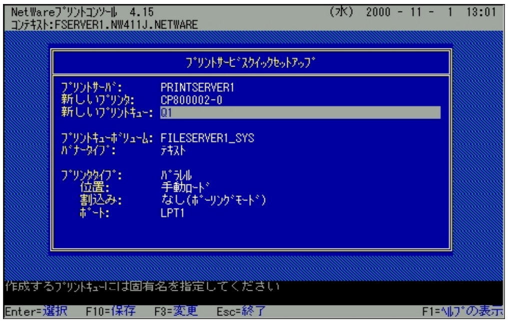


プリンタ名入力後、Enterｷｰ押下

【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

リモートプリンタモード

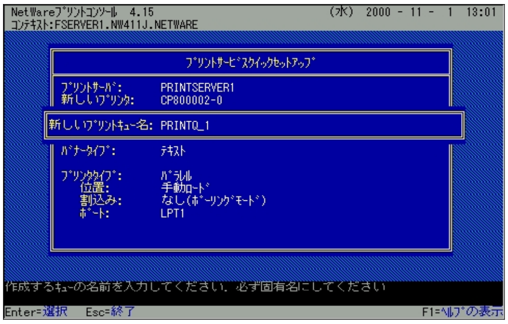
④「新しいプリントキュー」欄へカーソルを移動します。



プリントキュー名の入力開始

⑤続けて「新しいプリントキュー」名を入力します。入力ボックスはプリントキュー名の入力を開始すると自動的に表示されます。

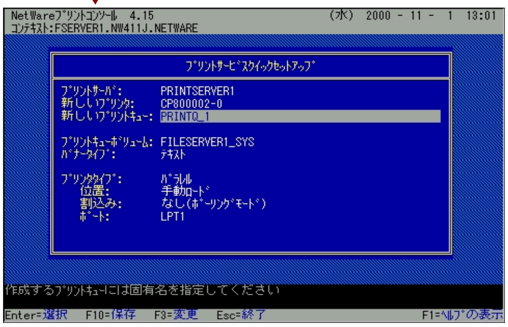
※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作成します。



プリントキュー名入力後、Enterｷｰ押下

⑥必要に応じて「プリントキューボリューム」の設定を変更します。
その他の設定は、表示されたままにして、変更しないでください。

各設定内容を確認後、【F10】キーを押下して設定を保存することによりクイックセットアップを終了します。



F10ｷｰ押下、保存終了

⑦以上で、クイックセットアップによるプリンタの設定は終了です。
※リモートプリンタモードで運用を行うネットワークプリンタ（ＬＡＮボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順①～⑥を繰り返しておこなってください。



ESCｷｰ押下、PCONSOLE終了

⑧【ESC】ｷｰを押下して、PCONSOLEを終了します。

【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

［4］ＰＳＥＲＶＥＲのＲＥＬＯＡＤ

> 《注意》　このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペレーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

ファイルサーバのコンソール画面で、ＰＳＥＲＶＥＲをリロード(RELOAD)します。リロードというのは、既にＰＳＥＲＶＥＲが実行されている場合には、一旦アンロード(UNLOAD)してから再度ロード(LOAD)するという内容を含みます。

ファイルサーバのＳＹＳＴＥＭコンソールを使用する場合。

NetWare 3.12J以前のﾊﾞｰｼﾞｮﾝでは、SYSTEMｺﾝｿｰﾙからのｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝのみ可能です。

ファイルサーバのプリントサーバコンソールを使用する場合。

※［3］で追加を行ったプリンタは、この段階ではまだ「ﾌﾟﾘﾝﾀﾘｽﾄ」に表示されていません。

ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ SYSTEMｺﾝｿｰﾙ

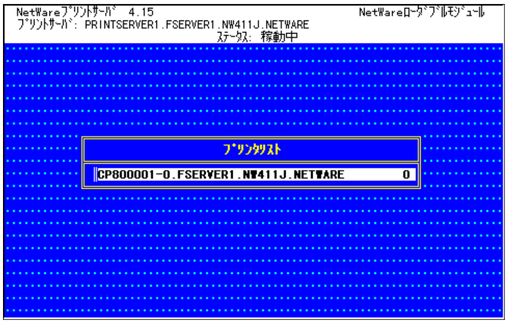
```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   11:54:23 JST

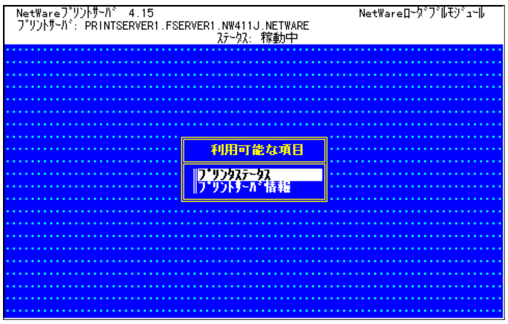
OEM 識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ:
ｼﾘｱﾙ番号      接続数        ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ      ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ   有効期限
12345678     100           WEB/CONN       4.11     NONE

FILESERVER1:unload pserver
```

「unload pserver」入力後Enterｷｰ押下。



Escapeｷｰ押下。



Escapeｷｰ押下。

【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

リモートプリンタモード



「Yes」選択後Enterｷｰ押下にて
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞをｱﾝﾛｰﾄﾞします。

ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ SYSTEMｺﾝｿｰﾙ

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   11:54:23 JST

OEM 識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ:
ｼﾘｱﾙ番号     接続数      ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ    ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ   有効期限
12345678     100         WEB/CONN     4.11      NONE

FILESERVER1:unload pserver
               ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ PRINTSERVER1.FSERVER1.NW411J.NETWARE はｱﾝ
ﾛｰﾄﾞされました
FILESERVER1:load pserver PRINTSERVER1
```

「load pserver PRINTSERVER1」
入力後Enterｷｰ押下。

ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ SYSTEMｺﾝｿｰﾙ

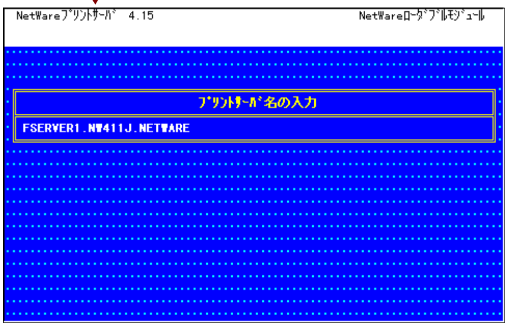
```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   11:54:23 JST

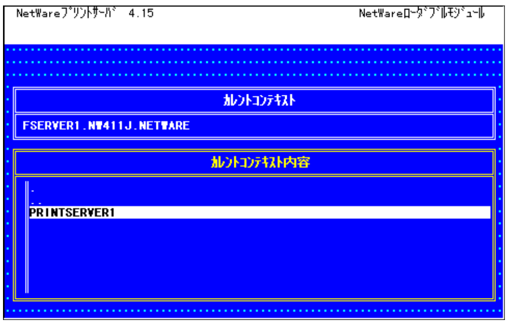
OEM 識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ:
ｼﾘｱﾙ番号     接続数      ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ    ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ   有効期限
12345678     100         WEB/CONN     4.11      NONE

               ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ PRINTSERVER1.FSERVER1.NW411J.NETWARE はｱﾝ
ﾛｰﾄﾞされました
FILESERVER1:load pserver
```

「load pserver」入力後
Enterｷｰ押下。



Enterｷｰ押下。



ﾛｰﾄﾞするﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞを選択して
Enterｷｰを押下。

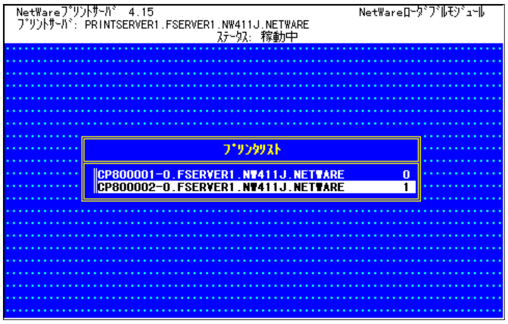
【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

※「利用可能な項目」から「プリンタステータス」を選択しEnterｷｰを押下します。



Enterｷｰ押下にて「ﾌﾟﾘﾝﾀﾘｽﾄ」を表示させます。

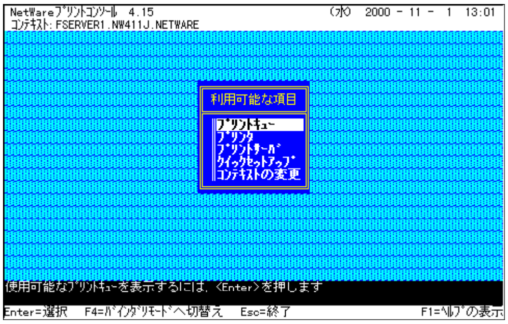
※［３］で追加を行ったプリンタが「プリンタリスト」に追加表示されていることで、プリンタの追加が正しくおこなえたことを確認します。



［５］クイックセットアップを使用しない場合の設定方法。

（１）プリントキューの追加を行います。
プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します。

①「利用可能な項目」メニューから「プリントキュー」を選択します。



Enterｷｰ押下にて選択

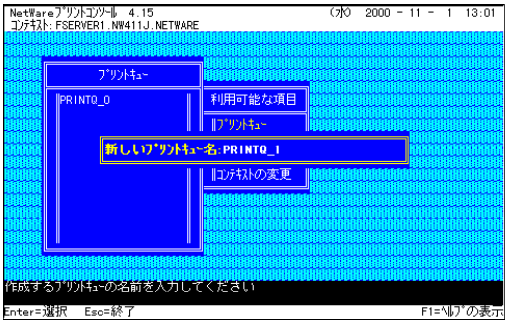
【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

②Insertｷｰを押下し、プリントキューの追加を選択します。



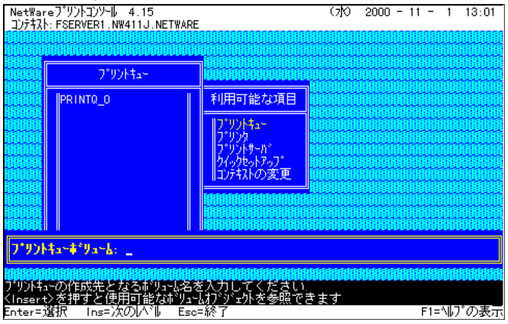
Insertｷｰ押下後、追加するプリントキュー名を入力します。

③追加するプリントキュー名を入力します。



Enterｷｰ押下にて入力確定。

④プリントキューの作成先となるボリュームを指定します。



Insertｷｰを押下して、ボリューム名の表示を行います。

⑤プリントキューの作成先ボリュームを選択します。　作成先ボリュームには十分な空き容量のあるボリュームを指定してください。



ボリュームを選択後Enterｷｰを押下し、確定します。

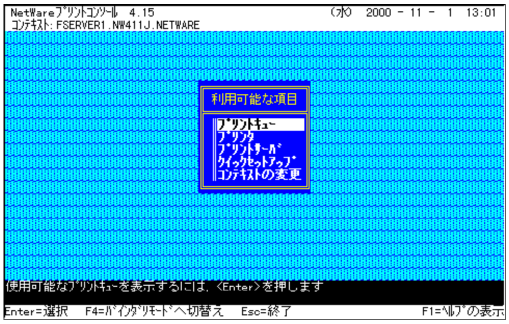
【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

⑥プリントキューの追加は終了しました。



Escapeｷｰ押下。

⑦Escapeｷｰを押下し、「利用可能な項目」メニューへ戻ります。

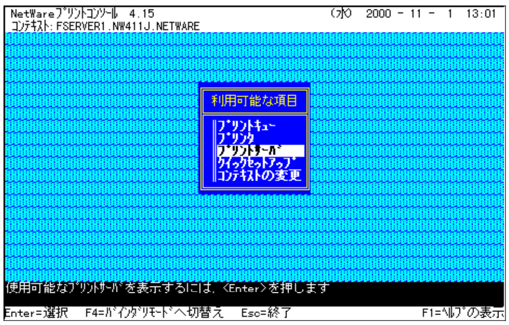


※続けて、プリントサーバ情報を設定します。

（2）プリントサーバはディレクトリツリー内に作成されていますので、プリントサーバの作成されているコンテキストへ変更します。

（3）プリンタの追加を行います。

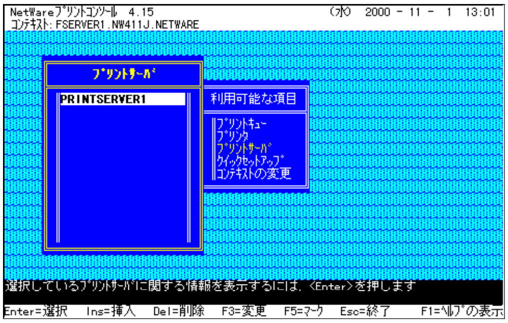
⑧「利用可能な項目」メニューから、「プリントサーバ」を選択します



Enterｷｰ押下にて選択。

【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

⑨プリントサーバが、既に設定してあればそれを利用します。なければ新規に作成を行ってください。



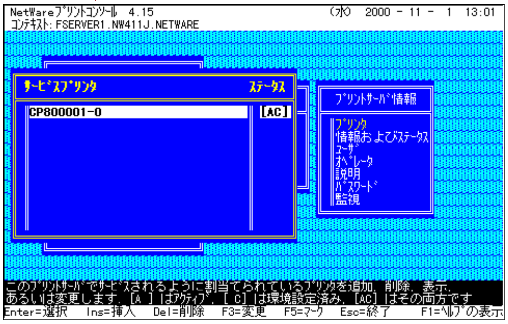
プリントサーバを選択しEnterキー押下。

⑩「プリントサーバ情報」メニューから「プリンタ」を選択します。



Enterキー押下。

※既に設定されているプリンタの一覧が表示されます。



Insertキー押下。

⑪Insertキーを押下し、追加するプリンタの選択メニューを表示します。



さらに続けてInsertキー押下。

【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

リモートプリンタモード

⑫さらにInsertｷｰを押下し、新しいプリンタ名の入力を行います。

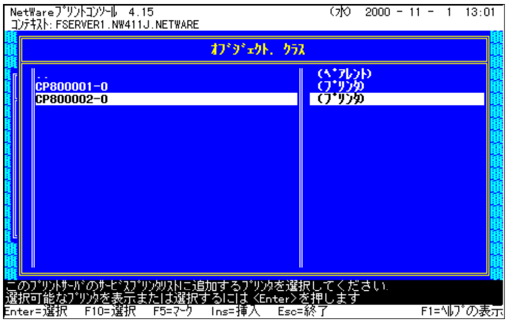
※プリンタ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した文字列を入力してください。
ＬＡＮボードのマシン名は工場出荷時の状態ではEthernetｱﾄﾞﾚｽの下6桁に「CP」を付加した文字列となっています。

(例)ＬＡＮボードのEhternetｱﾄﾞﾚｽが「080074800002」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっていますので、新しいプリンタ名には図のように「CP800002-0」と入力してください。



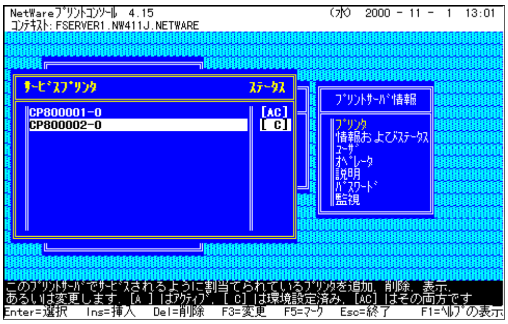
Enterｷｰ押下にて入力確定。

⑬追加したプリンタを選択します。



追加したプリンタを選択してEnterｷｰ押下。

⑭プリンタの追加は終わりました。追加したプリンタを選択し、続けてプリンタの環境設定を行います。



追加したプリンタを選択してEnterｷｰを押下し、プリンタの環境設定をおこなう。

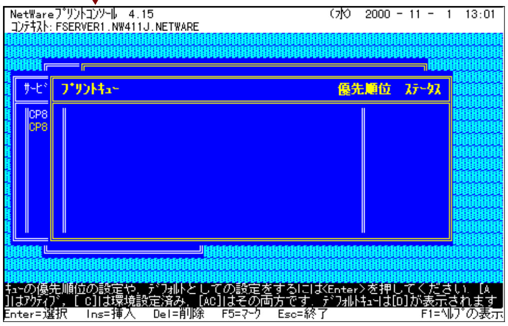
【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

⑮ここではプリントキュー割り当てのみをおこないます。
「プリントキュー割当て」を選択します。
注)「プリンタタイプ」は「パラレル」に設定してください。「環境設定」は変更しないでください。その他は必要に応じて設定してください。



Enterキーを押下し、プリントキューの割当てを行います。

⑯Insertキーを押下し、追加したプリンタがサービスを行うプリントキューの追加を行います。



Insertキー押下。

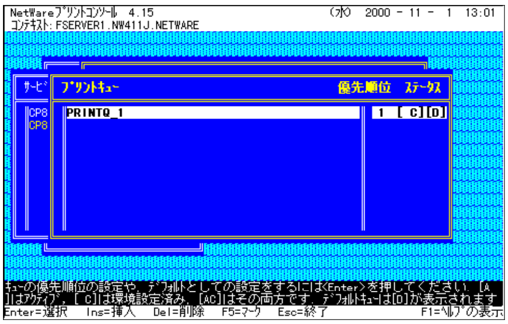
⑰プリントキュー一覧の中から②～⑥で追加したプリントキューを選択してEnterキーを押下します。

※プリントキューを複数割当てることもできます。また、異なるディレクトリコンテキストに設定されているプリントキューを割当てることもできます。



プリントキューを選択しEnterキー押下。

※必要に応じてプリントキューの優先順位を設定します。
詳しくは、NetWareのマニュアル等をご参照ください。

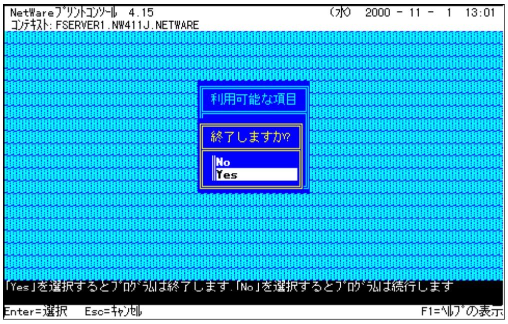


Escapeキーを複数回押下し、PCONSOLEの終了メニューを表示させます。

【NetWare 4.xJのリモートプリンタモードの設定】

※リモートプリンタモードで運用を行うネットワークプリンタ（ＬＡＮボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順①～⑰を繰り返して行ってください。

⑱プリントサーバ情報の設定は終わりました。Escapeｷｰを複数回押下して「終了しますか?」メニューを表示させ、「YES」を選択してEnterｷｰを押下しPCONSOLEを終了してください。



Enterｷｰ押下にてPCONSOLEを終了します。

（４）追加したプリンタを有効にします。

⑲ＰＳＥＲＶＥＲのＲＥＬＯＡＤ

《注意》	このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペレーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

前述「［４］ＰＳＥＲＶＥＲのＲＥＬＯＡＤ」の手順に従い、ファイルサーバのコンソール画面で、ＰＳＥＲＶＥＲをリロード(RELOAD)します。
リロード後、追加を行ったプリンタが「プリンタリスト」に追加表示されていることで、プリンタの追加が正しくおこなえたことを確認します。

［６］注意事項。

（１）プリンタの印刷動作をより詳細に設定するために、ＮｅｔＷａｒｅにはＰＲＩＮＴＤＥＦ、ＰＲＩＮＴＣＯＮ、ＣＡＰＴＵＲＥ等のコマンドが用意されています。内容については、ＮｅｔＷａｒｅのマニュアルをご参考ください。

（２）これまでの操作例は「NetWare 4.11J」の画面表示を元に説明しています。
「NetWare 4.xJ」は、ほとんど同じ操作でお使いいただけます。「NetWare 3.2J」以前のバージョンでは、ＰＣＯＮＳＯＬＥ、プリントサーバコンソール等の画面表示が変更されていますが、設定の手順は概ね同様です。
また、「NetWare 5.xJ」では使用するNetWareユーティリティが異なり、設定の手順も変更になっていますが、基本的な考え方は概ね同様です。
「NetWare 3.xJ」「NetWare 5.xJ」のバージョンについては次ページ以降を参照してください。

（３）くわしくはシステム管理者にお尋ねください。

【NetWare 3.xJのリモートプリンタモードの設定】

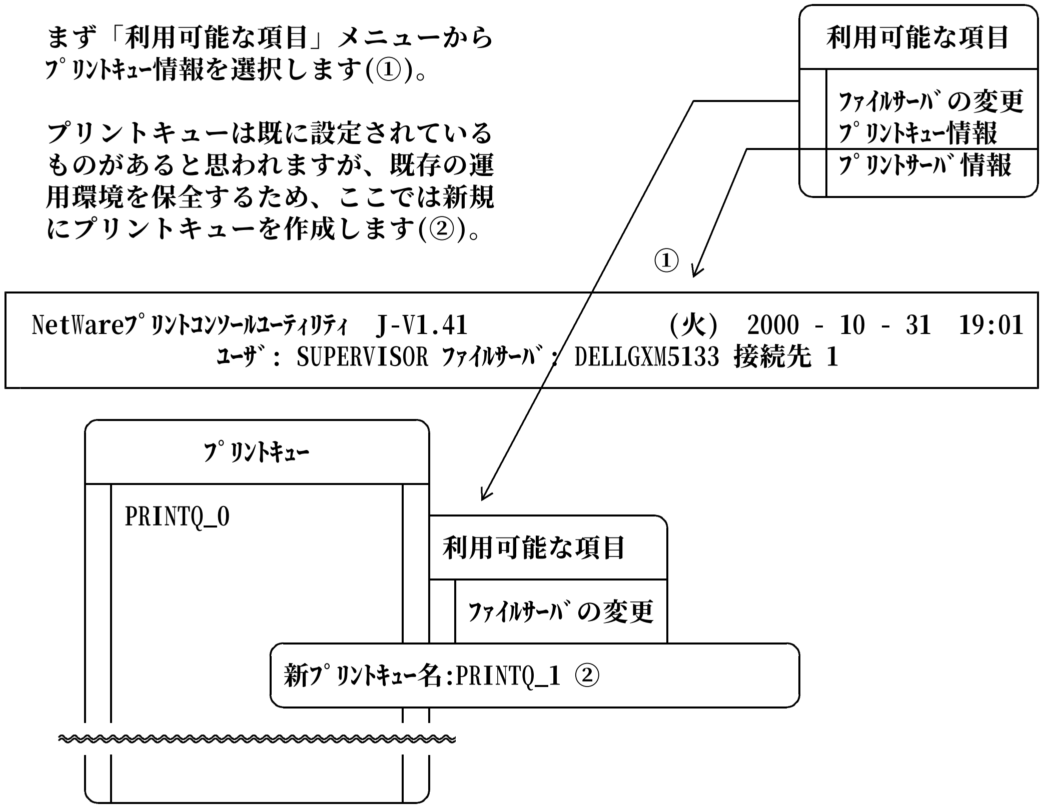
【２】ＮｅｔＷａｒｅ　３．×Ｊのリモートプリンタモードの設定。

［７］ＰＣＯＮＳＯＬＥを実行します。

［８］プリントキュー情報を設定します。

まず「利用可能な項目」メニューからﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報を選択します(①)。

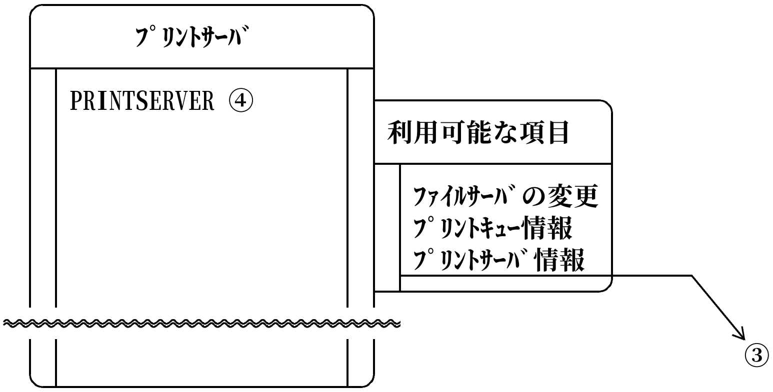
プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します(②)。



［9］プリントサーバ情報を設定します。

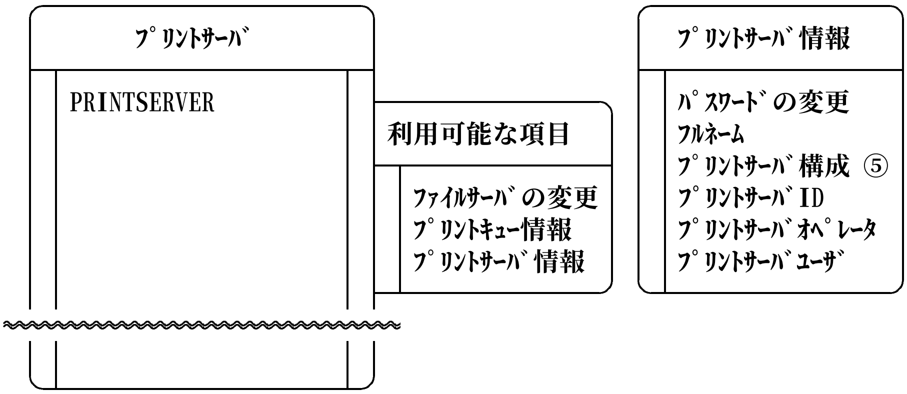
「利用可能な項目」メニューに戻り、ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報 を選択します(③)。プリントサーバが、既に設定してあればそれを利用します。なければ新規に作成を行ってください(④)。

```
NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙﾕｰﾃｨﾘﾃｨ  J-V1.41            (火)  2000 - 10 - 31  19:01
              ﾕｰｻﾞ: SUPERVISOR ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ: DELLGXM5133 接続先 1
```



「プリントサーバ情報」メニューからﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成 を選択します(⑤)。

```
NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙﾕｰﾃｨﾘﾃｨ  J-V1.41            (火)  2000 - 10 - 31  19:01
              ﾕｰｻﾞ: SUPERVISOR ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ: DELLGXM5133 接続先 1
```

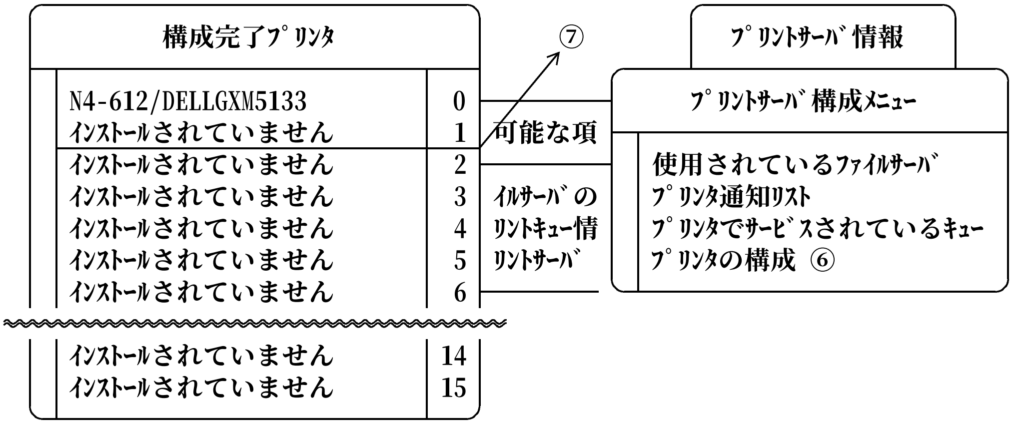


【NetWare 3.xJのリモートプリンタモードの設定】

「プリントサーバ構成メニュー」から、ﾌﾟﾘﾝﾀ構成 を選択します(⑥)。

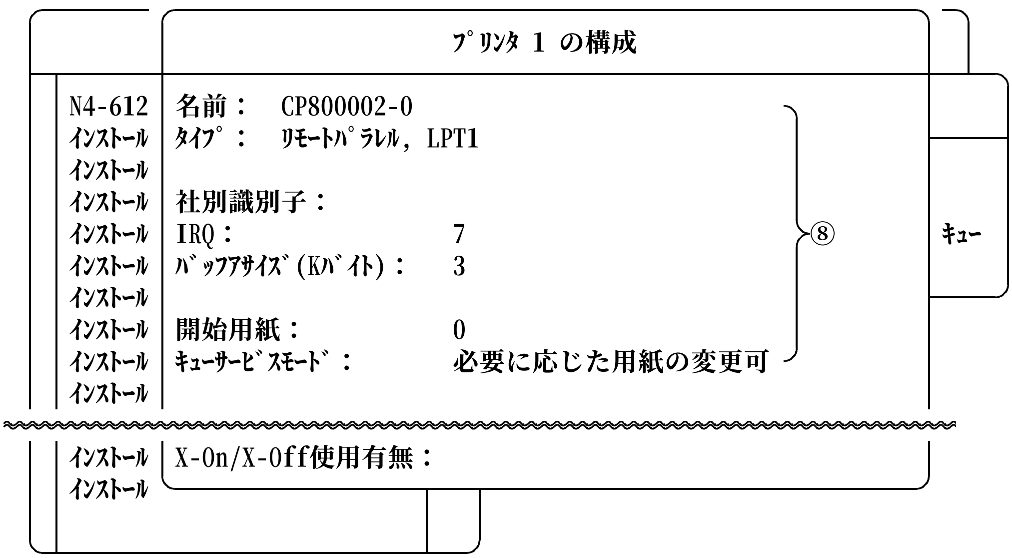
「構成完了プリンタ」メニューから、未インストール（ｲﾝｽﾄｰﾙされていませんと表示されているところ）のプリンタ番号を選択します(⑦)。

NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙﾕｰﾃｨﾘﾃｨ　J-V1.41　　　　(火)　2000 - 11 - 31　19:01
ﾕｰｻﾞ: SUPERVISOR ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ: DELLGXM5133 接続先 1



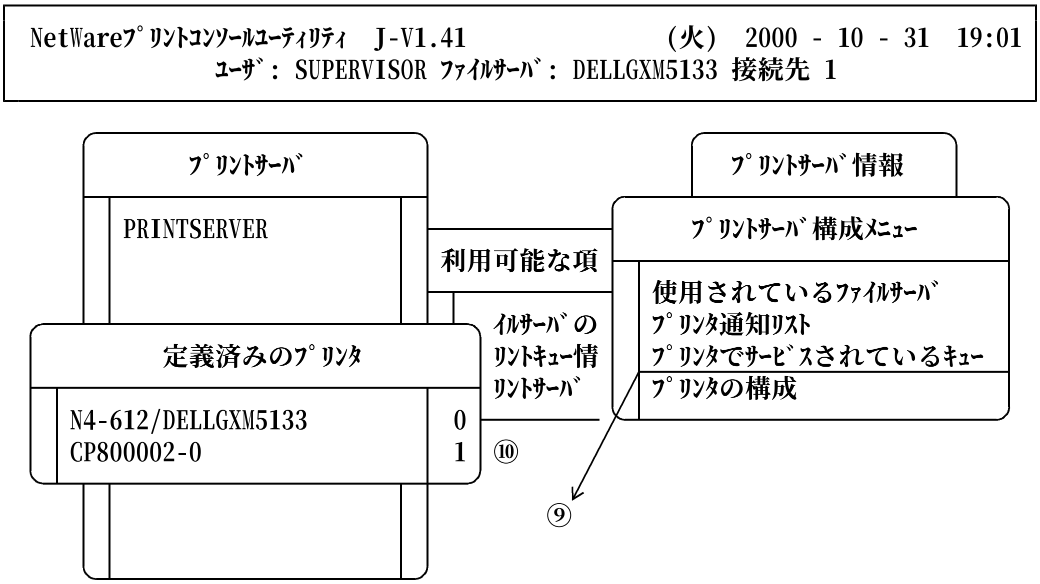
プリンタ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加したものを入力してください。ＬＡＮボードのマシン名は工場出荷時の状態ではEthernetｱﾄﾞﾚｽの下6桁に「CP」を付加したものとなっています。
また、プリンタのタイプはﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ, LPTn としてください。(⑧)

NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙﾕｰﾃｨﾘﾃｨ　J-V1.41　　　　(火)　2000 - 10 - 31　19:01
ﾕｰｻﾞ: SUPERVISOR ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ: DELLGXM5133 接続先 1

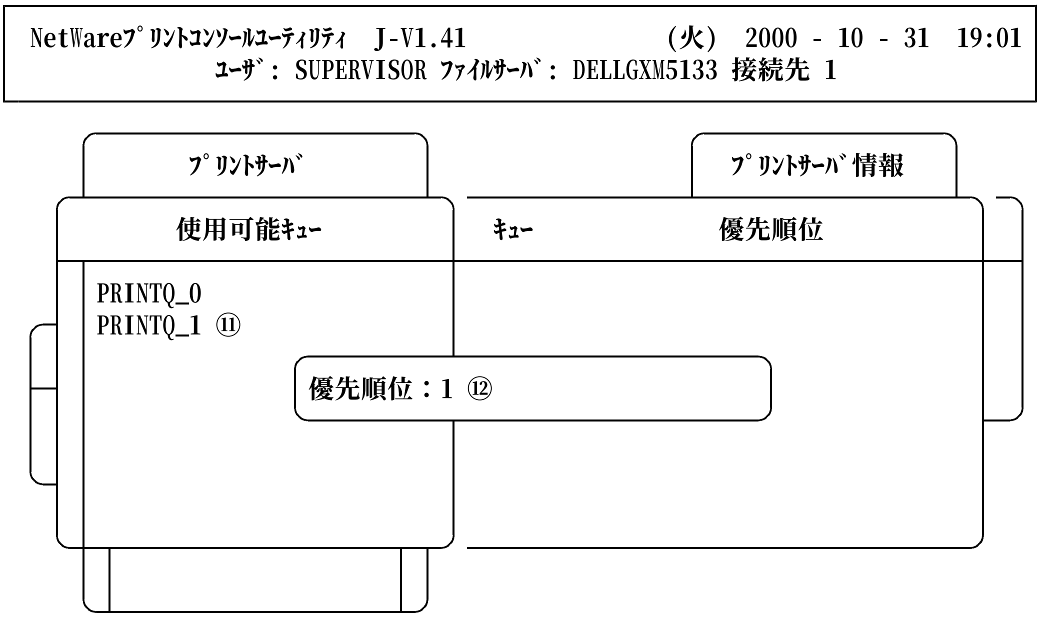


【NetWare 3.xJのリモートプリンタモードの設定】

再び「プリントサーバ構成メニュー」に戻り、ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ を選択します(⑨)。続いて「定義済みのﾌﾟﾘﾝﾀ」メニュー から⑦～⑧で追加したプリンタを選択します(⑩)。



②で設定したプリントキューを選択し(⑪)、その優先順位を決定します(⑫)。優先順位をつけるからには、複数のキューを設定することもできます。また、同一のキューを複数のプリンタに割り当てることもできますが、詳しくはＮｅｔＷａｒｅのマニュアル等をご参照ください。



［１０］ＰＳＥＲＶＥＲのＲＥＬＯＡＤ

《注意》　このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合に於いてのみ必要となるものです。
またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現に運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペレーション実施の際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

ファイルサーバのコンソール画面で、ＰＳＥＲＶＥＲをリロード(RELOAD)します。
リロードというのは、既にＰＳＥＲＶＥＲが実行されている場合には、一旦アンロード(UNLOAD)してから再度 ロード(LOAD)するという内容を含みます。

```
Novell NetWare v3.2J (40 user)  10/31/97
(C) Copyright 1983-1997 Novell Inc.
All Rights Reserved.

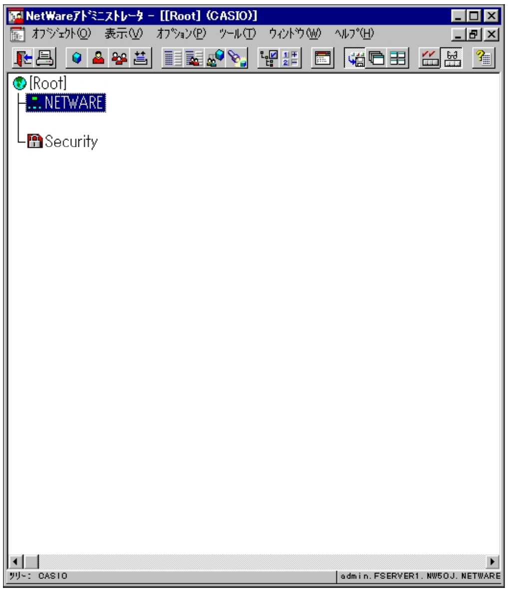
Tuesday  October  31, 2000  6:58:31 pm
10/30/00 8:11pm: 0.0.0 Remote Console Connection Granted for 00968:0 ～
FSERVER:UNLOAD PSERVER
Module PSERVER.NLM unloaded
FSERVER:LOAD PSERVER PRINTSERVER
```

ＰＲＩＮＴＤＥＦ、ＰＲＩＮＴＣＯＮ、ＣＡＰＴＵＲＥ等の内容については、ＮｅｔＷａｒｅのマニュアルをご参考ください。

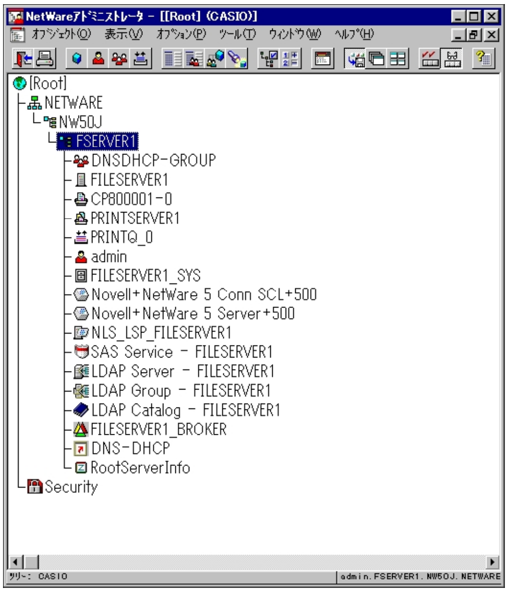
【3】ＮｅｔＷａｒｅ ５．×Ｊのリモートプリンタモードの設定。

［１１］ＮｅｔＷａｒｅアドミニストレータを実行します。

1)「SYS:\PUBLIC\WIN32\NWADMN32.EXE」を実行します。

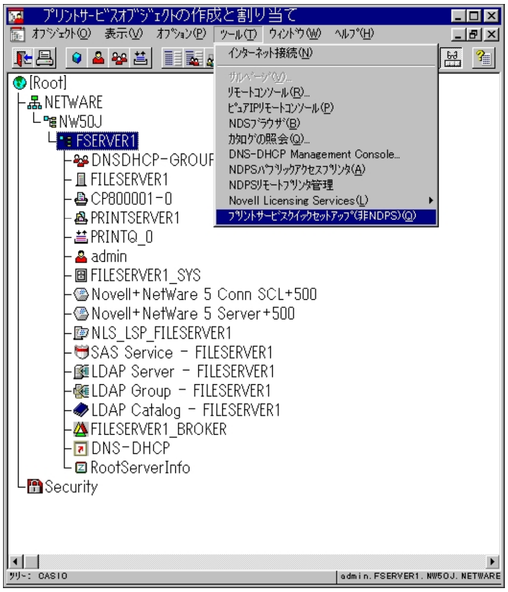


2)コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバ／プリントサーバのコンテキストを表示させます。

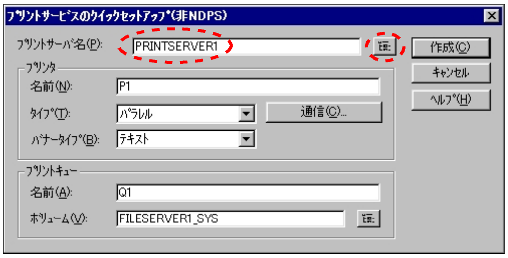


［１２］クイックセットアップによる設定。

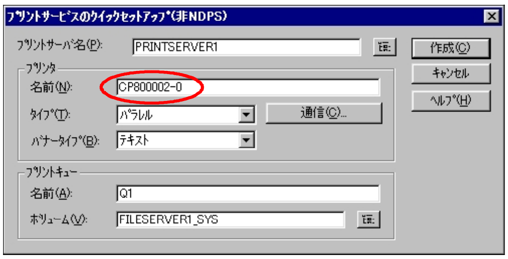
①プリントキューを作成するコンテナオブジェクトを選択(シングルクリック)し、「ツール」メニューから「プリントサービスクィックセットアップ(非NDPS)」を選択してクィックセットアップを起動します。



②プリントキューを作成する「プリントサーバ名」を確認します。異なる場合は【ブラウズ】ボタンをクリックして、正しいプリントサーバを選択します。



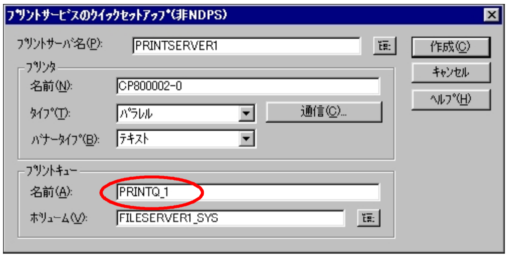
③「プリンタ」の「名前」を入力します。



※プリンタ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した文字列を入力してください。
ＬＡＮボードのマシン名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初期化時の状態)ではEthernetｱﾄﾞﾚｽの下6桁に「CP」を付加した文字列となっています。
(例)ＬＡＮボードのEthernetｱﾄﾞﾚｽが「080074800002」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっていますので、新しいプリンタ名には図のように「CP800002-0」と入力してください。

【NetWare 5.xJのリモートプリンタモードの設定】

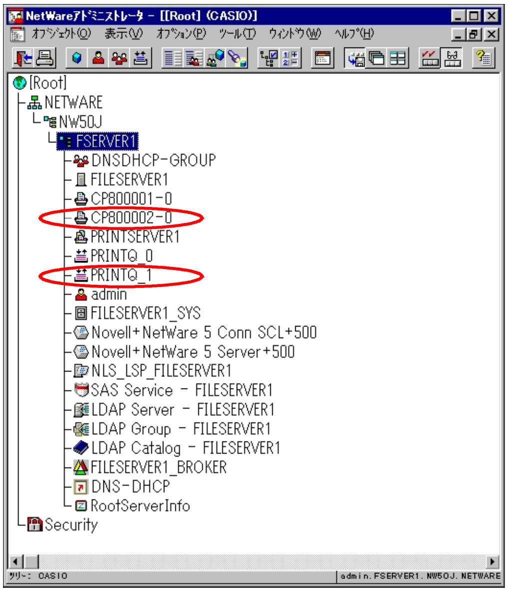
④「プリントキュー」の「名前」を入力します。
※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリンタキュー名を作成します。



⑤必要に応じて「プリントキュー」の「ボリューム」の設定を変更します。
その他の設定は、変更しないでください。
各設定内容を確認後【作成】をクリックして設定を保存することにより、クイックセットアップを終了します。

⑥「NetWareアドミニストレータ」画面へ戻ります。
作成したプリンタオブジェクト、プリントキューオブジェクトが、ツリー上の正しい位置に表示されていることを確認してください。

以上で、クイックセットアップによるプリンタの設定は終了です。
※リモートプリンタモードで運用を行うネットワークプリンタ（ＬＡＮボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順①～⑥を繰り返しておこなってください。



⑦ＰＳＥＲＶＥＲのＲＥＬＯＡＤ

《注意》このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペレーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

前述「［４］ＰＳＥＲＶＥＲのＲＥＬＯＡＤ」の手順に従い、ファイルサーバのコンソール画面で、ＰＳＥＲＶＥＲをリロード(RELOAD)します。
リロード後、追加を行ったプリンタが「プリンタリスト」に追加表示されていることで、プリンタの追加が正しくおこなえたことを確認します。

ＰＲＩＮＴＳＥＲＶＥＲ　ＭＯＤＥ

プリントサーバモード

ＬＡＮボードの諸設定は、ＮｅｔＷａｒｅ環境で使用するものとしては基本的にリモートプリンタモードをデフォルトとしてあります。
ログインスロットを余分に消費しない点、未暗号化パスワードの使用許可設定を行う点、バインダリエミュレーションモードでのサポート(NetWare 4.1J 以降)、などの諸点を考慮すると、弊社としてはリモートプリンタモードを推奨します。
（注）NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。

［１］ファイルサーバのコンソール画面で、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。
（ファイルサーバを次回起動時にも設定する必要がありますので、autoexec.ncf ファイルにも設定してください。）

（１）動作中のファイルサーバに、未暗号化パスワード使用許可の設定を行います。

ファイルサーバの「SYSTEMｺﾝｿｰﾙ」にて、「set allow unencrypted passwords = ON」とコマンド入力します。

ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ SYSTEMｺﾝｿｰﾙ

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   12:50:23 JST

OEM 識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ:
ｼﾘｱﾙ番号      接続数       ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ      ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ   有効期限
12345678      100          WEB/CONN       4.11      NONE

FILESERVER1:set allow unencrypted passwords = ON
```

↓ コマンド入力後Enterｷｰ押下。

「Allow Unencrypted Passwords をONに設定しました」と表示され、setコマンドは正常に実行されました。

ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ SYSTEMｺﾝｿｰﾙ

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   12:50:23 JST

OEM 識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ:
ｼﾘｱﾙ番号      接続数       ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ      ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ   有効期限
12345678      100          WEB/CONN       4.11      NONE

FILESERVER1:set allow unencrypted passwords = ON
Allow Unencrypted Passwords を ON に設定しました
FILESERVER1:
```

（２）autoexec.ncfファイルへ「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

1)ファイルサーバの「SYSTEMｺﾝｿｰﾙ」にて、「INSTALL」ﾕｰﾃｨﾘﾃｨを起動します。
NetWare 5.0J 以降では「NWCONFIG」ﾕｰﾃｨﾘﾃｨを起動します。

ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ SYSTEMｺﾝｿｰﾙ

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   12:50:23 JST

OEM 識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ:
ｼﾘｱﾙ番号      接続数       ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ      ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ   有効期限
12345678      100          WEB/CONN       4.11      NONE

FILESERVER1:load install
```

↓ 「load install」入力後、Enterｷｰ押下。

2)「ｲﾝｽﾄｰﾙｵﾌﾟｼｮﾝ」メニューから、「NCFﾌｧｲﾙｵﾌﾟｼｮﾝ」を選択します。



↓「NCFﾌｧｲﾙｵﾌﾟｼｮﾝ」を選択し、Enterｷｰ押下。

3)「利用可能なNCFﾌｧｲﾙｵﾌﾟｼｮﾝ」メニューから「AUTOEXEC.NCFﾌｧｲﾙの編集」を選択します。



↓「AUTOEXEC.NCFﾌｧｲﾙの編集」を選択し、Enterｷｰ押下。

4)未暗号化パスワード使用許可設定のためのコマンドを追加します。

※AUTOEXEC.NCFの適切な位置に「set allow unencrypted passwords = ON」と１行追加します。



↓「set allow unencrypted passwords = ON」行を追加後、「F10」ｷｰを押下しAUTOEXEC.NCFファイルを保存します。保存終了後、Escapeｷｰを２回押下します。

5)「ｲﾝｽﾄｰﾙ」ユーティリティを終了します。



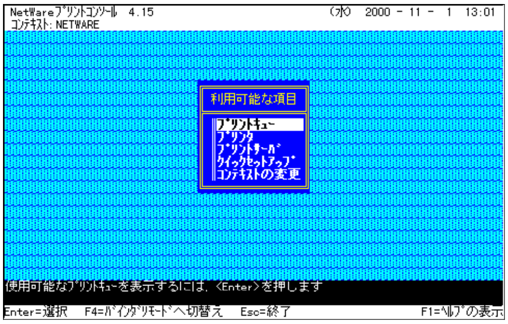
↓「Yes」を選択後Enterｷｰを押下し、「ｲﾝｽﾄｰﾙ」を終了します。

【1】NetWare 4.×Jのプリントサーバモードの設定。

［2］PCONSOLEを実行します。

1)PCONSOLEを起動後、【F4】キーを押下して「ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾓｰﾄﾞへ切替え」を行います。

※NetWare 4.x では、プリントサーバモードはバインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。



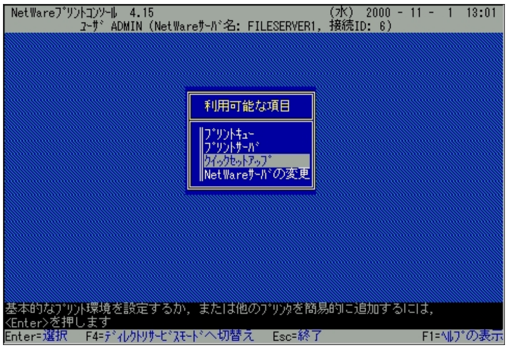
【F4】ｷｰを押下し「ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾓｰﾄﾞへ切替え」を行います。



【NetWare 4.xJのプリントサーバモードの設定】

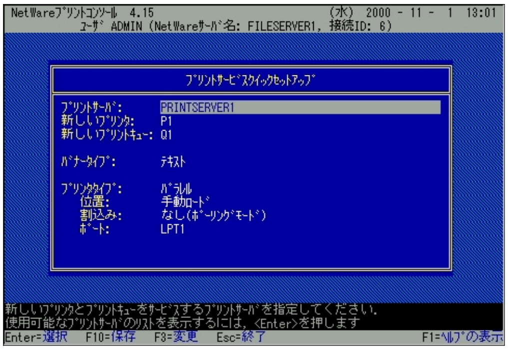
［3］クイックセットアップによる設定。

①「利用可能な項目」メニューから「クックセットアップ」を選択します。



Enterｷｰ押下

②「プリントサーバ」欄へカーソルを移動します。

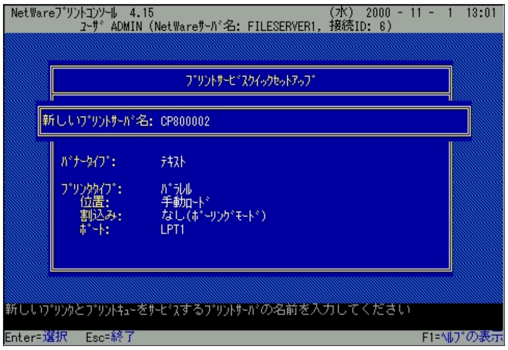


プリントサーバ名の入力開始

③「新しいプリントサーバ名」の入力を開始します。　入力ボックスはプリントサーバ名の入力を開始すると自動的に表示されます。
入力終了後、Enterｷｰを押下して確定します。

※プリントサーバ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)を入力してください。
ＬＡＮボードのマシン名は工場出荷時の状態ではEthernetｱﾄﾞﾚｽの下6桁に｢CP｣を付加した文字列となっています。

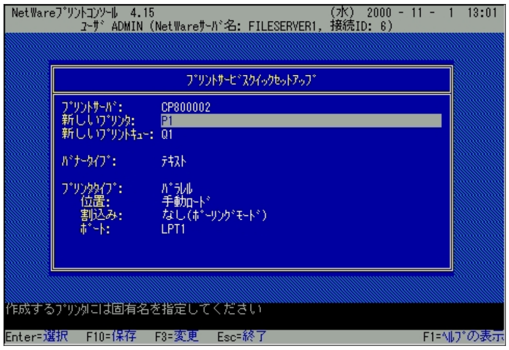
(例)ＬＡＮボードのEthernetｱﾄﾞﾚｽが｢080074800002｣の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は｢CP800002｣となっていますので、新しいﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名には図のように｢CP800002｣と入力してください。



プリントサーバ名入力後、Enterｷｰ押下

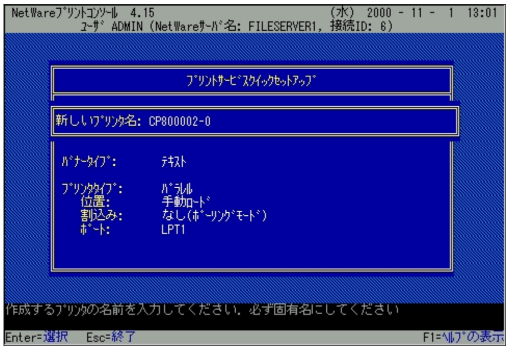
【NetWare 4.xJのプリントサーバモードの設定】

④「新しいプリンタ」欄へカーソルを移動します。



プリンタ名の入力開始

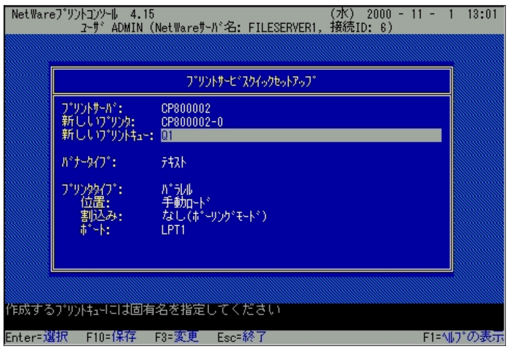
⑤「新しいプリンタ名」の入力を開始します。入力ボックスはプリンタ名の入力を開始すると自動的に表示されます。
入力終了後、Enterｷｰを押下して確定します。



※プリンタ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した文字列を入力してください。
ＬＡＮボードのマシン名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初期化時の状態)ではEthernetｱﾄﾞﾚｽの下6桁に「CP」を付加した文字列となっています。
(例)ＬＡＮボードのEthernetｱﾄﾞﾚｽが「080074800002」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっていますので、新しいプリンタ名には図のように「CP800002-0」と入力してください。

プリンタ名入力後、Enterｷｰ押下

⑥「新しいプリントキュー」欄へカーソルを移動します。

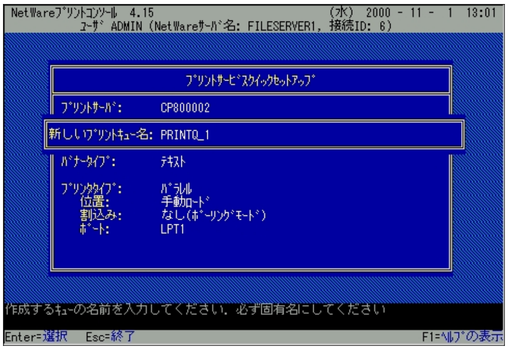


【NetWare 4.xJのプリントサーバモードの設定】

プリントキュー名の入力開始

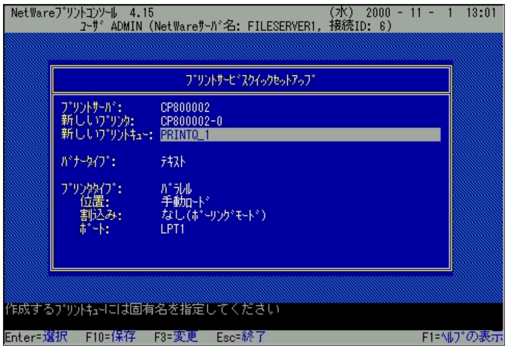
⑦続けて「新しいプリントキュー」名を入力します。入力ボックスはプリントキュー名の入力を開始すると自動的に表示されます。

※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作成します。



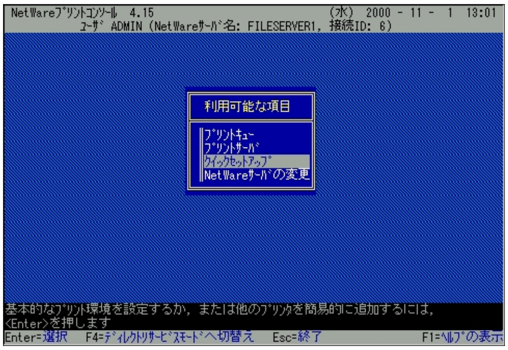
プリントキュー名入力後、Enterｷｰ押下

⑧各設定内容を確認後、【F10】キーを押下して設定を保存することにより、クイックセットアップを終了します。



F10ｷｰ押下

⑨以上で、クィックセットアップによるプリンタの設定は終了です。



※プリントサーバ（プリントサーバモードで運用を行うＬＡＮボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順①～⑧を繰り返して行ってください。

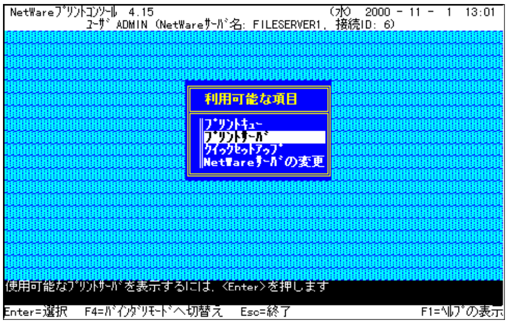
※複数のファイルサーバで１台のプリントサーバ（プリントサーバモードで運用を行うＬＡＮボード）を使用する場合、「利用可能な項目」メニューにて「NetWareサーバの変更」を選択し、「カレントサーバ」メニューから該当のNetWareｻｰﾊﾞを選択した後、これまでの手順①～⑨を行ってください。

（注）以上の手順ですべての設定が終了し、しばらく待ちますと、ＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。
ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「NLIST USER /A /B」「NLIST USER={ＬＡＮボードマシン名} /A /B」コマンド等を実行すると、ＬＡＮボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログインしていることを確認できます。

［４］クイックセットアップを使用しない場合の設定方法。

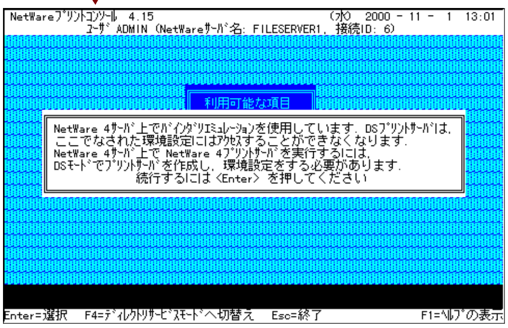
（１）プリントサーバ情報を設定します。

①「利用可能な項目」メニューから
「プリントサーバ」を選択します。



「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ」を選択しEnterｷｰ押下。

※ＮｅｔＷａｒｅ ４ サーバ上でバインダリエミュレーションを使用する際の注意メッセージが表示されますが、Enterｷｰを押下してプリントサーバ情報の設定を続行します。



Enterｷｰ押下。

【NetWare 4.xJのプリントサーバモードの設定】

②ここでのプリントサーバはこれからインストールを行うＬＡＮボードそのものを意味しますので、新規に作成を行います。

※Insertｷｰを押下し｢挿入｣を行います。



Insertｷｰ押下。

③「新しいプリントサーバ名｣の入力を行います。
プリントサーバ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)を入力してください。
ＬＡＮボードのマシン名は工場出荷時の状態ではEthernetｱﾄﾞﾚｽの下6桁に｢CP｣を付加した文字列となっています。

(例)ＬＡＮボードのEthernetｱﾄﾞﾚｽが｢080074800002｣の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は｢CP800002｣となっていますので、新しいﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名には図のように｢CP800002｣と入力してください。



｢新しいﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名｣入力後Enterｷｰ押下。

④「プリントサーバ」メニューから③で作成したプリントサーバを選択してEnterキーを押下します。



｢ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ｣を選択しEnterｷｰ押下

⑤「プリントサーバ情報」メニューから「プリンタ」を選択します。

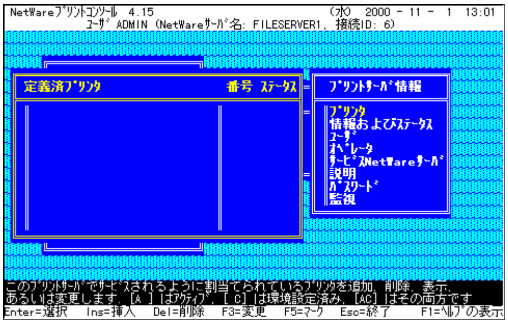


｢ﾌﾟﾘﾝﾀ｣を選択しEnterｷｰ押下

【NetWare 4.xJのプリントサーバモードの設定】

プリントサーバモード

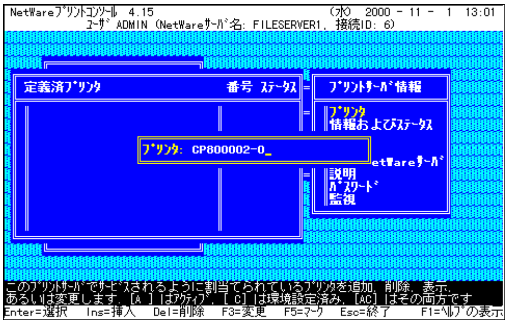
⑥「定義済プリンタ」へプリンタの追加を行います。
Insertｷｰを押下して、挿入を選択します。



Insertｷｰ押下。

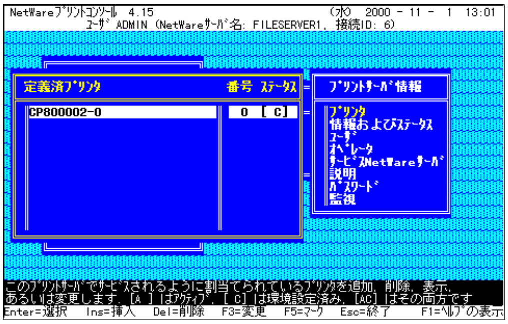
⑦「プリンタ」名の入力を行います。
プリンタ名には図のように、ＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加したものを入力してください。

(例)ＬＡＮボードのEthernetｱﾄﾞﾚｽが「080074800002」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっていますので、プリンタ名には図のように「CP800002-0」と入力してください。



Enterｷｰ押下にて入力確定。

⑧「定義済プリンタ」メニューから追加したプリンタを選択し、プリンタの環境設定をおこないます。



追加したプリンタを選択、Enterｷｰ押下

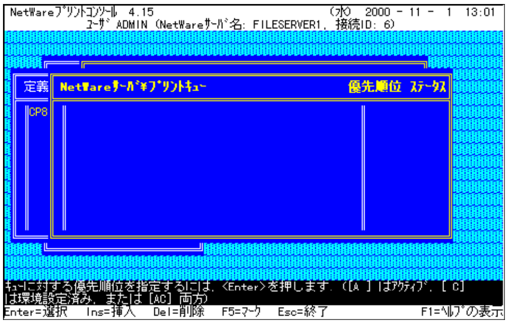
⑨ここではプリントキュー割り当てのみ行います。
・「プリントキュー割り当て」を選択します。
※「プリンタタイプ」は「パラレル」に設定してください。「環境設定」を選択して設定する「パラレルプリンタ指定」は「ポート」を「LPT1」に、「位置」を「手動ロード」に、それぞれ設定してください。その他は必要に応じて設定してください。



「プリントキュー割り当て」を選択、Enterｷｰ押下

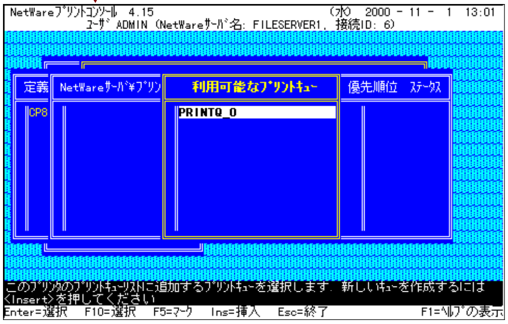
【NetWare 4.xJのプリントサーバモードの設定】

⑩割り当てるプリントキューの追加を行います。
Insertｷｰを押下して、挿入を選択します。



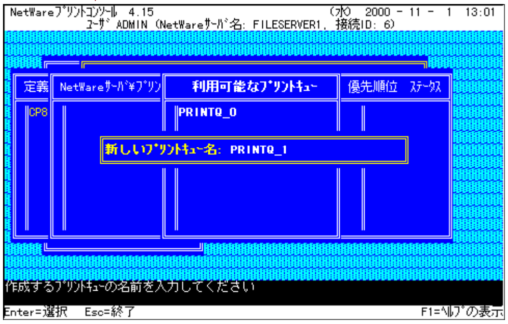
Insertｷｰ押下。

⑪プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します。
・「利用可能なプリントキュー」メニューからInsertｷｰを押下し、プリントキューの追加を選択します。



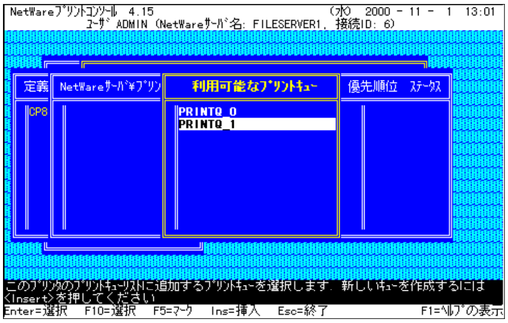
Insertｷｰ押下。

⑫「新しいプリントキュー名」を入力します。



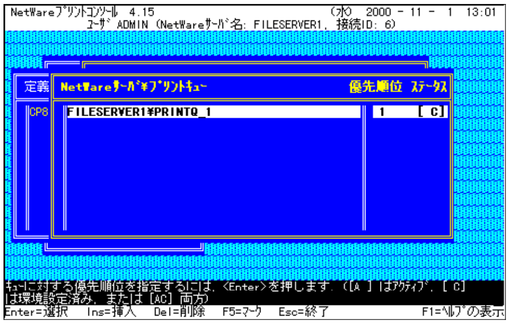
Enterｷｰ押下にて入力確定

⑬追加したプリントキューを選択してEnterキーを押下します。
※プリントキューを複数割り当てることもできます。



プリントキュー選択後、Enterキー押下

⑭必要に応じてプリントキューの優先順位を変更します。
Escapeキーを複数回押下します。



Escapeｷｰを複数回押下

⑮プリントサーバ情報の設定は終了しました。
Escapeキーを複数回押下して
ＰＣＯＮＳＯＬＥを終了します。



Escapeｷｰを複数回押下し、
PCONSOLE.EXEを終了

※プリントサーバ（プリントサーバモードで運用を行うＬＡＮボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順②～⑭を繰り返して行ってください。
※複数のファイルサーバで１台のプリントサーバ（プリントサーバモードで運用を行うＬＡＮボード）を使用する場合、「利用可能な項目」メニューにて「NetWareサーバの変更」を選択し、「カレント」メニューから該当のNetWareｻｰﾊﾞを選択した後、これまでの手順①～⑭を行ってください。

【NetWare 4.xJのプリントサーバモードの設定】

（注）以上の手順ですべての設定が終了し、しばらく待ちますと、ＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。
ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「NLIST USER /A /B」「NLIST USER={ＬＡＮボードマシン名} /A /B」コマンド等を実行すると、ＬＡＮボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログインしていることを確認できます。

［５］注意事項。

（１）プリンタの印刷動作をより詳細に設定するために、ＮｅｔＷａｒｅには
ＰＲＩＮＴＤＥＦ、ＰＲＩＮＴＣＯＮ、ＣＡＰＴＵＲＥ等のコマンドが用意されています。内容については、ＮｅｔＷａｒｅのマニュアルをご参考ください。

（２）これまでの操作例は「NetWare 4.11J」の画面表示を元に説明しています。
「NetWare 4.xJ」は、ほとんど同じ操作でお使いいただけます。「NetWare 3.2J」以前のバージョンでは、ＰＣＯＮＳＯＬＥ、プリントサーバコンソール等の画面表示が変更されていますが、設定の手順は概ね同様です。
また、「NetWare 5.xJ」では使用するNetWareユーティリティが異なり、設定の手順も変更になっていますが、基本的な考え方は概ね同様です。
「NetWare 3.xJ」「NetWare 5.xJ」のバージョンについては次ページ以降を参照してください。

（３）くわしくはシステム管理者にお尋ねください。

【2】ＮｅｔＷａｒｅ ３．×Ｊのプリントサーバモードの設定。

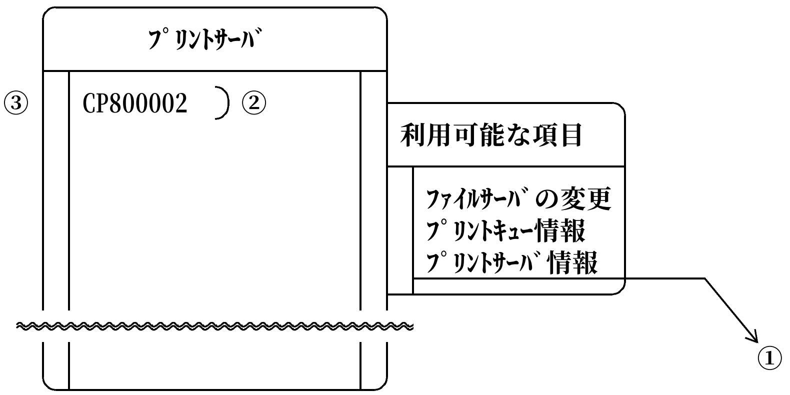
［6］ファイルサーバのコンソール画面で、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。
（ファイルサーバを次回起動時にも設定する必要がありますので、autoexec.ncf ファイルにも設定してください。）
設定方法は、「第１章 ３－２．プリントサーバモードの設定」の［１］を参照してください。

［7］ＰＣＯＮＳＯＬＥを実行します。

［8］プリントサーバ情報を設定します。

まず「利用可能な項目」メニューからﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報 を選択します(①)。プリントサーバはこれからインストールを行うＬＡＮボードそのものを意味しますので、新規に作成を行います(②)。
「新しいﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」の入力を行います。プリントサーバ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)を入力してください。
ＬＡＮボードのマシン名は工場出荷時の状態ではEthernetｱﾄﾞﾚｽの下6桁に「CP」を付加したものとなっています(③)。

NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙﾕｰﾃｨﾘﾃｨ J-V1.41 (火) 2000 - 10 - 31 20:01
ﾕｰｻﾞ: SUPERVISOR ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ: DELLGXM5133 接続先 1



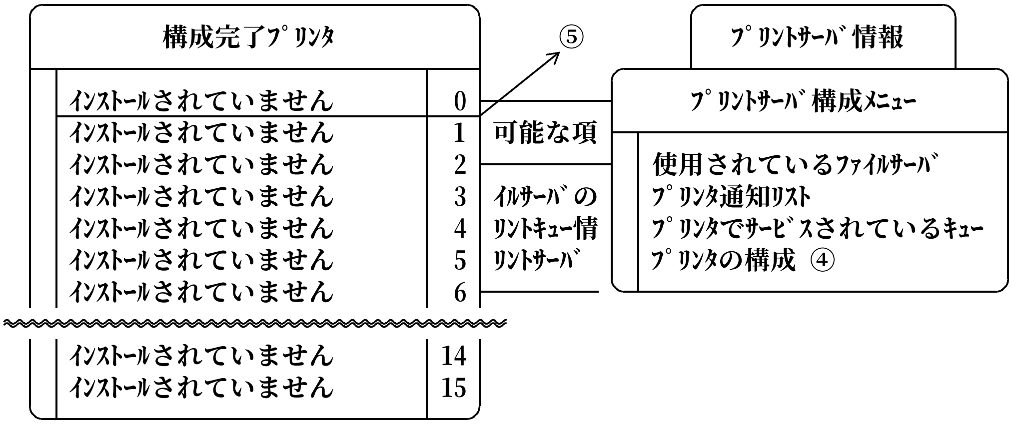
新規に作成したプリントサーバに対してプリントサーバ情報の設定を行います。
「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ」メニューから新規に作成したプリントサーバを選択してEnterｷｰを押下します。

【NetWare 3.xJのプリントサーバモードの設定】

「プリントサーバ構成メニュー」から、ﾌﾟﾘﾝﾀ構成 を選択します(④)。

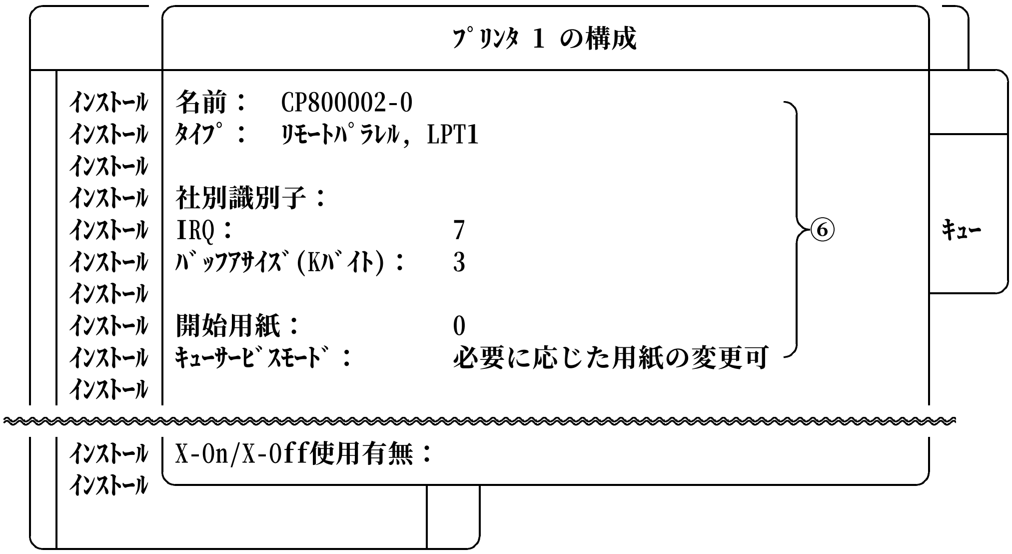
「構成完了プリンタ」メニューから、未インストール（ｲﾝｽﾄｰﾙされていませんと表示されているところ）のプリンタ番号を選択します(⑤)。

```
NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙﾕｰﾃｨﾘﾃｨ  J-V1.41              (火)  2000 - 10 - 31  20:01
              ﾕｰｻﾞ: SUPERVISOR ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ: DELLGXM5133 接続先 1
```



プリンタ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加したものを入力してください。ＬＡＮボードのマシン名は工場出荷時の状態ではEthernetｱﾄﾞﾚｽの下6桁に「CP」を付加したものとなっています。
また、プリンタのタイプはﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ, LPTn としてください。(⑥)

```
NetWareﾌﾟﾘﾝﾄｺﾝｿｰﾙﾕｰﾃｨﾘﾃｨ  J-V1.41              (火)  2000 - 10 - 31  20:01
              ﾕｰｻﾞ: SUPERVISOR ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ: DELLGXM5133 接続先 1
```



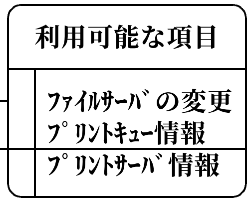
【NetWare 3.xJのプリントサーバモードの設定】

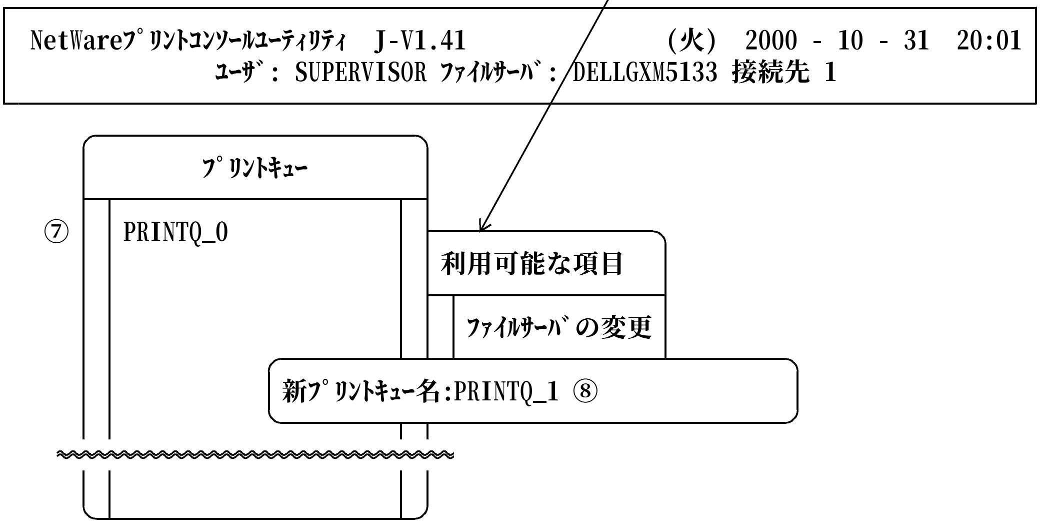
［9］プリントキュー情報を設定します。

「利用可能な項目」メニューに戻り、

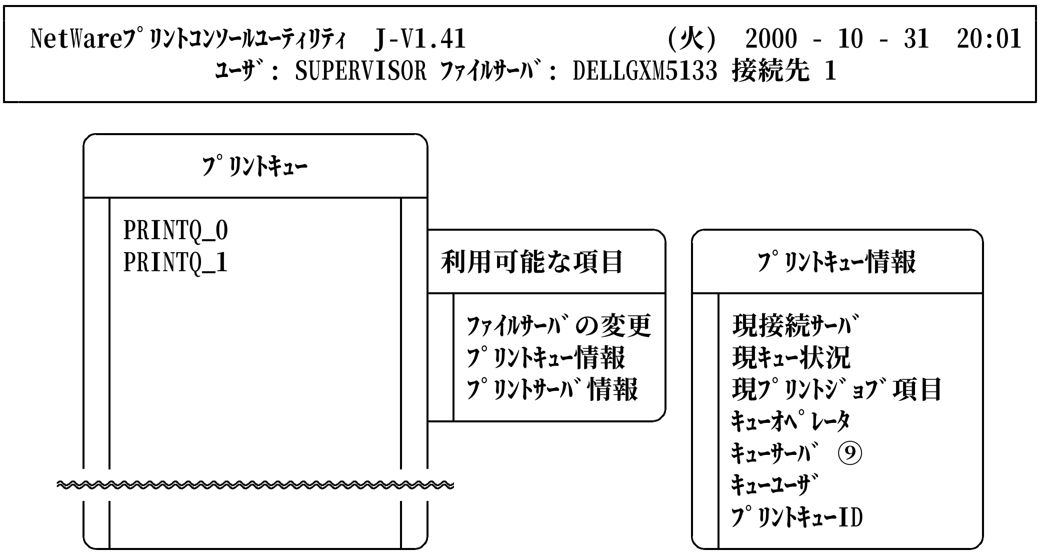
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報を選択してください(⑦)。

プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します(⑧)。



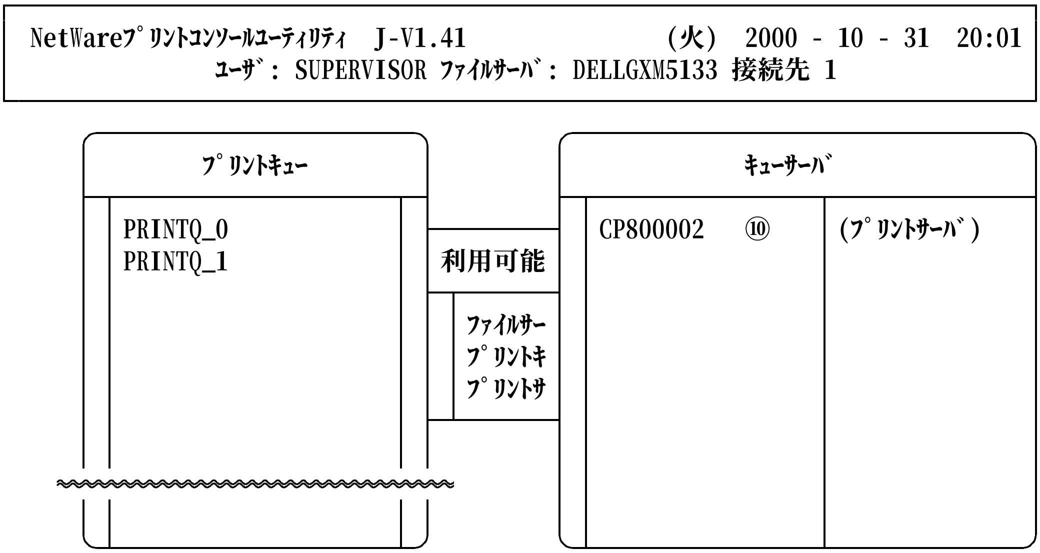


新規に作成されたプリントキューに対してキューサーバを設定すべく、「プリントキュー情報」メニューから ｷｭｰｻｰﾊﾞ を選択します(⑨)。



【NetWare 3.xJのプリントサーバモードの設定】

キューサーバとして、③で追加したプリンタサーバを設定してください。(⑩)

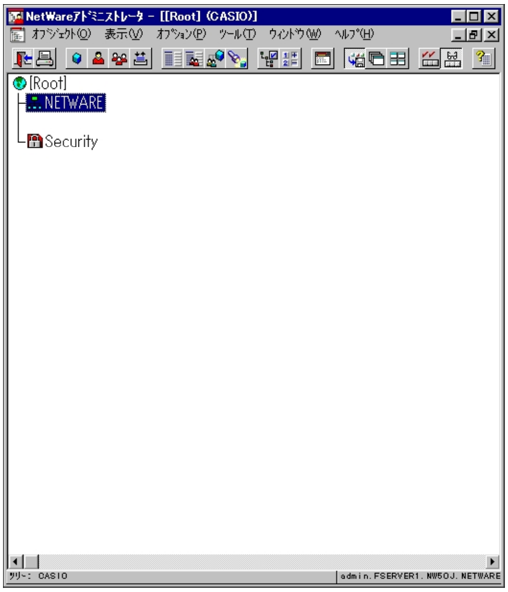


（注）以上の手順ですべての設定が終了し、しばらく待ちますと、ＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。
ファイルサーバの「SYSTEMｺﾝｿｰﾙ」の「コネクション情報」、またはクライアントパソコンから「USERLIST」コマンド等を実行すると、ＬＡＮボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログインしていることを確認できます。

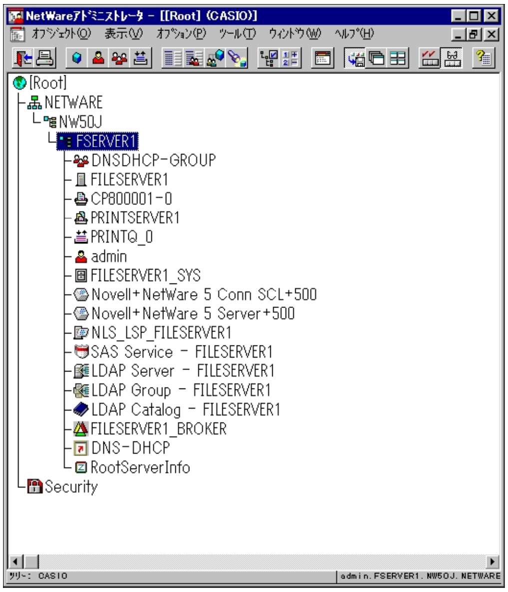
【3】NetWare 5.×Jのプリントサーバモードの設定。

［10］NetWareアドミニストレータを実行します。

1)「SYS:\PUBLIC\WIN32\NWADMN32.EXE」を実行します。



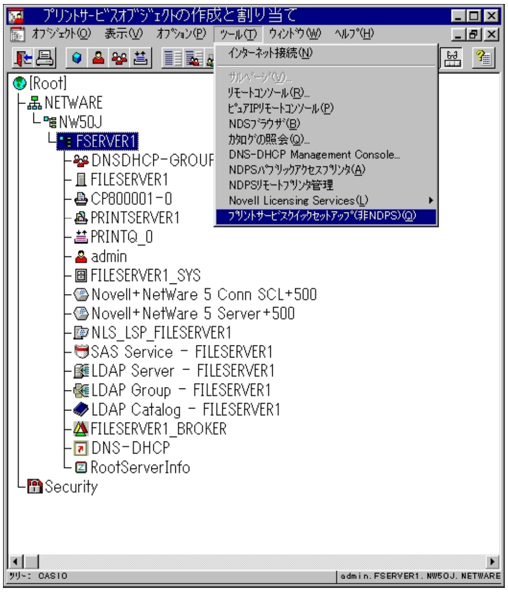
2)コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバのコンテキストを表示させます。



【NetWare 5.xJのプリントサーバモードの設定】

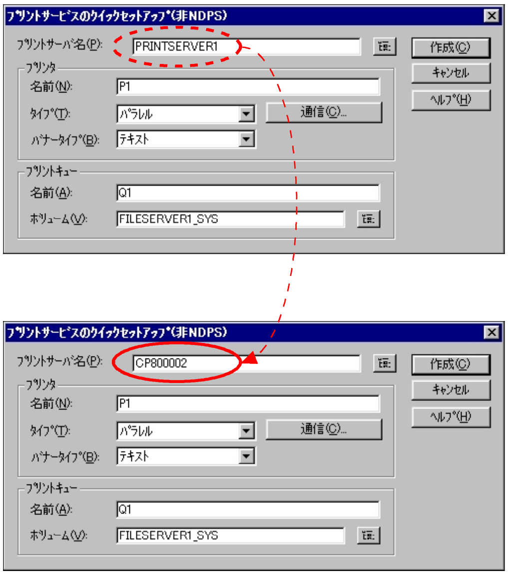
［１１］クイックセットアップによる設定。

①プリントサーバを作成するコンテナオブジェクトを選択(シングルクリック)し、「ツール」メニューから「プリントサービスクィックセットアップ(非NDPS)」を選択してクィックセットアップを起動します。



②「プリントサーバ名」を入力します。

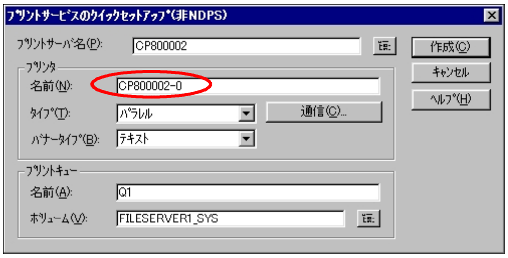
※プリントサーバ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)を入力してください。
ＬＡＮボードのマシン名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初期化時の状態)ではEthernetｱﾄﾞﾚｽの下6桁に「CP」を付加した文字列となっています。
(例)ＬＡＮボードのEthernetｱﾄﾞﾚｽが「080074800002」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっていますので、プリントサーバ名には図のように「CP800002」と入力してください。



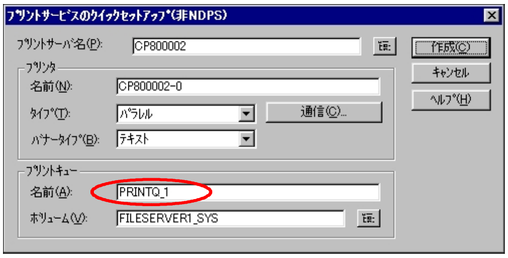
【NetWare 5.xJのプリントサーバモードの設定】

③「プリンタ」の「名前」を入力します。

※プリンタ名はＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した文字列を入力してください。
(例)ＬＡＮボードのEthernetｱﾄﾞﾚｽが「080074800002」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「CP800002」となっていますので、新しいプリンタ名には図のように「CP800002-0」と入力してください。



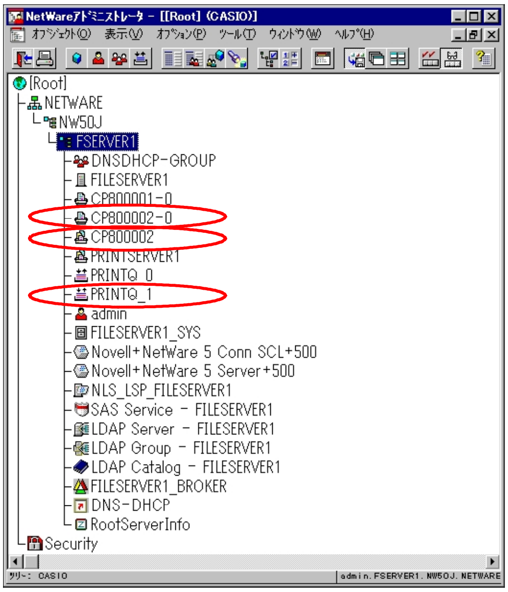
④「プリントキュー」の「名前」を入力します。
※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリンタキュー名を作成します。



⑤必要に応じて「プリントキュー」の「ボリューム」の設定を変更します。
その他の設定は、変更しないでください。
各設定内容を確認後【作成】をクリックして設定を保存することにより、クイックセットアップを終了します。

⑥「NetWareアドミニストレータ」画面へ戻ります。
作成したプリントサーバオブジェクト、プリンタオブジェクト、プリントキューオブジェクトが、ツリー上の正しい位置に表示されていることを確認してください。

以上で、クイックセットアップによるプリンタの設定は終了です。
※プリントサーバモードで運用を行うネットワークプリンタ（ＬＡＮボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順①～⑤を繰り返しておこなってください。



（注）以上の手順ですべての設定が終了し、しばらく待ちますと、ＬＡＮボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。
ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「NLIST USER /A /B」「NLIST USER={ＬＡＮボードマシン名} /A /B」コマンド等を実行すると、ＬＡＮボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログインしていることを確認できます。

ＣＰ１ＣＯＮＦは、ＮｅｔＷａｒｅ環境における環境変数設定ユーティリティですが、設定可能項目としてはＮｅｔＷａｒｅ環境に限定されているわけではありません。ＴＣＰ／ＩＰ環境に於ける環境変数に関しても、ＣＰ１ＣＯＮＦのコマンドを用いて設定することが可能です。

ＣＰ１ＣＯＮＦコマンドの詳細については、「第２章　２．ＭＳ－ＤＯＳ用ユーティリティ」を参照してください。

また、設定可能項目については、「第２章　６．設定可能変数一覧表」も参照してください。

変数グループ／項目	設定内容または推奨値等	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
admin_passwd	ＬＡＮボード設定管理者用パスワード	未設定
ｎｅｔｗｏｒｋ		
ip_address	ＩＰアドレス設定値（ip_decisionがnormalの時に有効）	0.0.0.0
ip_decision	ＩＰアドレス決定方法 normal,dsw,bootp,dhcp,rarpを選択※2	normal
netmask	サブネットマスク	0.0.0.0
gateway	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
ftp_passwd	passwordを要求するftpdの場合に設定	off
tcp_keep_alive	TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔。（０～７９秒）	30
print_reset	プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の設定※3 （enable:使用する/disable:使用しない）	disable
machine_name	マシン名：デフォルト値の流用を推奨	CPxxxxxx
comment	コメント	未設定
nw_mode	pserver modeでは、[pserver] rprinter modeでは、[rprinter]	rprinter
ｎｗ＿ｐａｒａｍ		
nw_packet	IEEE802.3,IEEE802.2,EHTERNETⅡ,AUTOのどれかを選択※1	auto
nw_spx_abort	ＳＰＸ監視停止タイムアウト時間。（３０～３００秒）	30
nw_spx_listen	ＳＰＸ監視検査タイムアウト時間。（１～１８０秒）	6
nw_spx_verify	ＳＰＸ確認待機タイムアウト時間。（１～１５秒）	3
pserver	rprinter modeでは、必ずプリントサーバ名を入力	未設定
timeout	タイムアウト時間。（１～２５５秒）	10
fserver1	pserver mode では、ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞは最大4台まで設定が可能です。（fserver1～fserver4 のうち必ず1つ以上にﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ名を入力してください）。なお、同じファイルサーバ名を入力しないでください。	未設定
fserver2		未設定
fserver3		未設定
fserver4		未設定
polltime	ポーリング時間。（１～２５５秒）	15
nw_passwd	ＮｅｔＷａｒｅ用パスワード	未設定
nw_ncp_timeout	ＮＣＰタイムアウト監視時間。（１～２５５秒）	3
nw_ncp_retry	ＮＣＰパケット再送信回数。（１～２５５回）	20
ＳＮＭＰ		
snmp_mode	SNMPの動作モードを設定します。	enable
snmp_name	コミュニティ名を設定します。	public
snmp_host	Trapパケットを送信するホストのIPアドレスを設定します	0.0.0.0

次ページへ

※1) それぞれの値はieee802_3,ieee802_2,ethernet_ii,autoと入力してください。

※2) 外部設定ＤＳＷ５の１（ＩＰアドレス設定方法）の設定が優先です。
「第１章　１－４．外部設定ＤＳＷの設定」を参照してください。

※3) 使用可能な環境に制限があります。詳しくは「第２章　６－１．設定可能変数の説明」を参照してください。

変数グループ／項目	設定内容または推奨値等	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
プリンタポート共通		
index	インデックス印字指定（enable:する/disable:しない）	disable
Ｔｈｒｏｕｇｈポート（presto0）		
banner0	ftp/lpr時のバナー印字の指定（on:する/off:しない）	off
bojstring0	ftp/lpr時、印字開始位置に出力される文字列	未設定
eojstring0	ftp/lpr時、印字終了位置に出力される文字列	未設定
ＳＪＩＳポート（presto1）		
printertype1	ESC/P選択の場合は[ESC/P] と書き換え	PR201
banner1	ftp/lpr時のバナー印字の指定（on:する/off:しない）	off
tabsize1	ftp/lpr時、ＴＡＢスペース変換（１～１３２）	8
bojstring1	ftp/lpr時、印字開始位置に出力される文字列	未設定
eojstring1	ftp/lpr時、印字終了位置に出力される文字列	未設定
ＥＵＣポート（presto2）		
printertype2	ESC/P選択の場合は[ESC/P] と書き換え	PR201
banner2	ftp/lpr時のバナー印字の指定（on:する/off:しない）	off
tabsize2	ftp/lpr時、ＴＡＢスペース変換（１～１３２）	8
bojstring2	ftp/lpr時、印字開始位置に出力される文字列	未設定
eojstring2	ftp/lpr時、印字終了位置に出力される文字列	未設定

空白ページ

第２章　ＬＡＮボード用コマンド解説

１．ＴＣＰ／ＩＰでの設定用コマンド
１－１．ＬＡＮボードへＩＰアドレスを仮設定するための
　　　　コマンド
１－２．ｔｅｌｎｅｔ

２．ＭＳ－ＤＯＳ用設定ユーティリティ
２－１．ＣＰ１ＣＯＮＦのインストール方法
２－２．ＣＰ１ＣＯＮＦユーティリティ説明

３．ＭＳ－Ｗｉｎｄｏｗｓ用設定ユーティリティ
３－１．動作環境について
３－２．インストールについて
３－３．起動方法
３－４．ＬＡＮボード設定ユーティリティ説明

４．ＷＷＷブラウザでの設定
４－１．動作環境について
４－２．設定について

５．ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ
５－１．動作環境について
５－２．インストールについて
５－３．起動方法
５－４．ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ
　　　　（ＦＴＰ版）説明
５－５．ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ
　　　　（ＦＴＰ版）のエラー表示説明
５－６．ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ
　　　　（ＩＰＸ版）説明
５－７．ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ
　　　　（ＩＰＸ版）のエラー表示説明
５－８．ＬＡＮボードバージョンアップの緊急処置

６．設定可能変数一覧
６－１．設定可能変数の説明

１．ＴＣＰ／ＩＰでの設定用コマンド

１－１．ＬＡＮボードへＩＰアドレスを仮設定するためのコマンド。

　お使いのコンピュータとＬＡＮボードを設置したプリンタが、同一サブネットワーク(ルータ等のネットワーク中継器器を経由しない範囲)に接続されている場合、コンピュータの「ＡＲＰ」コマンドおよび「ＰＩＮＧ」コマンドを使用してＩＰアドレスを仮設定することが可能です。
　ＤＨＣＰ／ＢＯＯＴＰ／ＲＡＲＰを使用してＬＡＮボードへＩＰアドレスを割り当てる場合や、ＬＡＮボードのＩＰアドレスをＬＡＮボードの環境変数へ設定する場合など、運用する上ではＩＰアドレス設定用ＤＳＷを使用する必要がない場合、以下の手順でＬＡＮボードへＩＰアドレスを仮設定した後、ｔｅｌｎｅｔやWWWブラウザにて環境変数の設定変更がおこなえます。

①ａｒｐ

コマンド	ａｒｐ　－ｓ　ＩＰアドレス　ＬＡＮボードのＥｔｈｅｒｎｅｔアドレス

《機能》　コンピュータへ指定したＩＰアドレスを送信先としたパケットの送信先Ethernetアドレス(MACアドレス)を指定した値で記憶させます。
ＬＡＮボードのEthernetアドレスの確認方法は「第１章　１－５．ETHERNETアドレスについて」参照。

《注意》　本コマンドは、パソコンやＵＮＩＸマシンにインストールされていることを前提としており、ＬＡＮボードの付属ユーティリティとして提供するものではありません。

画面表示

```
C:¥>arp -s 130.10.90.186 08-00-74-80-00-01

C:¥>
```

※正しく指定できた場合は応答メッセージは表示されませんので、以下のようにコマンド入力すると確認できます。

画面表示

```
C:¥>arp -a

Interface:  130.10.90.185
  Internet Address        Phycal Address          Type
  130.10.90.186           08-00-74-80-00-01       static

C:¥>
```

②ｐｉｎｇ

コマンド	ｐｉｎｇ　ＩＰアドレス

《機能》　指定したＩＰアドレスへICMP echo request (ping)パケットを送信します。
ＬＡＮボードは以下の条件の場合にICMP echo request (ping)パケットを受信すると、パケット内のＩＰヘッダに指定されたＩＰアドレスを自分のＩＰアドレスとして仮設定をおこない、ＩＰプロトコルの動作を開始します。

【ＬＡＮボードがＩＰアドレスの仮設定をおこなう条件】
1)ＩＰアドレス設定用ＤＳＷ(DSW1～DSW4)が、すべてOFF。
2)外部設定ＤＳＷ(DSW5)－１(IPｱﾄﾞﾚｽ設定方法)が、OFF。
3)設定変数ip_decision(IPｱﾄﾞﾚｽ決定方法)が、normal(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ)。
4)設定変数ip_address(IPｱﾄﾞﾚｽ)が、0.0.0.0。

《注意》　本コマンドは、パソコンやＵＮＩＸマシンにインストールされていることを前提としており、ＬＡＮボードの付属ユーティリティとして提供するものではありません。
ＬＡＮボードは指定されたＩＰアドレスを環境変数に記憶しません。続けてtelnetやWWWブラウザなどで環境変数の設定をおこなわずにＬＡＮボードのリセット操作やプリンタの電源再投入などをおこなうと、ＩＰアドレスは未設定状態になります。

画面表示

```
C:¥>ping  130.10.90.186

Pinging 130.10.90.186 with 32 bytes of data:

Reply from 130.10.90.186: bytes=32 time=1ms TTL=128
Reply from 130.10.90.186: bytes=32 time=1ms TTL=128
Reply from 130.10.90.186: bytes=32 time<10ms TTL=128
Reply from 130.10.90.186: bytes=32 time=1ms TTL=128

C:¥>
```

１－２．ｔｅｌｎｅｔ

コマンド	ｔｅｌｎｅｔ　ホスト名(または、ＬＡＮボードのＩＰアドレス)

《機能》　指定したＬＡＮボードの内部変数を設定します。
《注意》　本コマンドは、パソコンやＵＮＩＸマシンにインストールされていることを前提としており、ＬＡＮボードの付属ユーティリティとして提供するものではありません。

画面表示

```
C:¥>telnet 130.10.90.186
CASIO CP-NW110 Ver.NH0T 4.04
Copyright (C) 1996-2003 ACCESS CO.,LTD.
Copyright (C) 1996-2003 CASIO COMPUTER CO., LTD.
Copyright (C) 1996-2003 CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.
User:cpadmin
Password:
Success
CP-NW100>
```

「user:」と表示されるのでユーザ名を入力します。
管理者以外は特に定められてはいません。管理者のユーザ名は「cpadmin」です。
管理者は更にパスワードを要求されますので設定されているパスワードを入力してください。（初期状態は未設定）
管理者以外は以下のコマンドが使えません。
・set　　・reset

上記「CP-NW100>」と表示された状態で「help」を入力すると、使用可能なコマンドが表示されます。

画面表示

```
CP-NW100>help
set <parameter=value>                 set parameter
show [parameter/section/all]          show parameter
stat                                  display status
quit                                  quit without saving
exit                                  save and exit
reset                                 save and reset
help [command]                        display help
clear                                 erase buffer data
CP-NW100>
```

ここで表示されたコマンドによって、ＬＡＮボードの設定内容を得、またその設定を変更することができます。製品では初期値が設定されており、TCP/IP環境でご使用になる場合、通常、設定内容は変更する必要はありませんが、netmask,gateway等ご使用になるTCP/IP環境にあわせて変更してください。

また「CP-NW100>」と表示された状態で「show」のみを入力すると、通常ご使用になる上で必要な設定内容を表示します。

画面表示

```
CP-NW100>show
ip_address         : 0.0.0.0
ip_decision        : normal
netmask            : 0.0.0.0
gateway            : 0.0.0.0
ftp_passwd         : off
tcp_keep_alive     : 30
print_reset        : disable
machine_name       : CP80001
comment            : CASIO
nw_mode            : disable
CP-NW100>
```

ｔｅｌｎｅｔコマンド	ｓｈｏｗ 変数名／グループ名／ＡＬＬ

《機能》　指定した変数名、グループ名または、設定可能な変数すべての設定状態を表示します。

・変数名指定の例。

画面表示

```
CP-NW100>show netmask
netmask            : 0.0.0.0
CP-NW100>
```

・グループ名指定の例。

画面表示

```
CP-NW100>show network
ip_address         : 0.0.0.0
ip_decision        : normal
netmask            : 0.0.0.0
gateway            : 0.0.0.0
ftp_passwd         : off
tcp_keep_alive     : 30
print_reset        : disable
machine_name       : CP80001
comment            : CASIO
nw_mode            : rprinter
CP-NW100>
```

・ＡＬＬ指定の例。

画面表示

```
CP-NW100>show all
ip_address          :: 0.0.0.0
ip_decision         : normal
netmask             : 0.0.0.0
gateway             : 0.0.0.0
ftp_passwd          : off
tcp_keep_alive      : 30
print_reset         : disable
machine_name        : CP80001
comment             : CASIO
nw_mode             : disable
nw_packet           : auto
nw_spx_abort        : 30
nw_spx_listen       : 6
nw_spx_verify       : 3
pserver             :
timeout             : 3
fserver1            :
fserver2            :
fserver3            :
fserver4            :
polltime            : 15
nw_passwd           :
nw_ncp_timeout      : 3
nw_ncp_retry        : 20
snmp_mode           : disable
snmp_name           : public
snmp_host           : 0.0.0.0
index               : disable
banner0             :off
bojstring0          :
eojstring0          :
printertype1        : PR201
banner1             : off
tabsize1            : 8
bojstring1          :
eojstring1          :
printertype2        : PR201
banner2             : off
tabsize2            : 8
bojstring2          :
eojstring2          :
CP-NW100>
```

ｔｅｌｎｅｔコマンド	ｓｅｔ　変数名＝設定したい数値または文字列

《機能》　指定した変数名に数値または文字列を設定します。

画面表示

```
CP-NW100>set  fserver1=FILESERVER1
fserver1           : FILESERVER1
CP-NW100>set  netmask=255.255.0.0
netmask            : 255.255.0.0
CP-NW100>
```

ｔｅｌｎｅｔコマンド	ｓｔａｔ

《機能》　ＬＡＮボードの状態を表示します。

画面表示

```
CP-NW100>stat
CASIO CP-NW110 Ver.NH0T 4.04
Ethernet address: 08:00:74:80:00:01
Ethernet speed   : 100Base/Full Duplex(Auto)
TCP/IP status    : IP address  :  130.10.90.186
                   IP decision :  DSW1-4
                   Netmask     :  0.0.0.0
                   Gateway     :  0.0.0.0
IPX packet type :  IEEE802.2(Auto)
NetWare status  :  Mode        :  disable
Printer status  :  Port status :  Printer Ready(warm up)
                   Model name  :  N5
                   Version No. :  FP0K 1.40/K2
                   Paper feeder:  MPF:B5
                                  CPF1:B4
                                  CPF2:A4
                                  CPF3:A3
                                  CPF4:A4
                                  CPF5:A4
CP-NW100>
```

ｔｅｌｎｅｔコマンド	ｃｌｅａｒ

《機能》　ＬＡＮボードのスプールバッファの内容を消去します。

画面表示

```
CP-NW100>clear
Success
CP-NW100>
```

ｔｅｌｎｅｔコマンド	ｒｅｓｅｔ

《機能》　ｔｅｌｎｅｔでの設定をセーブしＬＡＮボードをリセットして終了します。
《注意》　ＬＡＮボードがリセットされるためスプールバッファの内容は消去され、ｔｅｌｎｅｔとの接続も終了します。

画面表示

```
CP-NW100>reset
C:¥>
```

ｔｅｌｎｅｔコマンド	ｅｘｉｔ

《機能》　ｔｅｌｎｅｔでの設定をセーブして終了します。
《注意》　ｔｅｌｎｅｔで設定した変数は、基本的にはプリンタ本体の電源を再投入した時点から有効となります。

画面表示

```
CP-NW100>exit
C:¥>
```

ｔｅｌｎｅｔコマンド	ｑｕｉｔ

《機能》　ｔｅｌｎｅｔでの設定を中止します。

画面表示

```
CP-NW100>quit
Quit without saving?<Y/N>y  <――――  yで設定値はセーブされません。
C:¥>                                nであれば設定を継続します。
```

２．ＭＳ－ＤＯＳ用ユーティリティ

ＣＰ－ＮＷ１００ Ｓｅｒｉｅｓ ＬＡＮボードではＭＳ－ＤＯＳ用ユーティリティとして、以下を用意してあります。

CP1CONF.EXE　　MS-DOS(MS-WindowsのMS-DOSウィンドウを含む)にて使用するコマンド

このユーティリティは、ご使用になるオペレーティングシステムおよびMS-Windowsに対応した、「ノベル株式会社」より提供されている「ＮｅｔＷａｒｅクライアントソフトウェア」が正しくインストールされている環境でご使用になることを前提としております。
それ以外の環境では正常に動作いたしませんので、ご注意ください。

【「ノベル株式会社」より提供されている「ＮｅｔＷａｒｅクライアントソフトウェア」】

1)MS-DOSおよびMS-Windows 3.1 用。
- ・NetWare Client for DOS and Windows (VLM Client)
- ・Novell Client for DOS/Windows 3.1x

2)MS-Windows 95/98/Me 用。
- ・Novell Client for Windows 95/98/Me

3)MS-Windows NT/2000/XP 用。
- ・Novel Client for Windows NT/2000/XP

くわしくは、システム管理者にお尋ねください。

２－１．ＣＰ１ＣＯＮＦのインストール方法

ＬＡＮボード付属のCD-ROMディスクをドライブにセットし、ディスクメディア内のUTILITYディレクトリ内DOSディレクトリ内のCP1CONFをハードディスク上へコピーします。

例
```
C:\>MKDIR \CASIO    ←――――――― CP1CONFをインストールするディレクトリを作成
C:\>COPY L:\UTILITY1\DOS\CP1CONF.EXE C:\CASIO
```

※ここではCD-ROMドライブが "L" ドライブでの説明です。
　ドライブ番号は、ご利用になるコンピュータによって異なることがあります。
※CP1CONF.EXEをお使いになるコンピュータにCD-ROMドライブが装着されていない場合は、CD-ROMドライブの装着されている他のコンピュータにて、フロッピーディスクへコピーした後、お使いになるコンピュータへコピーしてください。

２－２．ＣＰ１ＣＯＮＦユーティリティ説明

CP1CONF.EXEは、NetWare環境で動作するプログラムです。起動する前にNetWareのクライアントモジュールが起動されていることをご確認ください。MS-DOS上から、ハードディスクにインストールされたCP1CONFを起動します。

コマンド	ＣＰ１ＣＯＮＦ machine_name

《機能》　指定したＬＡＮボードの内部変数を設定します。
《注意》　本コマンドは、システム管理者(cpadmin)によってのみ、有効に機能させることができます。

画面表示

```
C:¥CASIO>CP1CONF  CPXXXXXX
サーバを検索中です...
CASIO CP-NW110 Ver.NH0T 4.04
Copyright (C) 1996-2003 ACCESS CO.,LTD.
Copyright (C) 1996-2003 CASIO COMPUTER CO., LTD.
Copyright (C) 1996-2003 CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.
User:cpadmin
Password:
Success
CP-NW100>
```

「user:」と表示されるのでユーザ名を入力します。
管理者以外は特に定められてはいません。管理者のユーザ名は「cpadmin」です。
管理者は更にパスワードを要求されますので設定されているパスワードを入力してください。
（初期状態は未設定）
管理者以外は以下のコマンドが使えません。
・set　　　・reset

※「CP1CONF」のみを入力した場合、現在接続可能なプリンタを表示します。

画面表示

```
C:¥CASIO>CP1CONF


[0]EXIT
[1]CP800001
[2]CP800002
[999]RETRY
Number[0-2,999]>
```

→「999」を入力→

画面表示

```
サーバを検索中です...

[0]EXIT
[1]CP800001
[2]CP800002
[3]CP800003
[999]RETRY
Number[0-2,999]>
```

接続したいプリンタのNumberを入力します。選択したプリンタと接続できなかった場合、接続エラーメッセージが表示された後、再度現在接続可能なプリンタが表示されます。また、「CP1CONF」を起動した後にプリンタの電源を投入した場合は、しばらく待ってから「999」を入力しますとプリンタの一覧が更新され、接続可能なプリンタとして表示されます。

正常に接続されますと、以下のようなメッセージが表示されます。

画面表示

```
CASIO CP-NW110 Ver.NH0T 4.04
Copyright (C) 1996-2003 ACCESS CO.,LTD.
Copyright (C) 1996-2003 CASIO COMPUTER CO., LTD.
Copyright (C) 1996-2003 CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.
User:cpadmin
Password:
Success
CP-NW100>
```

上記「CP-NW100>」と表示された状態で「HELP」を入力すると、使用可能なコマンドが表示されます。

画面表示

```
CP-NW100>HELP
set <parameter=value>                 set parameter
show [parameter/section/all]          show parameter
stat                                  display status
quit                                  quit without saving
exit                                  save and exit
reset                                 save and reset
help [command]                        display help
clear                                 erase buffer data
CP-NW100>
```

ここで表示されたコマンドによって、システム管理者(Admin)は、ＬＡＮボードの設定内容を得、またその設定を変更することができます。製品では初期値が設定されておますが、NetWare環境で、プリントサーバ上（通常ファイルサーバ上で動作させています）のPSERVERを介して接続される場合（リモートプリンタモード）には、接続を行うプリントサーバの名称を設定する必要があります。　また、ＬＡＮボード自身をプリントサーバとする場合（プリントサーバモード）には、ログインを行うファイルサーバの名称を設定する必要があります。どちらのモードで運用する場合でも、以降に解説するコマンドを用いて設定内容を変更してください。

また「CP-NW100>」と表示された状態で「SHOW」のみを入力すると、通常ご使用になる上で必要な設定内容を表示します。

画面表示

```
CP-NW100>SHOW
ip_address          : 0.0.0.0
ip_decision         : normal
netmask             : 0.0.0.0
gateway             : 0.0.0.0
ftp_passwd          : off
tcp_keep_alive      : 30
print_reset         : disable
machine_name        : CP80001
comment             : CASIO
nw_mode             : disable
CP-NW100>
```

ＣＰ１ＣＯＮＦコマンド	ＳＨＯＷ 変数名／グループ名／ＡＬＬ

《機能》　指定した変数名、グループ名または、設定可能な変数すべての設定状態を表示します。

・変数名指定の例。

画面表示

```
CP-NW100>SHOW  NW_MODE
nw_mode             : disable
CP-NW100>
```

・グループ名指定の例。

画面表示

```
CP-NW100>SHOW  NETWORK
ip_address          : 0.0.0.0
ip_decision         : normal
netmask             : 0.0.0.0
gateway             : 0.0.0.0
ftp_passwd          : off
tcp_keep_alive      : 30
print_reset         : disable
machine_name        : CP80001
comment             : CASIO
nw_mode             : disable
CP-NW100>
```

・ＡＬＬ指定の例。

画面表示

```
CP-NW100>SHOW ALL
ip_address          : 0.0.0.0
ip_decision         : normal
netmask             : 0.0.0.0
gateway             : 0.0.0.0
ftp_passwd          : off
tcp_keep_alive      : 30
print_reset         : disable
machine_name        : CP80001
comment             : CASIO
nw_mode             : disable
nw_packet           : auto
nw_spx_abort        : 30
nw_spx_listen       : 6
nw_spx_verify       : 3
pserver             :
timeout             : 3
fserver1            :
fserver2            :
fserver3            :
fserver4            :
polltime            : 15
nw_passwd           :
nw_ncp_timeout      : 3
nw_ncp_retry        : 20
snmp_mode           : disable
snmp_name           : public
snmp_host           : 0.0.0.0
index               : disable
banner0             :off
bojstring0          :
eojstring0          :
printertype1        : PR201
banner1             : off
tabsize1            : 8
bojstring1          :
eojstring1          :
printertype2        : PR201
banner2             : off
tabsize2            : 8
bojstring2          :
eojstring2          :
CP-NW100>
```

ＣＰ１ＣＯＮＦコマンド	ＳＥＴ 変数名＝設定したい数値または文字列

《機能》　指定した変数名に数値または文字列を設定します。

画面表示

```
CP-NW100>SET  nw_mode=pserver
nw_mode              : pserver
CP-NW100>SET  fserver1=FILESERVER1
fserver1             : FILESERVER1
CP-NW100>
```

ＣＰ１ＣＯＮＦコマンド	ＳＴＡＴ

《機能》　ＬＡＮボードの状態を表示します。

画面表示

```
CP-NW100>STAT
CASIO CP-NW110 Ver.NH0T 4.04
Ethernet address: 08:00:74:80:00:01
Ethernet speed   : 100Base/Full Duplex(Auto)
TCP/IP status    : IP address  :  130.10.90.186
                   IP decision :  DSW1-4
                   Netmask     :  0.0.0.0
                   Gateway     :  0.0.0.0
IPX packet type :  IEEE802.2(Auto)
NetWare status  :  Mode        :  disable
Printer status  :  Port status :  Printer Ready(warm up)
                   Model name  :  N5
                   Version No. :  FP0K 1.40/K2
                   Paper feeder:  MPF:B5
                                  CPF1:B4
                                  CPF2:A4
                                  CPF3:A3
                                  CPF4:A4
                                  CPF5:A4
CP-NW100>
```

ＣＰ１ＣＯＮＦコマンド	ＣＬＥＡＲ

《機能》　ＬＡＮボードのスプールバッファの内容を消去します。

画面表示

```
CP-NW100>CLEAR
Success
CP-NW100>
```

ＣＰ１ＣＯＮＦコマンド	ＲＥＳＥＴ

《機能》　ＣＰ１ＣＯＮＦでの設定をセーブしＬＡＮボードをリセットして終了します。
《注意》　ＬＡＮボードがリセットされるためスプールバッファの内容は消去され、ＣＰ１ＣＯＮＦとの接続も終了します。

画面表示

```
CP-NW100>RESET
C:¥CASIO>
```

ＣＰ１ＣＯＮＦコマンド	ＥＸＩＴ

《機能》　ＣＰ１ＣＯＮＦでの設定をセーブして終了します。
《注意》　ＣＰ１ＣＯＮＦで設定した変数は、基本的にはプリンタ本体の電源を再投入した時点から有効となります。

画面表示

```
CP-NW100>EXIT
C:¥CASIO>
```

ＣＰ１ＣＯＮＦコマンド	ＱＵＩＴ

《機能》　ＣＰ１ＣＯＮＦでの設定を中止します。

画面表示

```
CP-NW100>QUIT
Quit without saving?<Y/N> y<―――   yで設定値はセーブされません。
C:¥CASIO>                          nであれば設定を継続します。
```

３．ＭＳ－Ｗｉｎｄｏｗｓ用設定ユーティリティ

コマンド	ＣＰＮＡＩＸＳ

３－１．動作環境について

ＭＳ－Ｗｉｎｄｏｗｓ用設定ユーティリティは、MS-Windows 上で動作するプログラムです。

CPNAIXS.EXE　　MS-Windows 95/98/Me ／ MS-WindowsNT 4.0/ MS-Windows 2000/XP のIPX上で動作する
　　　　　　　　ＬＡＮボード設定ユーティリティ

ＬＡＮボード設定ユーティリティは、MS-WindowsのIPX/SPX互換プロトコルが必要です。

上記の環境以外では正常に動作いたしませんので、ご注意ください。

くわしくは、システム管理者にお尋ねください。

３－２．インストールについて。

［1］ＬＡＮボード設定ユーティリティをＣＤ－ＲＯＭからインストールする場合。

①「ＬＡＮボード設定ユーティリティ」をインストールするには、ＬＡＮボード付属のCD-ROMのセットアッププログラム(STARTUP.EXE)からおこないます。
コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの "STARTUP.EXE" を実行してください。)

②「セットアップタイプ」の選択画面が表示されます。
「カスタム」インストールを選択し【次へ(N)>】をクリックします。

③「コンポーネントの選択」画面が表示されます。
「ＬＡＮボード設定ユーティリティ」を選択(チェックボックスをオン)し、【次へ(N)>】をクリックします。　この時、すでにインストール済みの他のコンポーネントは選択しないでください。

④「インストール先の選択」画面が表示されます。
インストール先ディレクトリを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑤「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
プログラムフォルダを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑥「使用許諾契約」画面が表示されます。
よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は【はい(Y)】をクリックしてください。
インストールを中止する場合は【いいえ(N)>】をクリックしてください。

⑦プログラムのインストールが開始されます。

⑧「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
Readmeファイルを表示する場合には【はい(Y)】をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。
本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

⑨以上で「ＬＡＮボード設定ユーティリティ」のインストールは終了しました。

［2］ＬＡＮボード設定ユーティリティをフロッピーディスクからインストールする場合。

①「ＬＡＮボード設定ユーティリティ」をインストールするには、ＬＡＮボード付属のCD-ROMから「ＬＡＮボード設定ユーティリティ」の「ＦＤ作成」をおこなってください。　ＦＤ作成については「スタートアップメニュー」の【ＦＤ作成】をクリックし、画面の指示に従って操作してください。
コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの "STARTUP.EXE" を実行してください。)

②「ＬＡＮボード設定ユーティリティ　ディスク　1」をフロッピードライブへ挿入します。

③【スタート】をクリックし、【ファイル名を指定して実行(R)】をクリックします。

④「ファイル名を指定して実行」画面にて「A:\SETUP.EXE」と入力し、【ＯＫ】をクリックするとインストールプログラムが起動します。
※ここではフロッピードライブが "A" ドライブでの説明です。
　ドライブ番号は、ご利用になるコンピュータによって異なることがあります。

⑤「セットアップ」画面が表示されます。
【次へ(N)>】をクリックします。

⑥「使用許諾契約」画面が表示されます。
よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は【はい(Y)】をクリックしてください。
インストールを中止する場合は【いいえ(N)>】をクリックしてください。

⑦「インストール先の選択」画面が表示されます。
インストール先ディレクトリを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑧「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
プログラムフォルダを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑨プログラムのインストールが開始されます。

⑩「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
Readmeファイルを表示する場合には【はい(Y)】をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。
本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

⑪以上で「ＬＡＮボード設定ユーティリティ」のインストールは終了しました。

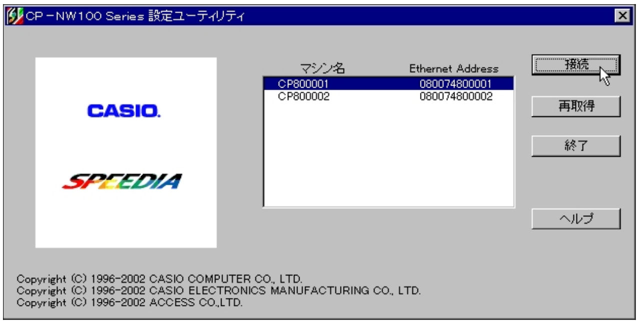
３－３．起動方法。

・MS-Windows 95/98/Me ／
MS-WindowsNT 4.0 ／
MS-Windows 2000/XP　の場合。
「スタート」メニュー →
「プログラム」→
「CASIO SPEEDIA」に登録された
「ＬＡＮボード設定」ユーティリティをクリックします。



３－４．ＬＡＮボード設定ユーティリティ説明

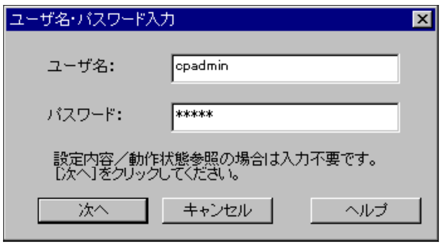
①接続ダイアログ。
設定ユーティリティを起動しますと、「接続ダイアログ」が開きます。
「現在接続可能なプリンタ」を選択した後、【接続】をクリックします。
設定ユーティリティを起動した後にプリンタの電源を投入した場合は、しばらく待ってから【再取得】をクリックしますとプリンタの一覧が更新され、「現在接続可能なプリンタ」が表示されます。



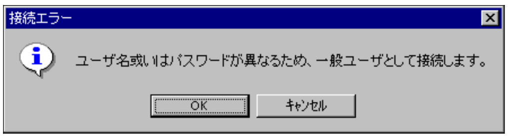
ﾏｼﾝ名	「現在接続可能なプリンタ」からLANボードに設定されているマシン名を選択します。
接続	ホスト名で指定したLANボードへ接続を行います。接続に成功すると、「ユーザ名・パスワード入力」に移動します。(②参照)
終了	LANボード設定ユーティリティを終了します。
再取得	「現在接続可能なプリンタ」の情報をNetWareサーバより再取得し、一覧を更新します。
ﾍﾙﾌﾟ	ヘルプを表示します。

他の管理者が既に接続している場合は③接続エラーになります。

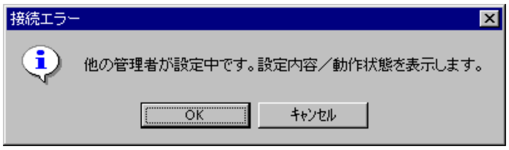
②ユーザ名・パスワード入力ダイアログ
ＬＡＮボードと接続するためにユーザ名とパスワードの入力をします。
設定を変更するためには管理者ユーザ名「cpadmin」を入力します。



ユーザ名或いはパスワードが異なる場合は一般ユーザとして接続します。

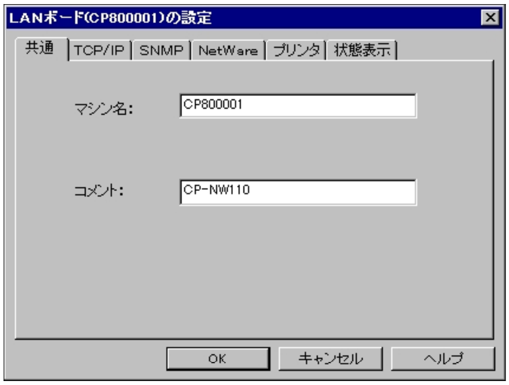


③接続エラー
他の管理者が既に接続している場合は「接続エラー」になり、【ＯＫ】をクリックすると一般ユーザとして接続します。



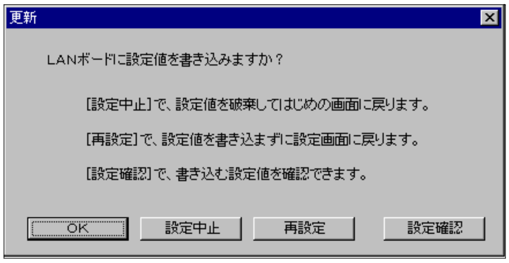
④メインダイアログ
ＬＡＮボードとの接続が確立しますと、「メインダイアログ」に変わります。
設定を行う内容に応じて各タブラベルをクリックしてください。

ＬＡＮボードをご使用になる環境に応じて設定を行ってください。　くわしくはシステム管理者にお尋ねください。



共通	共通の設定を行います。
ＴＣＰ／ＩＰ	ＴＣＰ／ＩＰの設定を行います。
ＳＮＭＰ	ＳＮＭＰの設定を行います。 ＴＣＰ／ＩＰ環境下で「**ＣＡＳＩＯ スピーディアマネージャ for Network**」をご使用になる場合には「**ＳＮＭＰを使用する**」をチェックしてください。
ＮｅｔＷａｒｅ	ＮｅｔＷａｒｅの設定を行います。
状態表示	ＬＡＮボードの状態を表示します。
プリンタ	ＬＡＮボード内の各プリンタポートの設定を行います。

※設定ユーティリティ終了方法。
設定ユーティリティを終了するために、【ＯＫ】をクリックします。
「更新」ダイアログが表示されますので【ＯＫ】をクリック選択すると、設定内容をＬＡＮボードの各種設定用メモリへ登録を行うことができます。
なお、設定内容は基本的にはプリンタ本体の電源を再投入した時点から有効になりますので、登録を行った後、必ず電源の再投入を行ってください。



４．WWWブラウザでの設定

ＴＣＰ／ＩＰ環境においてはＬＡＮボードの環境設定をWWWブラウザで行うことができます。

４－１．動作環境について

MS-WindowsでTCP/IPプロトコルが有効で、ＬＡＮボードは既にＩＰアドレスが決定していなければなりません。
「第１章　１－３．ＩＰアドレスの設定、１－４．外部設定ＤＳＷの設定」を参照してください。

ＤＨＣＰ／ＢＯＯＴＰ／ＲＡＲＰを使用してＬＡＮボードへＩＰアドレスを割り当てる場合や、ＬＡＮボードのＩＰアドレスをＬＡＮボードの環境変数へ設定する場合など、運用する上ではＩＰアドレス設定用ＤＳＷを使用する必要がない場合、以下の手順でＬＡＮボードへＩＰアドレスを仮設定した後、ｔｅｌｎｅｔやWWWブラウザにて環境変数の設定変更がおこなえます。
（「第２章　１－１．ＬＡＮボードへＩＰアドレスを仮設定するためのコマンド」参照）

【ＬＡＮボードへＩＰアドレスを仮設定する方法】
お使いのコンピュータとＬＡＮボードを設置したプリンタが、同一サブネットワーク(ルータ等のネットワーク中継器器を経由しない範囲)に接続されている場合は、コンピュータの「ＡＲＰコマンド」を使用してIPアドレスを仮設定することが可能です。
コマンド入力画面(MS-Windowsでは｢ｺﾏﾝﾄﾞﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ｣または｢MS-DOSﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ｣)にて、以下のように入力します。

《MS-Windows 2000 の例》

1)ｺﾝﾋﾟｭｰﾀへIPｱﾄﾞﾚｽとEthernetｱﾄﾞﾚｽの対応を記憶させせます。

```
C:¥> arp -s 130.10.90.186 08-00-74-80-00-01
```

- 130.10.90.186 → 仮設定するIPｱﾄﾞﾚｽ（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀと同一のｻﾌﾞﾈｯﾄﾜｰｸであること）
- 08-00-74-80-00-01 → LANﾎﾞｰﾄﾞのEthernetｱﾄﾞﾚｽ(MACｱﾄﾞﾚｽ)
  ※「第１章　１－５．ETHERNETアドレスについて」参照。

2)IPﾊﾟｹｯﾄを送信することにより、LANﾎﾞｰﾄﾞへIPｱﾄﾞﾚｽを仮登録します。

```
C:¥> ping 130.10.90.186
```

※ＬＡＮボードの各設定状態が初期状態でないと仮設定できません。
「**第１章　１－４．外部設定ＤＳＷの設定　【ＩＰアドレス設定方法】**」の「※２」参照。

WWWブラウザは以下のプログラムをお使いください。
（表記或いはそれ以上のバージョンをお使いください。）
- Netscape Navigator 3.0
- Netscape Communicator 4.0
- Internet Explorer 3.0

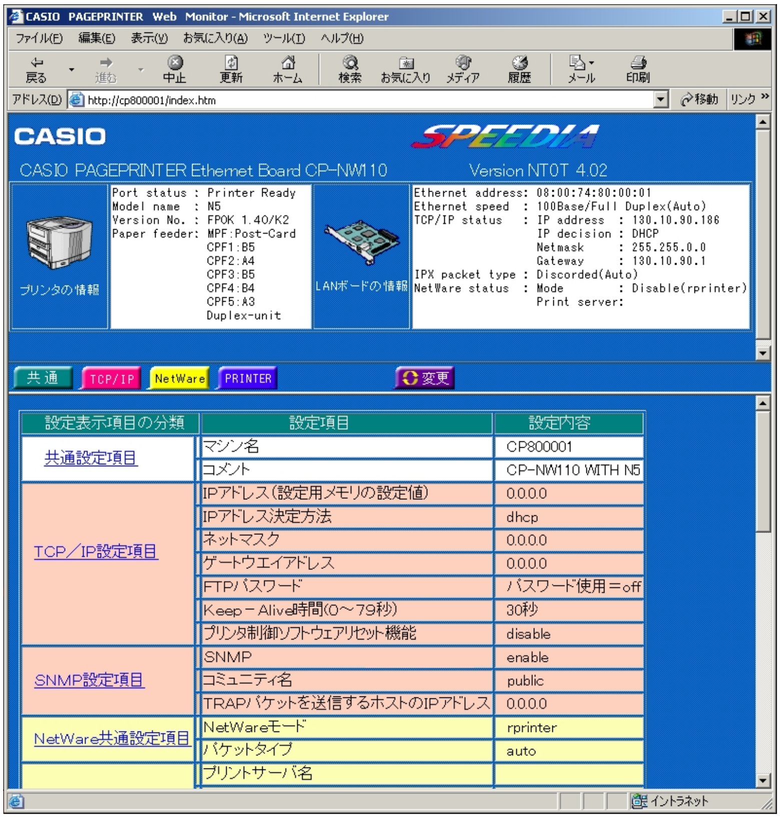
ＵＲＬは「http://xxx.xxx.xxx.xxx/」になります。
（xxx.xxx.xxx.xxxはＬＡＮボードのＩＰアドレスです。）
ＤＨＣＰによりＬＡＮボードを運用をしていて、かつＷＩＮＳを使用していてる環境の場合、ＵＲＬを「http://xxxxxxxx/」とNetBIOS名で指定することができます。
（xxxxxxxxはＬＡＮボードのマシン名(設定変数 machine_name 設定文字列)）

上記の環境以外では正常に動作いたしませんので、ご注意ください。

くわしくは、システム管理者にお尋ねください。

４－２．設定について

①設定
　ＨＴＭＬの各画面の指示にしたがって設定してください。



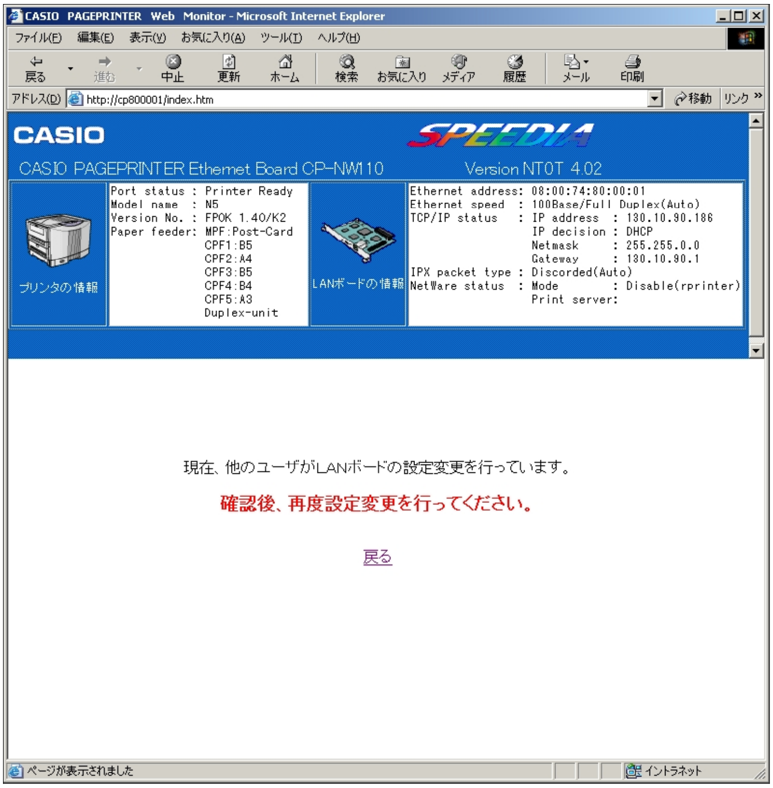
②ユーザ名・パスワード入力
　設定変更をする場合には



をクリックし
　管理者ユーザ名「cpadmin」とパスワードを入力します。



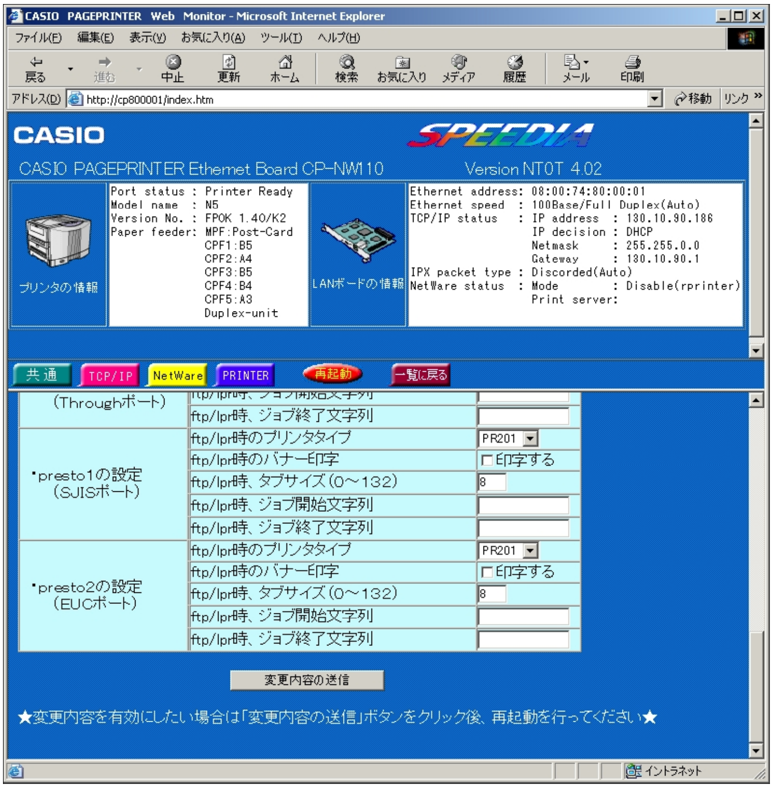
③他の管理者が接続中
他の管理者が設定変更を行っています。
確認してからやり直してください。



④変更内容の送信
設定変更を行った後は、必ず【変更内容の送信】をクリックしてください。
変更内容を有効にするためには



をクリックしてください。



５．ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ

コマンド	ＣＰＮＭＩＰＶ （ＦＴＰプロトコル使用） ＣＰＮＡＩＸＶ （ＩＰＸプロトコル使用）

５－１．動作環境について

ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティは、MS-Windows 上で動作するプログラムです。

CPNMIPV.EXE　　MS-Windows 95/98/Me ／ MS-WindowsNT 4.0/ MS-Windows 2000/XP のTCP/IP上で動作するLANボードバージョンアップユーティリティ

CPNAIXS.EXE　　MS-Windows 95/98/Me ／ MS-WindowsNT 4.0/ MS-Windows 2000/XP のIPX上で動作するLANボードバージョンアップユーティリティ

ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティは、それぞれ、MS-Windowsの TCP/IP プロトコル ／ IPX/SPX互換プロトコル が必要です。

以上の環境以外では正常に動作いたしませんので、ご注意ください。

くわしくは、システム管理者にお尋ねください。

５－２．インストールについて。

［1］ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティをＣＤ－ＲＯＭからインストールする場合。

①「ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」をインストールするには、ＬＡＮボード付属のCD-ROMのセットアッププログラム(STARTUP.EXE)からおこないます。
コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの "STARTUP.EXE" を実行してください。)

②「セットアップタイプ」の選択画面が表示されます。
「カスタム」インストールを選択し【次へ(N)>】をクリックします。

③「コンポーネントの選択」画面が表示されます。
「IPX版ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」または「FTP版ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」を選択(チェックボックスをオン)し、【次へ(N)>】をクリックします。　この時、すでにインストール済みの他のコンポーネントは選択しないでください。

④「インストール先の選択」画面が表示されます。
インストール先ディレクトリを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑤「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
プログラムフォルダを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑥「使用許諾契約」画面が表示されます。
よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は【はい(Y)】をクリックしてください。
インストールを中止する場合は【いいえ(N)>】をクリックしてください。

⑦プログラムのインストールが開始されます。

⑧「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
Readmeファイルを表示する場合には【はい(Y)】をクリックしてください。

> Readmeファイルは必ずご覧ください。
> 本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

⑨以上で「ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」のインストールは終了しました。

［２］ＬＡＮボードバージョンアップ用ユーティリティをフロッピーディスクからインストールする場合。

①「ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」をインストールするには、ＬＡＮボード付属のCD-ROMから「IPX版ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」または「FTP版ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」の「ＦＤ作成」をおこなってください。
ＦＤ作成については「スタートアップメニュー」の【ＦＤ作成】をクリックし、画面の指示にしたがって操作してください。
コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの "STARTUP.EXE" を実行してください。)

②「IPX版ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ　ディスク　1」または「FTP版ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ　ディスク　1」をフロッピードライブへ挿入します。

③【スタート】をクリックし、【ファイル名を指定して実行(R)】をクリックします。

④「ファイル名を指定して実行」画面にて「A:\SETUP.EXE」と入力し、【ＯＫ】をクリックするとインストールプログラムが起動します。
※ここではフロッピードライブが "A" ドライブでの説明です。
　ドライブ番号は、ご利用になるコンピュータによって異なることがあります。

⑤「セットアップ」画面が表示されます。
【次へ(N)>】をクリックします。

⑥「使用許諾契約」画面が表示されます。
よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は【はい(Y)】をクリックしてください。
インストールを中止する場合は【いいえ(N)>】をクリックしてください。

⑦「インストール先の選択」画面が表示されます。
インストール先ディレクトリを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑧「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
プログラムフォルダを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

⑨プログラムのインストールが開始されます。

⑩「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
Readmeファイルを表示する場合には【はい(Y)】をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。
本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

⑪以上で「ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」のインストールは終了しました。

５－３．起動方法。

・「スタート」メニュー から起動する場合。
(MS-Windows 95/98/Me ／ MS-WindowsNT 4.0 ／ MS-Windows 2000/XP　の場合。)
「スタート」メニュー →「プログラム」→「CASIO SPEEDIA」に登録された
「ＬＡＮボードバージョンアップ(FTP)」または
「ＬＡＮボードバージョンアップ(IPX)」をクリックします。

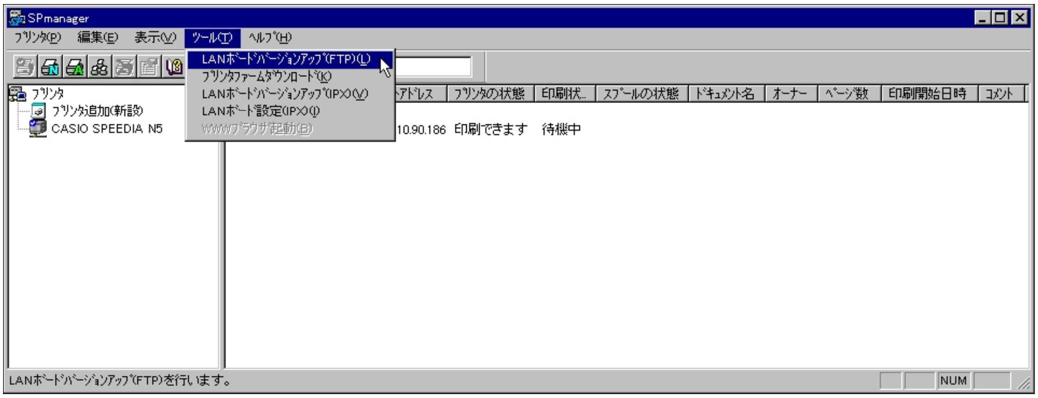


【注意】
　ＬＡＮボード制御ソフトウェア(ファームウェア)のバージョンアップは、現在動作しているソフトウェアを直接書き換えます。その特性上、お客様のネットワーク環境やプリンタ／コンピュータへ電源供給環境などが良好でない場合、あるいは正しい手順でバージョンアップ作業をおこなわなかった場合、などの条件により、正常にバージョンアップがおこなわれず、結果としてＬＡＮボード制御ソフトウェア(ファームウェア)が破壊されてしまう場合があります。　　したがいまして、作業を開始する前に本ページ以降の説明記述を十分にお読みいただき、間違いのないように注意して作業を進めてください。
　なお、バージョンアップ作業は、お客様の責任においておこなってください。

　「ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」の操作オペレーションでは、ＬＡＮボードのリセット操作をおこないます。バージョンアップ中は、印刷などの通常運用は　おこなえずプリンタが一時的に使用不能となります。
　「ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」の操作オペレーションの実施に際しては、事前にシステム管理者の了承を得てください。

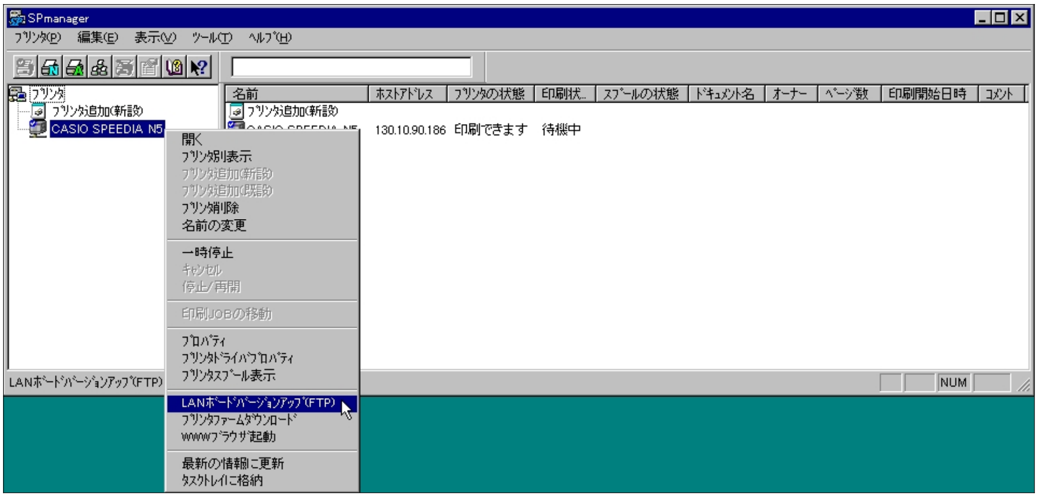
また、ＬＡＮボード制御ソフトウェア(ファームウェア)バージョンアップの前後で、ＬＡＮボードの各種設定用メモリのフォーマットが変更になっている場合、設定用メモリの初期化が必要となります。　　あらかじめ、Ｔｅｌｎｅｔ／設定ユーティリティ／WWWブラウザ、などバージョンアップ前の設定内容を表示させ、メモをとることをお勧めします。　各種設定用メモリの初期化は「１－４．外部設定ＤＳＷの設定」を参照しておこなってください。

・「ＣＡＳＩＯ スピーディアマネージャ for Network」から起動する場合。
(MS-Windows 95/98/Me ／ MS-WindowsNT 4.0 ／ MS-Windows 2000/XP の場合。)
「タイトルバー」メニュー の「ツール」をクリックして表示されるメニューから、
「ＬＡＮボードバージョンアップ(FTP)」または
「ＬＡＮボードバージョンアップ(IPX)」をクリックします。



※「ＬＡＮボードバージョンアップ(FTP)」を選択した場合、「スタート」メニューから起動する場合と同様、通常の「接続ダイアログ」が開きます。(「５－４．［１］通常起動の場合」参照。)

・「ＣＡＳＩＯ スピーディアマネージャ for Network」にてプリンタを指定してから起動する場合。(ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＦＴＰ版）のみ起動可能。)
(MS-Windows 95/98/Me ／ MS-WindowsNT 4.0 ／ MS-Windows 2000/XP の場合。)
スピーディアマネージャの画面に表示されている「登録プリンタの一覧」からバージョンアップを行うプリンタ(ＬＡＮボード)を選択(ｸﾘｯｸして反転表示させます)した後、右クリックして表示されるメニューから、「ＬＡＮボードバージョンアップ(FTP)」をクリックします。



※「スタート」メニューから起動する場合と異なり、プリンタ先指定の「接続ダイアログ」が開きます。
(「５－４．［２］スピーディアマネージャにてプリンタを指定して起動した場合」参照。)

５－４．ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＦＴＰ版）説明

［１］通常起動の場合

①接続ダイアログ説明[通常起動]
ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ(FTP版)を起動しますと、「接続ダイアログ」が開きます。
「ＬＡＮボード一覧」は何も表示されません。

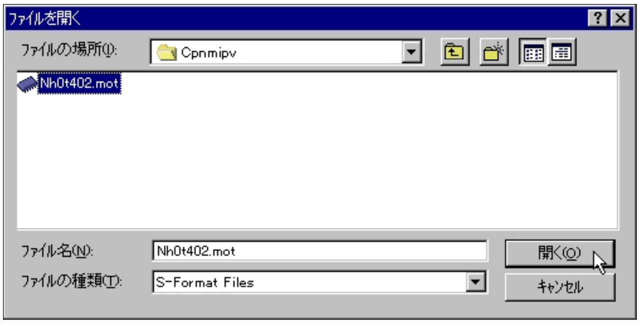


LANﾎﾞｰﾄﾞ一覧	本ﾕｰﾃｨﾘﾃｨにてﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟ可能なLANﾎﾞｰﾄﾞの一覧表示。 一覧は【LANﾎﾞｰﾄﾞ検索】ｸﾘｯｸにて起動される「検索」にて作成／更新されます。
IPｱﾄﾞﾚｽ	検索されたLANﾎﾞｰﾄﾞのIPｱﾄﾞﾚｽを表示します。
Ethernetｱﾄﾞﾚｽ	検索されたLANﾎﾞｰﾄﾞのEthernetｱﾄﾞﾚｽを表示します。
ﾌｧｰﾑｳｪｱﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	検索されたLANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾊﾞｰｼﾞｮﾝを表示します。
【開始】ﾎﾞﾀﾝ	選択されたLANﾎﾞｰﾄﾞのﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟを開始し、LANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)の送信を開始します。 ※LANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)ﾌｧｲﾙを指定しないとｸﾘｯｸできません。
【LANﾎﾞｰﾄﾞ検索】ﾎﾞﾀﾝ	「検索」ダイアログを表示します。ﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟをおこなうLANﾎﾞｰﾄﾞのIPｱﾄﾞﾚｽが判らない場合などに使用します。
【IPｱﾄﾞﾚｽ指定】ﾎﾞﾀﾝ	既にﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟをおこなうLANﾎﾞｰﾄﾞのIPｱﾄﾞﾚｽが判っている場合は、「LANﾎﾞｰﾄﾞ検索」をおこなわずに直接IPｱﾄﾞﾚｽを入力してLANﾎﾞｰﾄﾞのﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟを開始できます。 ※LANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)ﾌｧｲﾙを指定しないとｸﾘｯｸできません。
【終了】ﾎﾞﾀﾝ	LANボードﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟﾕｰﾃｨﾘﾃｨ(FTP版)を終了します。
「LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ」ﾌｧｲﾙ名	【ﾌｧｲﾙ選択】ｸﾘｯｸにて指定したLANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾌｧｲﾙ名を表示します。
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝNo	【ﾌｧｲﾙ選択】ｸﾘｯｸにて指定したLANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾊﾞｰｼﾞｮﾝNo.を表示します。
【ﾌｧｲﾙ選択】ﾎﾞﾀﾝ	LANﾎﾞｰﾄﾞの新しいﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾌｧｲﾙを指定します。

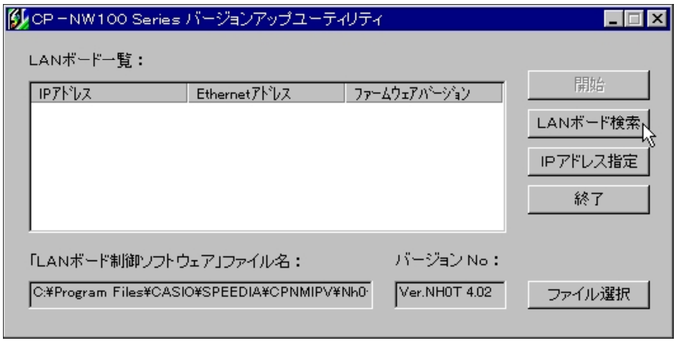
②ＬＡＮボードのファームウェア
(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)
ファイルの指定
はじめに、【ファイル選択】をクリックして表示される「ファイルを開く」ダイアログにて、ＬＡＮボードのファームウェア(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)ファイルの選択をおこないます。



※最新のＬＡＮボードのファームウェア（ＬＡＮボード制御ソフトウェア)ファイルは弊社インターネットインフォメーション
（http://www.casio.co.jp/ppr/）
より入手できます。



③ＬＡＮボード一覧表示の更新
【ＬＡＮボード検索】をクリックし、「検索」ダイアログを表示させます。



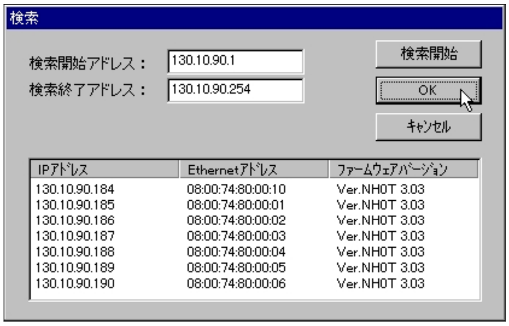
必要に応じて「検索開始アドレス」「検索終了アドレス」を変更します。
【検索開始】をクリックすると、検索が開始されます。
※検索可能範囲は、お使いのコンピュータと同一セグメント(ルーター等のネットワーク中継機器を経由しない範囲)に限られます。



検索にはある程度の時間を要しますので、しばらくお待ちください。
発見されたＬＡＮボードの情報が順次表示されていきます。　その後、ＬＡＮボードのバージョンの確認をおこないます。

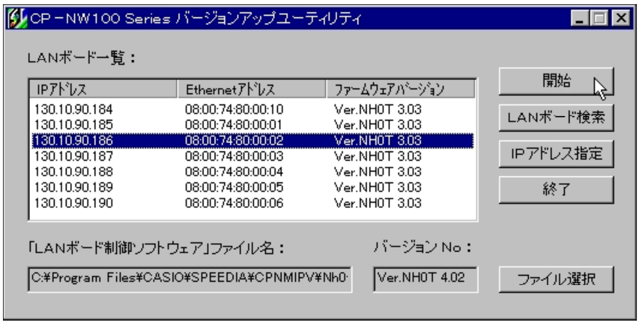


検索が終了したら、【ＯＫ】をクリックして「検索」ダイアログを閉じます。
検索結果が「ＬＡＮボード一覧」に反映されます。

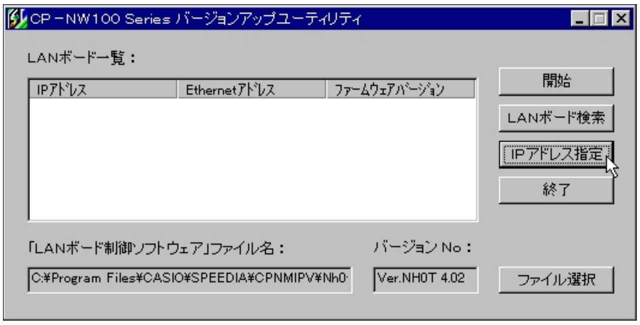


④バージョンアップ対象ＬＡＮボードの選択とバージョンアップの開始

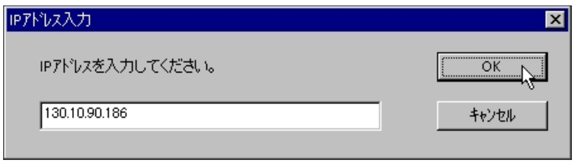
表示された「ＬＡＮボード一覧」からバージョンアップをおこなうＬＡＮボードを選択(クリックして反転表示させます)し、【開始】をクリックして、バージョンアップを開始します。



⑤ＩＰアドレスを直接入力してバージョンアップ対象ＬＡＮボードを指定
あらかじめバージョンアップをおこなうＬＡＮボードのIPアドレスが判っている場合は、「ＬＡＮボード検索」をおこなわずに直接IPアドレスを入力してＬＡＮボードのバージョンアップを開始できます。



【ＩＰアドレス指定】をクリックしてIPアドレスの入力を開始します。
IPアドレスの入力が終了したら【ＯＫ】をクリックしてください。
バージョンアップが開始されます。



［2］スピーディアマネージャにてプリンタを指定して起動した場合

⑥接続ダイアログ説明
［プリンタを指定して起動］

スピーディアマネージャの画面に表示されている「登録プリンタの一覧」からバージョンアップを行うプリンタ(ＬＡＮボード)を選択(ｸﾘｯｸして反転表示させます)した後、右クリックして表示されるメニューから、「ＬＡＮボードバージョンアップ(FTP)」をクリックしてＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ(FTP版)を起動しますと、「接続ダイアログ」が開きます。
「ＬＡＮボード一覧」には指定したプリンタ(ＬＡＮボード)の情報が表示されています。



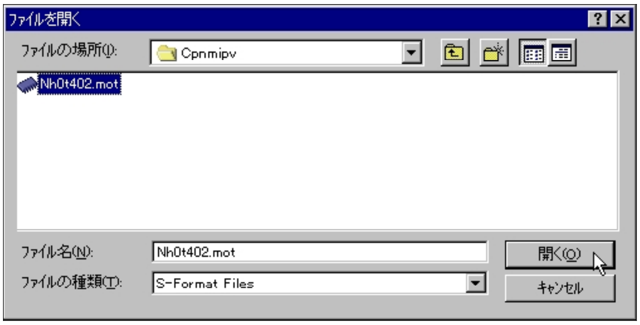
LANﾎﾞｰﾄﾞ一覧	スピーディアマネージャにて選択・指定したﾌﾟﾘﾝﾀ(LANﾎﾞｰﾄﾞ)の表示。 一覧は【LANﾎﾞｰﾄﾞ検索】ｸﾘｯｸにて起動される｢検索｣にて作成／更新されます。
IPｱﾄﾞﾚｽ	指定されたLANﾎﾞｰﾄﾞのIPｱﾄﾞﾚｽを表示します。
Ethernetｱﾄﾞﾚｽ	表示されません。
ﾌｧｰﾑｳｪｱﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	指定されたLANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾊﾞｰｼﾞｮﾝを表示します。
【開始】ﾎﾞﾀﾝ	指定されたLANﾎﾞｰﾄﾞのﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟを開始し、LANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)の送信を開始します。 ※LANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)ﾌｧｲﾙを指定しないとｸﾘｯｸできません。
【LANﾎﾞｰﾄﾞ検索】ﾎﾞﾀﾝ	｢検索｣ダイアログを表示します。スピーディアマネージャにて選択・指定したﾌﾟﾘﾝﾀ(LANﾎﾞｰﾄﾞ)と異なるﾌﾟﾘﾝﾀ(LANﾎﾞｰﾄﾞ)のﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟをおこなう場合などに使用します。
【IPｱﾄﾞﾚｽ指定】ﾎﾞﾀﾝ	選択(ｸﾘｯｸ)できません。 ※起動時に既に指定済みです。
【終了】ﾎﾞﾀﾝ	LANボードﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟﾕｰﾃｨﾘﾃｨ(FTP版)を終了します。
｢LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ｣ﾌｧｲﾙ名	【ﾌｧｲﾙ選択】ｸﾘｯｸにて指定したLANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾌｧｲﾙ名を表示します。
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝNo	【ﾌｧｲﾙ選択】ｸﾘｯｸにて指定したLANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾊﾞｰｼﾞｮﾝNo.を表示します。
【ﾌｧｲﾙ選択】ﾎﾞﾀﾝ	LANﾎﾞｰﾄﾞの新しいﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾌｧｲﾙを指定します。

⑦ＬＡＮボードのファームウェア(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)ファイルの指定

はじめに、【ファイル選択】をクリックして表示される「ファイルを開く」ダイアログにて、ＬＡＮボードのファームウェア(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)ファイルの選択をおこないます。



※最新のＬＡＮボードのファームウェア（ＬＡＮボード制御ソフトウェア）ファイルは弊社インターネットインフォメーション
（http://www.casio.co.jp/ppr/）
より入手できます。



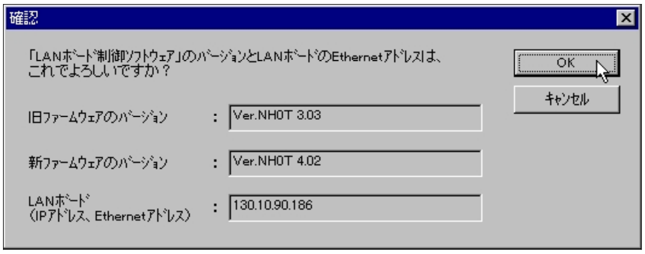
⑧バージョンアップの開始

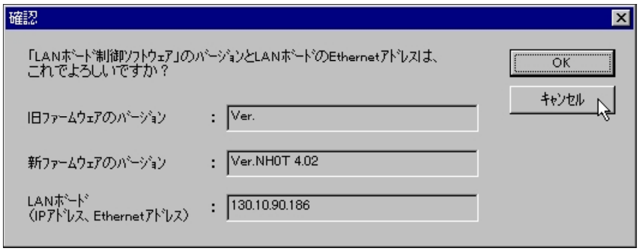
【開始】をクリックして、バージョンアップを開始します。



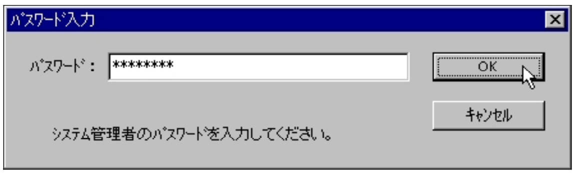
［３］バージョンアップの実行

⑨バージョンアップ対象ＬＡＮボードの確認
バージョンアップ対象ＬＡＮボードに関する情報が表示されますので、確認してください。
対象ＬＡＮボードに間違いがなければ【ＯＫ】をクリックしてください。
バージョンアップを中止する場合は【キャンセル】をクリックしてください。
※指定したＬＡＮボードの種類が異なる場合、表示が正しく行われませんので【キャンセル】をクリックして正しいＬＡＮボードを指定してください。





⑩システム管理者パスワードの入力
システム管理者用に設定されているパスワードを入力し【ＯＫ】をクリックします。

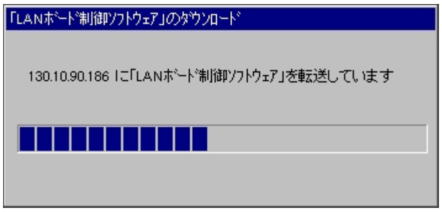


パスワードが異なるか、既に他のシステム管理者がＬＡＮボードに接続している場合、バージョンアップはおこなえません。しばらく待ってから、再度試みてください。



⑪ＬＡＮボードのファームウェア（ＬＡＮボード制御ソフトウェア）ファイルの転送

ファイルの転送が開始されます。進捗状況はプログレスバーにて表示しています。



⑫ＬＡＮボードのリセット

バージョンアップユーティリティはファイル転送したＬＡＮボード制御ソフトウェアを有効にするために、ＬＡＮボードのリセットをおこないます。　【ＯＫ】をクリックするとリセットをおこないます。

※ＬＡＮボードをリセットすると、他の印刷要求などは強制終了してしまいます。





⑬ＬＡＮボードバージョンアップの終了

リセット処理終了後、ＬＡＮボードの再起動を待ちバージョンを確認します。「転送終了」ダイアログが表示されることで、指定したＬＡＮボード制御ソフトウェアに正しく書き換えが完了したことを確認してください。



５－５．ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＦＴＰ版）のエラー表示説明

ア）プリンタに接続できません。プリンタの電源が着れているか或いは他の人が既に使用中です。



内容：ＬＡＮボードとの通信が開始できませんでした。
原因：a)「スピーディアマネージャの登録プリンタ一覧より選択したＬＡＮボード(プリンタ)の電源が入っていません」「指定したＬＡＮボードへ既に他のユーザがtelnetで接続しています」「Ethernetケーブルがはずれています」などの外的要因。
　　　b)「ＩＰアドレス入力にて入力したIPアドレスが正しくありません」「指定したＬＡＮボードの設定が正しくありません」などの指定／設定による要因。
　　　c)前回バージョンアップが正しくおこなわれず、ＬＡＮボード内の制御ソフトウェアが破壊されています。
対処：1)プリンタの電源／ネットワークの接続を確認してください。
　　　2)ＬＡＮボードのテストプリント、プリンタ本体操作によるＬＡＮ設定印刷、などにより、ＬＡＮボードの設定を確認してください。
　　　3)確認後、再度バージョンアップを実行してください。

【注意】
再度バージョンアップを実行しても『プリンタに接続できません。プリンタの電源が着れているか或いは他の人が既に使用中です』が表示される場合は、ＬＡＮボード内の制御ソフトウェアが破壊されていることが考えられます。この場合、ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＦＴＰ版）は使用できません。ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＩＰＸ版）を使用し、後述の「５－８．ＬＡＮボードバージョンアップの緊急処置」に記載の手順でバージョンアップを実行してください。

イ）「ＬＡＮボード制御ソフトウェア」が不良です。



内容：指定したＬＡＮボード制御ソフトウェア(ファームウェア)ファイルが正しくありません。
原因：a)指定したファイルはＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルではありません。
　　　b)指定したファイルは選択したバージョンアップ対象ＬＡＮボードでは使用できません。
　　　c)ファイルが破壊されています。
対処：1)ＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルを確認してください。
　　　　※最新のＬＡＮボードのファームウェア(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)ファイルは弊社インターネットインフォメーション（http://www.casio.co.jp/ppr/）より入手できます。
　　　2)正しいＬＡＮボードを選択してください。
　　　3)確認後、再度バージョンアップを実行してください。

ウ）プリンタに接続できませでした。



内容：バージョンアップ対象ＬＡＮボードの確認後、ＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルの転送が開始できませんでした。

原因：a)「ＬＡＮボード(プリンタ)の電源が切断されました」「Ethernetケーブルがはずれてしまいました」などの外的要因。

b)前回バージョンアップが正しくおこなわれず、ＬＡＮボード内の制御ソフトウェアが破壊されています。

対処：1)プリンタの電源／ネットワークの接続を確認してください。

2)ＬＡＮボードのテストプリント、プリンタ本体操作によるＬＡＮ設定印刷、などにより、ＬＡＮボードの設定を確認してください。

3)確認後、再度バージョンアップを実行してください。

エ）ディレクトリに移動できませんでした。



内容：ＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルの転送のためのディレクトリ操作ができませんでした。

原因：a)指定したＬＡＮボードは、本ユーティリティにてバージョンアップ可能なＬＡＮボード(CP-NW100 Series)ではありません。

b)ＬＡＮボード(プリンタ)に設定されているＩＰアドレスが重複しています。

対処：1)ＬＡＮボードのテストプリント、プリンタ本体操作によるＬＡＮ設定印刷、などにより、ＬＡＮボードの設定を確認してください。

2)確認後、再度バージョンアップを実行してください。

オ）「ＬＡＮボード制御ソフトウェア」転送中に異常が発生しました。
接続を確認の上、再試行してください。



内容：ＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルの転送中に通信異常が発生しました。

原因：a)バージョンアップ中にＬＡＮボードとの通信が切断されてしまいしまた。

対処：1)プリンタの電源／ネットワークの接続を確認してください。

2)確認後、再度バージョンアップを実行してください。

【注意】
再度バージョンアップを実行しても『「ＬＡＮボード制御ソフトウェア」転送中に異常が発生しました。接続を確認の上、再試行してください。』が表示される場合は、ＬＡＮボード内の制御ソフトウェアが破壊されていることが考えられます。この場合、ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＦＴＰ版）は使用できません。ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＩＰＸ版）を使用し、後述の「５－８．ＬＡＮボードバージョンアップの緊急処置」に記載の手順でバージョンアップを実行してください。

カ）「ＬＡＮボード制御ソフトウェア」が正しくインストールされませんでした。



内容：指定したＬＡＮボードのバージョンアップに失敗しました。
原因：a)バージョンアップ中にＬＡＮボードとの通信が切断されてしまいました。
　　　b)バージョンアップ中のリセット処理終了後、ＬＡＮボードと通信できませんでした。
　　　c)指定したファイルはＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルが正しくなく、バージョンアップ後のバージョン番号との不一致が発生しました。
対処：1)ネットワーク環境を確認してください。
　　　2)同時にバージョンアップを実行していないか確認してください。
　　　3)ＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルを確認してください。
　　　※最新のＬＡＮボードのファームウェア(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)ファイルは弊社インターネットインフォメーション（http://www.casio.co.jp/ppr/）より入手できます。
　　　4)再度バージョンアップを実行してください。

【注意】
再度バージョンアップを実行しても『「ＬＡＮボード制御ソフトウェア」が正しくインストールされませんでした』が表示される場合は、ＬＡＮボード内の制御ソフトウェアが破壊されていることが考えられます。この場合、ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＦＴＰ版）は使用できません。ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＩＰＸ版）を使用し、後述の「５－８．ＬＡＮボードバージョンアップの緊急処置」に記載の手順でバージョンアップを実行してください。

キ）リセットできませんでした。手動でリセットしてください。



内容：ＬＡＮボードファームウェア(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)の転送終了後、指定したＬＡＮボードのリセットに失敗しました。
原因：a)バージョンアップ中のリセット処理終了後、ＬＡＮボードと通信できませんでした。
　　　b)指定したＬＡＮボードへ他のユーザがtelnetで接続しています。
　　　c)指定したＬＡＮボードへ他のシステム管理者が接続しています。
対処：1)プリンタの電源／ネットワークの環境を確認してください。
　　　2)同時にバージョンアップを実行していないか確認してください。
　　　3)ＬＡＮボードのテストプリント印刷結果にて確認してください。
　　　4)しばらく待ってからプリンタ本体の「ＬＡＮ設定印刷」にて確認してください。
　　　5)Ｔｅｌｎｅｔ／設定ユーティリティ／ WWWブラウザなどで、ＬＡＮボードと通信をおこないバージョンNo.を表示させるとともに、各プロトコルが正常動作していることを確認してください。
　　　6)必要に応じて、再度バージョンアップを実行してください。

ク）選択されたLANﾎﾞｰﾄﾞは選択されたLANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱﾌｧｲﾙでのﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟはおこなえません。
指定されたIPｱﾄﾞﾚｽのLANﾎﾞｰﾄﾞは選択されたLANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱﾌｧｲﾙでのﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟはおこなえません。





内容：選択(指定)したＬＡＮボードとＬＡＮボード制御ソフトウェア(ファームウェア)ファイルの組合せが正しくありません。

原因：a)CP-NW100SP/CP-NW100L/CP-NW100用のＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルで、CP-NW110をバージョンアップしようとしました。
b)指定したファイルは選択したバージョンアップ対象ＬＡＮボードでは使用できません。
c)ファイルが破壊されています。

対処：1)ＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルを確認してください。
※最新のＬＡＮボードのファームウェア(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)ファイルは弊社インターネットインフォメーション（http://www.casio.co.jp/ppr/）より入手できます。
2)正しいＬＡＮボードを選択してください。
3)確認後、再度バージョンアップを実行してください。

５－６．ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＩＰＸ版）説明

【ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＩＰＸ版）ご使用上の制約事項】
　バージョンアップユーティリティにてＬＡＮボードのバージョンアップ作業をおこなう際、対象となるＬＡＮボードの種類によっては、お使いになるパソコンのIPX/SPX互換プロトコルが現在使用している「フレームタイプ」が「Etnernet 802.2」または「Ethernet 802.3」でないと、バージョンアップ作業ができない場合があります。
　パソコンが使用している「フレームタイプ」が前記以外のフレームタイプとなる要因はいくつかありますが、代表的な例は以下の通りです。

1)パソコンをお使いになっているネットワークにＮｅｔＷａｒｅサーバが設置されていて、サーバのネットワークインターフェースにバインドされている環境設定済みプロトコルが、『IPXプロトコルのフレームタイプが「Ethernet_II」』のみの場合。
2)パソコンのIPX/SPX互換プロトコルの詳細設定内「フレームタイプ」にて「Etnernet 802.2」「Ethernet 802.3」以外が設定されている場合。

　以上のようなネットワーク環境ですと、バージョンアップ対象となるＬＡＮボードの種類によっては、このバージョンアップユーティリティはお使いになれない場合があります。
　お手数ですが、一時的に以下のようなネットワーク環境をご用意いただき、バージョンアップをおこなってください。

・上記1)の場合。
　パソコンとＬＡＮボードを装着したプリンタを通常お使いになっているネットワーク環境から切り離した別環境をご用意いただきバージョンアップをおこなってください。
・上記2)の場合。
　パソコンのIPX/SPX互換プロトコルの詳細設定内「フレームタイプ」にて「Etnernet 802.2」または「Ethernet 802.3」を設定し再起動をおこなった後、再度バージョンアップをおこなってください。

①接続ダイアログ説明



ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ(IPX版)を起動しますと、「接続ダイアログ」が開きます。
起動直後にＬＡＮボードの検索をおこないます。検索にはある程度の時間を要しますので、しばらくお待ちください。発見されたＬＡＮボードの情報が順次表示されていきます。

検索終了にて、以降のオペレーションが可能となります。 「使い方のヒント」欄を参考にして操作してください。

※検索可能範囲は、お使いのコンピュータと同一セグメント(ルーター等のネットワーク中継機器を経由しない範囲)に限られます。

LANﾎﾞｰﾄﾞ一覧	本ﾕｰﾃｨﾘﾃｨにてﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟ可能なLANﾎﾞｰﾄﾞの一覧表示。 【再検索】ﾎﾞﾀﾝｸﾘｯｸにて検索が再度おこなわれ更新されます。
Ethernetｱﾄﾞﾚｽ	検索されたLANﾎﾞｰﾄﾞのEthernetｱﾄﾞﾚｽを表示します。
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝNo.	検索されたLANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾊﾞｰｼﾞｮﾝを表示します。
ﾏｼﾝ名	検索されたLANﾎﾞｰﾄﾞのﾏｼﾝ名を表示します。
【開始】ﾎﾞﾀﾝ	選択されたLANﾎﾞｰﾄﾞのﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟを開始し、LANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)の送信を開始します。 ※LANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)ﾌｧｲﾙを指定しないとｸﾘｯｸできません。
【再検索】ﾎﾞﾀﾝ	検索が再度おこなわれ｢LANﾎﾞｰﾄﾞ一覧｣を更新します。ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ起動後にﾌﾟﾘﾝﾀ(LANﾎﾞｰﾄﾞ)の電源を投入した場合などに使用します。
【ｱﾄﾞﾚｽ指定】ﾎﾞﾀﾝ	【再検索】をおこなっても｢LANﾎﾞｰﾄﾞ一覧｣に表示されないLANﾎﾞｰﾄﾞをﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟする場合に使用します。 後述『5-8.LANﾎﾞｰﾄﾞﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟの緊急処置』を参照してください。 ※LANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)ﾌｧｲﾙを指定しないとｸﾘｯｸできません。
【終了】ﾎﾞﾀﾝ	LANボードﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟﾕｰﾃｨﾘﾃｨ(IPX版)を終了します。
｢LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ｣ﾌｧｲﾙ名	指定したLANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾌｧｲﾙ名を表示します。
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝNo.	指定したLANﾎﾞｰﾄﾞのﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)ﾌｧｲﾙのﾊﾞｰｼﾞｮﾝ番号を表示します。
使い方のﾋﾝﾄ	本ﾕｰﾃｨﾘﾃｨの操作概要をｶﾞｲﾀﾞﾝｽを表示します。
ﾀｲﾄﾙﾊﾞｰﾒﾆｭｰ	
ﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ	
LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱの選択	LANﾎﾞｰﾄﾞの新しいﾌｧｰﾑｳｪｱ(LANﾎﾞｰﾄﾞ制御ｿﾌﾄｳｪｱ)のﾌｧｲﾙを指定します。
ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの終了	LANボードﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟﾕｰﾃｨﾘﾃｨ(IPX版)を終了します。
ﾍﾙﾌﾟﾒﾆｭｰ	
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報	LANボードﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟﾕｰﾃｨﾘﾃｨ(IPX版)のﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報を表示します。

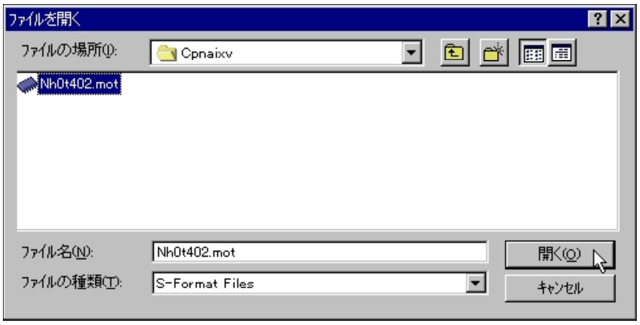
②ＬＡＮボード制御ソフトウェア(ＬＡＮボードのファームウェア)ファイルの指定



はじめに、「ファイル」メニューから「ＬＡＮボード制御ソフトウェアの選択」を選んで、ファームウェアファイルを指定してください。

表示される「ファイルを開く」ダイアログにて、ＬＡＮボードのファームウェア(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)ファイルの選択をおこないます。

※最新のＬＡＮボードのファームウェア(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)ファイルは弊社インターネットインフォメーション（http://www.casio.co.jp/ppr/）より入手できます。



③バージョンアップ対象ＬＡＮボードの選択とバージョンアップの開始



表示された「ＬＡＮボード一覧」からバージョンアップをおこなうＬＡＮボードを選択(クリックして反転表示させます)し、【開始】をクリックして、バージョンアップを開始します。

④Ethernetアドレスを直接指定してＬＡＮボードを選択しバージョンアップを開始



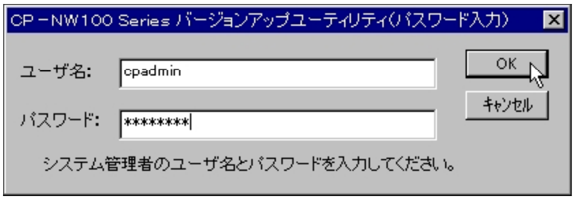
バージョンアップユーティリティを起動後にＬＡＮボードを装着したプリンタの電源を投入した場合、表示された「ＬＡＮボード一覧」にバージョンアップ対象ＬＡＮボードの情報が表示されません。

【再検索】をクリックして検索をやり直し一覧を更新することもできますが、あらかじめバージョンアップ対象ＬＡＮボードのEthernetアドレスが判っている場合には、Ethernetアドレスを直接指定してＬＡＮボード選択しバージョンアップを開始することができます。



【アドレス指定】をクリックして表示される「Ｅｔｈｅｒｎｅｔアドレス指定」ダイアログにて、Ethernetアドレスを入力してください。
お使いのＬＡＮボードのEthernetアドレスは、ＬＡＮボード裏面のシール(１－５．ETHERNETアドレスについて 参照)、セルフプリント(１－９．セルフプリントについて 参照)、ＬＡＮ設定印刷(１－１０．ＬＡＮ設定印刷について 参照)、などで確認して入力してください。
※)Ethernetアドレスは必ず12文字分入力してください。
　また、入力する文字は必ず半角英数文字の「0」～「9」,「A」～「F」,「a」～「f」の22種類としてください。

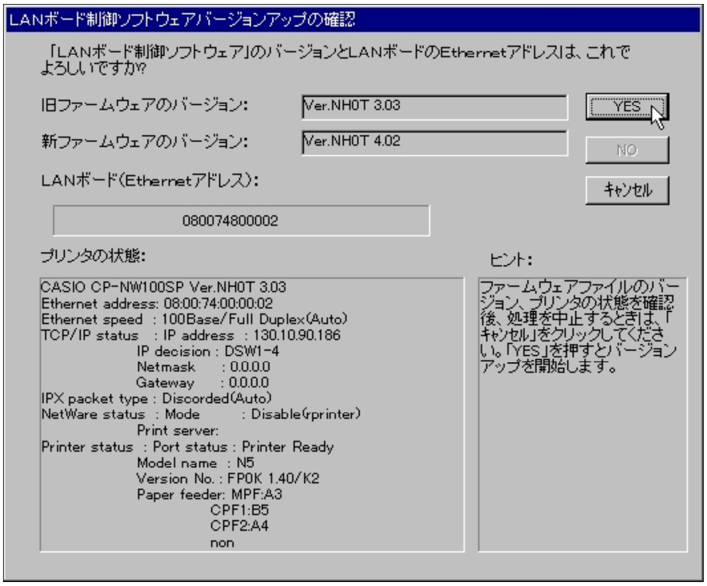
⑤システム管理者ユーザ名とパスワードの入力
システム管理者のユーザ名「cpadmin」とシステム管理者用に設定されているパスワードを入力し【ＯＫ】をクリックします。



既に他のシステム管理者がＬＡＮボードに接続している場合、バージョンアップはおこなえません。
しばらく待ってから、再度試みてください。

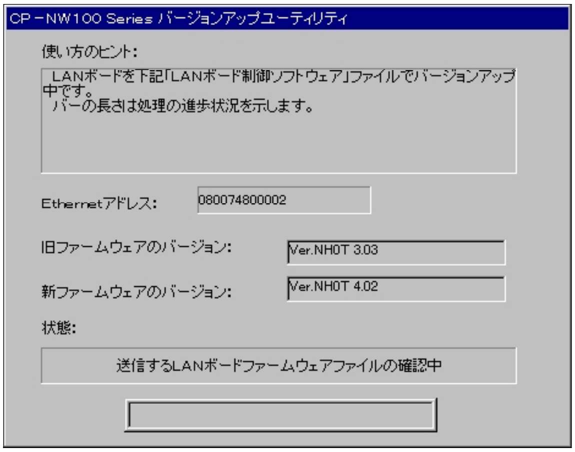


⑥バージョンアップ対象ＬＡＮボードの確認
バージョンアップ対象ＬＡＮボードに関する情報が表示されますので、確認してください。
対象ＬＡＮボードに間違いがなく、他のユーザがＬＡＮボードを使用していなければ(Port status に Printer Ready と表示)、【ＹＥＳ】をクリックしてください。
バージョンアップを中止する場合は【キャンセル】をクリックしてください。

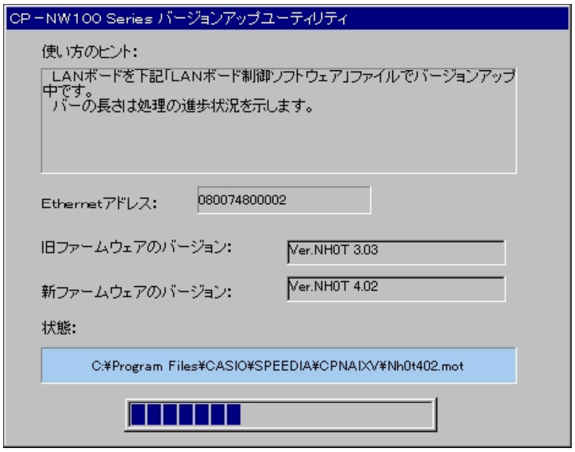


⑦ＬＡＮボードのリセットと、バージョンアップの開始
上記⑥にて【ＹＥＳ】をクリックすると、バージョンアップユーティリティはバージョンアップを開始するために、ＬＡＮボードをリセットします。
※ＬＡＮボードをリセットすると、他の印刷要求などは強制終了してしまいます。
IPXプロトコルを使用したバージョンアップでは、リセット後の再起動時にＬＡＮボードファームウェアファイルの転送をおこないます。

⑧ＬＡＮボード制御ソフトウェア
（ＬＡＮボードのファームウェア）
ファイルの読み込み確認と転送
指定されたファイルの読み込み確認をおこないます。
確認には少し時間が掛かります。



読み込み確認が終了すると転送が開始されます。
進捗状況はプログレスバーにて表示しています。
※ファイルの転送中はプリンタの電源を切断したり、ＬＡＮボードをリセットしたりしないでください。



⑨設定用メモリ初期化の注意表示
バージョンアップ前後で、ＬＡＮボードの各種設定用メモリのフォーマットが変更になっている場合、設定用メモリの初期化が必要です。
バージョンアップユーティリティ(IPX版)では設定用メモリ初期化の要不要のチェックをおこない注意ダイアログを表示します。
「設定用メモリの初期化」注意ダイアログが表示された場合は、「１－４．外部設定ＤＳＷの設定」を参照して各種設定用メモリの初期化をおこなってください。



⑩ＬＡＮボードバージョンアップの終了
「正常終了しました」ダイアログが表示されることで、指定したＬＡＮボード制御ソフトウェアに正しく書き換えが完了したことを確認してください。
【ＯＫ】をクリックすると接続ダイアログへ戻ります。



⑪ＬＡＮボードバージョンＮｏ．の確認

バージョンアップを終了すると、ＬＡＮボードは書き換え後の新しい制御ソフトウェアで動作を開始します。



【再検索】をクリックして再検索をおこない、「ＬＡＮボード一覧」へバージョンアップ後のバージョンNo.で表示されますので、右下「バージョンＮｏ．」欄の表示と同じであることで、正常にバージョンアップが完了したことを確認してください。



※バージョンアップが正しくおこなわれたことの確認は、以下の方法でも可能です。
1)Ｔｅｌｎｅｔ／設定ユーティリティ／　WWWブラウザなどで、ＬＡＮボードと通信をおこないバージョンNo.を表示させるとともに、各プロトコルが正常動作していることを確認する。
2)ＬＡＮボードのテストプリント印刷結果にて確認する。
3)しばらく待ってからプリンタ本体の「ＬＡＮ設定印刷」にて確認する。

５－７．ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ（ＩＰＸ版）のエラー表示説明

サ）ＬＡＮボードの検索に失敗しました。
シ）ＬＡＮボードから応答回答が有りません。再取得を行ってみてください。





内容：バージョンアップ可能なＬＡＮボードが発見できませんでした。
原因：a)ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ(IPX版)でバージョンアップ可能なＬＡＮボード(CASIO CP-NW100 Series)を装着したプリンタが１台も発見できませんでした。
b)「ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ(IPX版)でバージョンアップ可能なＬＡＮボード(CASIO CP-NW100 Series)を装着したプリンタの電源が入っていません」「Ethernetケーブルがはずれています」など、お使いのコンピュータとＬＡＮボードが通信できない状態にあります。
c)前回バージョンアップが正しくおこなわれず、ＬＡＮボード内の制御ソフトウェアが破壊されています。
対処：1)ネットワーク接続を確認してください。
2)ＬＡＮボードのテストプリント、プリンタ本体操作によるＬＡＮ設定印刷、などにより、ＬＡＮボードの動作状態を確認してください。
3)確認後、再度バージョンアップを実行してください。

【注意】
再度バージョンアップを実行しても上記「ＬＡＮボードの検索に失敗しました。」「ＬＡＮボードから応答回答が有りません。再取得を行ってみてください。」が表示される場合は、ＬＡＮボード内の制御ソフトウェアが破壊されていることが考えられます。この場合、後述の「５－８．ＬＡＮボードバージョンアップの緊急処置」に記載の手順でバージョンアップを実行してください。

ス）ＬＡＮボードが選択されていません。



内容：ＬＡＮボードが選択されていません。
原因：a)「ＬＡＮボード一覧」よりＬＡＮボードを選択(クリックして反転表示)せず、【開始】をクリックしてバージョンアップをおこなおうとしました。
対処：1)「ＬＡＮボード一覧」よりＬＡＮボードを選択(クリックして反転表示)してから、【開始】をクリックしてバージョンアップをおこなってください。

セ）ユーザ名が異なるためバージョンアップの処理を中止します。



内容：入力したシステム管理者名が異なります。
原因：a)入力したシステム管理者名が「cpadmin」ではありません。
処置：1)再度バージョンアップを実行して、システム管理者名に正しく「cpadmin」と入力してください。

ソ）パスワードが異なるためバージョンアップの処理を中止します。



内容：入力したシステム管理者用のパスワードが異なります。
原因：a)入力したパスワードが、ＬＡＮボードに設定されているシステム管理者用のパスワードと異なります。
対処：1)再度バージョンアップを実行して、システム管理者用に設定されているパスワードを正しく入力してください。

タ）他の管理者が設定中です。



内容：選択したＬＡＮボードに、他のシステム管理者が接続しています。
原因：a)他のシステム管理者が、選択したＬＡＮボードの設定を変更中です。　なお、設定変更には Telnet／MS-Windows版設定ユーティリティ／MS-DOS版設定ユーティリティ(コマンド)／WWWブラウザなどを使用します。
b)他のシステム管理者が、選択したＬＡＮボードをバージョンアップ中です。
対処：1)しばらくお待ちください。
2)他のシステム管理者へ連絡をおこない、バージョンアップ実行の了承を得てください。
3)再度バージョンアップを実行してください。

チ）Ethernetアドレスの指定にあやまりがあります。



内容：手順④Ethernetアドレスを直接指定してＬＡＮボードを選択しバージョンアップを開始にて入力したEthernetアドレスに誤りがあります。

原因：a)Ethernetアドレスを指定するために入力した文字列に以下の条件に合致しない誤りがあります。

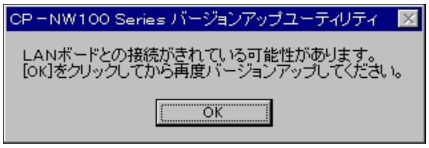
・指定可能な文字は、半角英数文字で「0」「1」「2」「3」「4」「5」「6」「7」「8」「9」「A」「B」「C」「D」「E」「F」「a」「b」「c」「d」「e」「f」の22種類です。

・入力文字数は、12文字固定です。

対処：1)再度バージョンアップを実行してください。

2)Ethernetアドレスを正しく入力してください。

ツ）ＬＡＮボードとの接続がきれている可能性があります。



内容：ＬＡＮボードとの通信中に接続が切断されました。

原因：a)手順「⑦ＬＡＮボードのリセットと、バージョンアップの開始」～「⑩ＬＡＮボードバージョンアップの終了の間で、ＬＡＮボードとの通信が切断されてしまいました。

b)複数のコンピュータで同時にＬＡＮボードのバージョンアップを実行しています。

対処：1)ネットワーク環境を確認してください。

2)同時にバージョンアップを実行していないか確認してください。

3)再度バージョンアップを実行してください。

テ）選択されたＬＡＮボードは選択されたファームウェアファイルでのバージョンアップ゜はおこなえません。
指定されたＥｔｈｅｒｎｅｔアドレスのＬＡＮボードは選択されたファームウェアファイルでのバージョンアップ゜はおこなえません。





内容：選択(指定)したＬＡＮボードとＬＡＮボード制御ソフトウェア(ファームウェア)ファイルの組合せが正しくありません。
原因：a)CP-NW100SP/CP-NW100L/CP-NW100用のＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルで、CP-NW110をバージョンアップしようとしました。
b)指定したファイルは選択したバージョンアップ対象ＬＡＮボードでは使用できません。
c)ファイルが破壊されています。
対処：1)ＬＡＮボード制御ソフトウェアファイルを確認してください。
※最新のＬＡＮボードのファームウェア(ＬＡＮボード制御ソフトウェア)ファイルは弊社インターネットインフォメーション（http://www.casio.co.jp/ppr/）より入手できます。
2)正しいＬＡＮボードを選択してください。
3)確認後、再度バージョンアップを実行してください。

５－８．ＬＡＮボードバージョンアップの緊急処置

ＬＡＮボード制御ソフトウェア(ファームウェア)のバージョンアップは、現在動作しているソフトウェアを直接書き換えます。その特性上、お客様のネットワーク環境やプリンタ／コンピュータへ電源供給環境などが良好でない場合、あるいは正しい手順でバージョンアップ作業をおこなわなかった場合、などの条件により、正常にバージョンアップがおこなわれず、結果としてＬＡＮボード制御ソフトウェア(ファームウェア)が破壊されてしまう場合があります。したがいまして、作業を開始する前に本ページ以前の説明記述を十分にお読みいただき、間違いのないように注意して作業を進めてください。
なお、バージョンアップ作業は、お客様の責任においておこなってください。

「ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティ」の操作オペレーションの実施に際しては、事前にシステム管理者の了承を得てください。

これから説明するＬＡＮボードのバージョンアップ手順は、ＬＡＮボードバージョンアップユーティリティを使用中に何らかの障害が発生し、ＬＡＮボードのバージョンアップが異常終了してＬＡＮボード制御ソフトウェア(ファームウェア)が破壊されてしまった場合、緊急処置としてその復旧をおこなうための手順となります。

①コンピュータとＬＡＮボードを装着したプリンタが接続されているネットワーク環境を確認します。
同一ネットワーク上で複数のシステム管理者がＬＡＮボードにアクセスしないようにしてください。　また、同一ネットワーク上で動作しているプリンタはＬＡＮボードバージョンアップの緊急処置をおこなう１台のみとし、他のプリンタは電源を切るか、ネットワーク上から切り離してください。
上記のようなネットワーク環境が難しいのであれば、反対にコンピュータとＬＡＮボードを装着したプリンタを通常お使いになっているネットワーク環境から切り離した別環境をご用意いただきバージョンアップをおこなってください。

②ＬＡＮボードのバージョンアップユーティリティ（ＩＰＸ版）を起動します。

③ＬＡＮボード制御ソフトウェア(ＬＡＮボードファームウェア)ファイルの指定をおこないます。

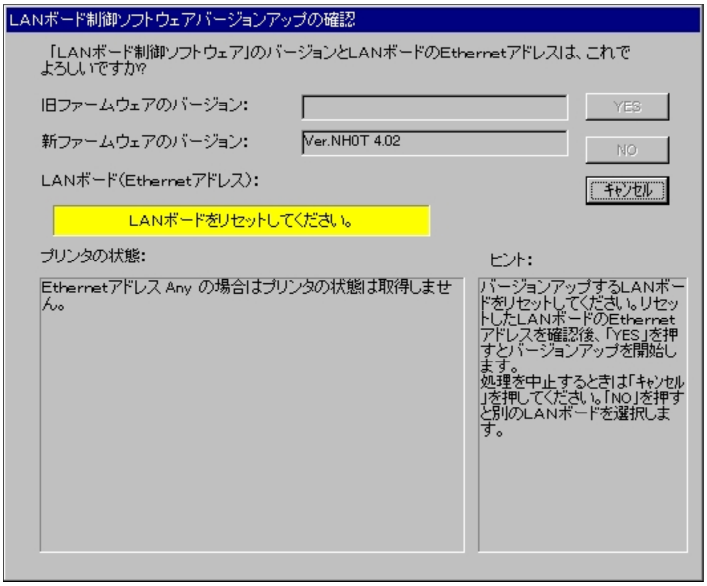
④【アドレス指定】をクリックします。



⑤「Ｅｔｈｅｒｎｅｔアドレス指定」ダイアログで「Any」と入力するか、何も入力しないで【ＯＫ】をクリックします。



この操作によりバージョンアップユーティリティは、ＬＡＮボードのBoot-up(起動)待機モードになります。



⑥バージョンアップ対象ＬＡＮボードのリセットスイッチを押下するか、プリンタ本体の電源を再投入します。

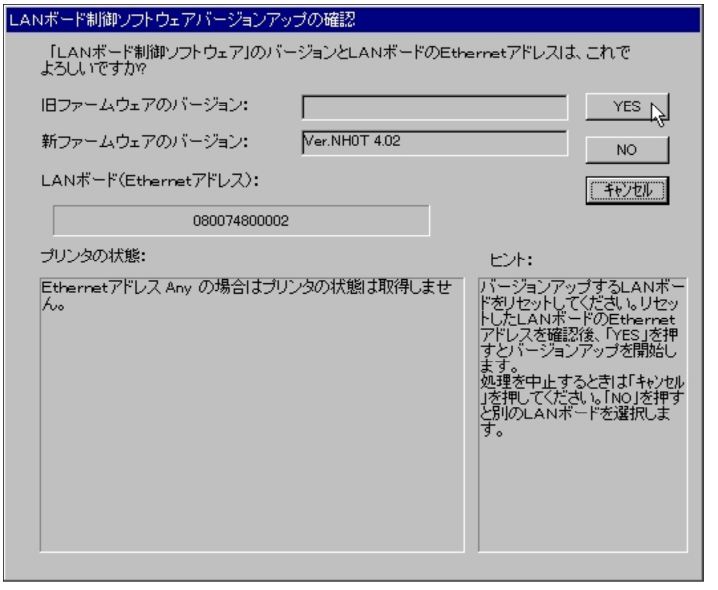
この操作により、ＬＡＮボードのBoot-up(起動)が開始されます。

待機モードになっていたバージョンアップユーティリティがＬＡＮボードのBoot-up(起動)検出して通信を開始します。ＬＡＮボードはバージョンアップユーティリティの指示にしたがい、バージョンアップモードとなりＬＡＮボード制御ソフトウェア(ファームウェア)の受信待ちとなります。

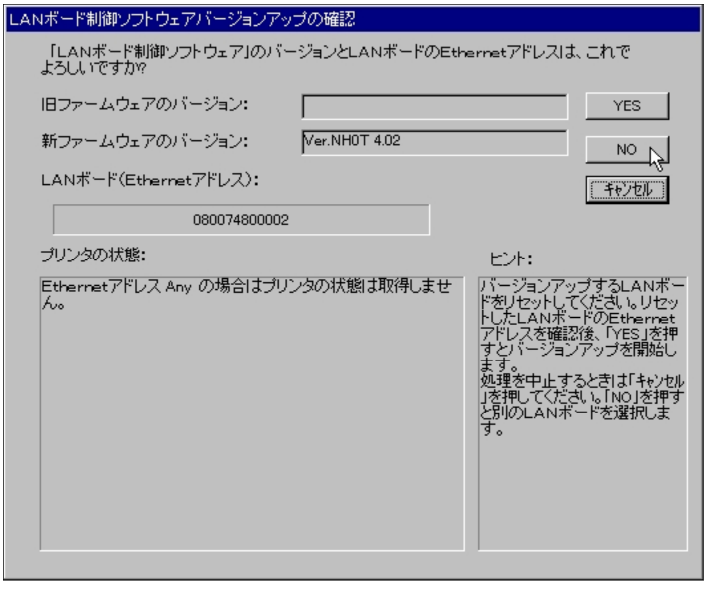
※プリンタ本体の電源を再投入した場合は、プリンタの操作パネルに「LAN ﾎﾞｰﾄﾞ ｲｼﾞｮｳ」と表示されますか、この表示は無視してバージョンアップ作業を継続してください。

⑦バージョンアップ対象ＬＡＮボードの確認をおこないます。
　表示されている「Ｅｔｈｅｒｎｅｔアドレス」にて、バージョンアップ対象ＬＡＮボードであることを確認します。

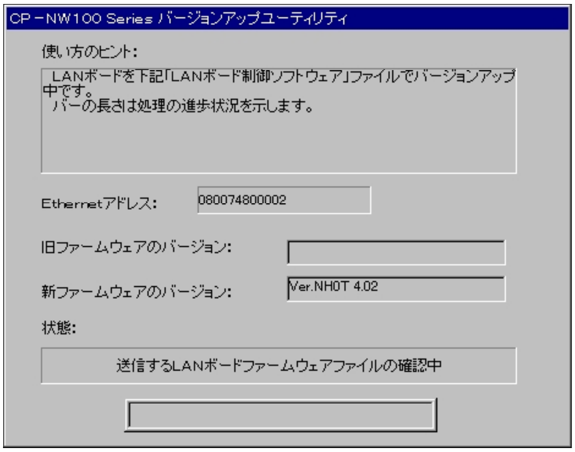
バージョンアップ対象ＬＡＮボードであれば【ＹＥＳ】をクリックしてバージョンアップを開始します。



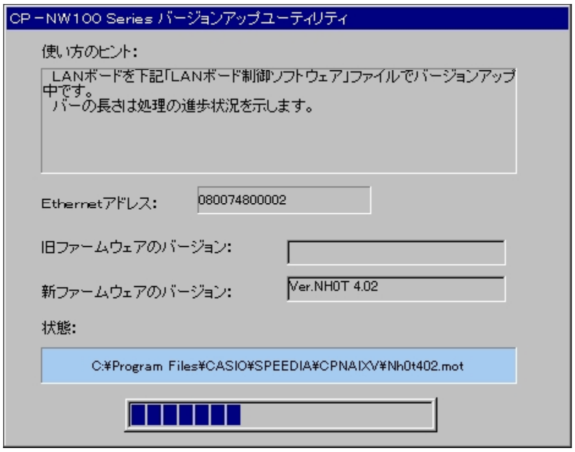
バージョンアップ対象ＬＡＮボードでなければ【ＮＯ】をクリックして手順⑤のＬＡＮボードのBoot-up(起動)待機モードにします。



⑧ＬＡＮボード制御ソフトウェア
（ＬＡＮボードのファームウェア）
ファイルの読み込み確認と転送
指定されたファイルの読み込み確認をおこないます。
確認には少し時間が掛かります。



読み込み確認が終了すると転送が開始されます。
進捗状況はプログレスバーにて表示しています。
※ファイルの転送中はプリンタの電源を切断したり、ＬＡＮボードをリセットしたりしないでください。



⑨設定用メモリ初期化の注意表示



　ＬＡＮボードバージョンアップの緊急処置では、ＬＡＮボードの各種設定用メモリのフォーマットが変更になっているかわかりませんので、設定用メモリの初期化は必ずおこなってください。バージョンアップユーティリティ（IPX版）は注意ダイアログを表示します。
　「１－４．外部設定ＤＳＷの設定」を参照して各種設定用メモリの初期化をおこなってください。

⑩ＬＡＮボードバージョンアップの終了
「正常終了しました」ダイアログが表示されることで、指定したＬＡＮボード制御ソフトウェアに正しく書き換えが完了したことを確認してください。
【ＯＫ】をクリックすると接続ダイアログへ戻ります。



⑪ＬＡＮボードバージョンＮｏ．の確認

バージョンアップを終了すると、ＬＡＮボードは書き換え後の新しい制御ソフトウェアで動作を開始します。



【再検索】をクリックして再検索をおこない、「ＬＡＮボード一覧」へバージョンアップ後のバージョンNo.で表示されますので、右下「バージョンＮｏ．」欄の表示と同じであることで、正常にバージョンアップが完了したことを確認してください。



※以下の方法で、バージョンアップが正しくおこなわれたことの確認を再度おこなってください。
1)Ｔｅｌｎｅｔ／設定ユーティリティなどで、ＬＡＮボードと通信をおこないバージョンNo.を表示させるとともに、各プロトコルが正常動作していることを確認する。
2)ＬＡＮボードのテストプリント印刷結果にて確認する。
3)しばらく待ってからプリンタ本体の「ＬＡＮ設定印刷」にて確認する。

ＬＡＮボードバージョンアップの緊急処置を実行してもＬＡＮボードが正常に動作しない場合は、その他不測の障害が発生していることが考えられます。　この場合、
お手数ですが、プリンタ本体付属の取扱説明書(CD-ROM)に記載の「お問い合わせ窓口」までご連絡ください。

６．設定可能変数一覧

６－１．設定可能変数の説明

名称/変数名	解説
パスワード admin_passwd	ＬＡＮボード設定管理者用（ユーザ名：cpadmin）パスワードです。 デフォルトは未設定です。未設定時は未入力で接続できますが、ＬＡＮボードの設定を管理者以外が安易に変えられないように設定することを推奨します。
IPアドレス ip_address	TCP/IP環境で使用するIPアドレスの値を設定します。 ip_decisionがnormalの時に有効です。
IPアドレスの決定方法 ip_decision	TCP/IP環境で使用するIPアドレスの決定方法を設定します。 ただし、外部設定ＤＳＷ５－１（ＩＰアドレス設定方法）の設定が優先です。 ・normal　ip_address変数をＩＰアドレスとします。 ・dsw　　ＩＰアドレス設定ＤＳＷの設定値をＩＰアドレスとします。 ・bootp　「BOOP」を使用してＩＰアドレスを設定します。 ・dhcp　「DHCP」を使用してＩＰアドレスを設定します。 ・rarp　「RARP」を使用してＩＰアドレスを設定します。
ネットマスク netmask	TCP/IP環境で使用するサブネットマスクの値を指定します。 指定は「xx.xx.xx.xx」の形式で行い、未設定時はIPアドレスから決定されます。 ※１
ゲートウェイ gateway	TCP/IP環境で使用するゲートウェイのIPアドレスの値を設定します。 指定は「xx.xx.xx.xx」の形式で行います。他のサブネットワークから使用する場合は、ルーターなどのネットワーク中継機器のＩＰアドレスを設定してください。 ※２
FTPパスワード ftp_passwd	FTPで接続する時のパスワードの入力要求を設定します。 ・on　ftp接続時にパスワードを要求する。 ・off　ftp接続時にパスワードを要求しない。
Keep-Alive時間 tcp_keep_alive	TCPで接続中のクライアントが正常かどうかを確認するキープ･アライブ･パケットを送信する間隔を設定します。 Keep-Alive時間を設定すると、クライアントの異常を検出し、LANボード側からTCPのコネクションを切断します。 0を設定すると、キープ･アライブ･パケットは送信されなくなります。
プリンタ制御ソフトウェアリセット機能 print_reset	プリンタ制御ソフトウェアのリセット機能の使用する／使用しないを設定します。 ・enable　プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用します。 ・disable　プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用しません。 ホストコンピュータにて印刷途中に「ドキュメントのキャンセル」をおこなった際、すでに印刷データのプリンタへの送信が開始されているとプリンタ内部に印刷データが残ってしまう場合があり、そのまま続けて印刷をおこなうと以降の印刷が正しくおこなえない場合があります。そのまま印刷をおこなわずに一度プリンタの電源を再投入してから印刷をおこなえば正く印刷されますが、本LANボードでは印刷途中に「ドキュメントのキャンセル」をおこなった場合などに、プリンタ電源の再投入の代わりにプリンタ制御ソフトウェアのリセットをおこないソフトウェアを電源投入直後と同じ状態にするようにして(個別にプリンタへ登録したデータなどは削除されることがありますので、注意してください)、ホストコンピュータから続けて印刷をおこなっても以降の印刷を正しくおこなうことができます。 また、LPRにて印刷途中にホストコンピュータやネットワーク回線に異常が発生した際などでは、キープ・アライブ・パケットの送信を行うことによりホストコンピュータの異常を検出して、LANボード側からTCP接続の切断をおこないますが、この場合もプリンタ制御ソフトウェアのリセットをおこない、他のコンピュータからの印刷を正しくおこなうことができます。 この機能はホストコンピュータにて、**CP-LPRを使用した印刷、Microsoft Windows NT/2000/XPのLPRを使用したTCP/IP印刷をお使いの場合に動作します。**　ただし、Windows 2000/XPでは「標準TCP/IPポートモニタの構成」にて**「LPRバイトカウントを有効にする」を選択しないと動作しません。**なお、ＣＡＳＩＯ スピーディアマネージャ for Network にて「ドキュメントのキャンセル」をおこなった場合は、プリンタ制御ソフトウェアのリセットをおこなわなくても正しい印刷が継続されますので、この機能を使用する必要はありません。 ※３

次ページへ

※１　DHCPを使用している場合、未設定時はDHCPサーバへ設定されている値を使用します。

※２　本LANボードでは、未設定時に他のサブネットワークとの通信が可能となりました。「ネットマスク」の設定が「0.0.0.0」および「ゲートウェイ」の設定が「0.0.0.0」の場合に他のサブネットワークとの通信が行えます。但し、通信効率は設定時よりも劣りますので、正しく設定してください。
なお、DHCPを使用している場合で未設定時は、DHCPサーバへ設定されている値を使用します。

※３　本機能はプリンタ本体が**「SPEEDIA N5000 シリーズ」**または、**「SPEEDIA N5 シリーズ」「SPEEDIA N4-614 シリーズ」「SPEEDIA CP-E8500 シリーズ」「SPEEDIA CP-E8000」**かつ、**プリンタ制御ソフトウェア(BIOS)が「Ver1.40以降」**の場合に正常に機能します。以前のバージョンをお使いの場合は、バージョンアップをおこなってください。最新のプリンタ制御ソフトウェア(BIOS)は弊社インターネットインフォメーション(http://www.casio.co.jp/ppr/)より入手できます。

名称/変数名	解説
マシン名 machine_name	NetWareで使用するLANボードのマシン名を設定します。最大15Byteまで設定が可能です。　またマシン名は、SNMPの標準MIBに定義している「システム管理名」に使用します。その他、DHCPを使用し、かつWINSを使用している環境では、WINSサーバへNetBIOS名として登録し、WINSサーバのネームサービスにより名前解決(DHCPサーバにより割り当てられたIPアドレスへのマッピングの登録と解決)時の名前としても使用します。
コメント comment	LANボードのコメントを設定します。最大48Byteまで設定が可能です。
NetWareモード nw_mode	NetWareでLANボードを使用する場合の動作モードを指定します。 ・rprinter　リモートプリンタモードで動作します。 リモートプリンタモードは、ファイルサーバ機もしくは専用のプリントサーバ機上で動作するPSERVERを介して運用されるモードです。 ※弊社としてはリモートプリンタモードでのご使用を推奨します。 ・pserver　プリントサーバモードで動作します。プリントサーバモードは、LANボード上でPSERVERを動作させて運用するモードです。 ※NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。 ・disable　使用しない。 TCP/IP環境のみでご使用の場合で、NetWareを使用しない設定にします。
パケットタイプ nw_packet	NetWareで使用するEthernetのパケットタイプを設定します。 ・ieee802_3　IEEE802.3を選択します。 ・ieee802_2　IEEE802.2を選択します。 ・ethernet_ii　ETHERNET IIを選択します。 ・auto　自動を選択します。 フレームタイプを起動時に、自動的に選択します。 検索は以下のようになっています。順次パケットタイプを変更してサーバの検索を行います。 IEEE802.2 ⟶ IEEE802.3 ⟶ ETHERNET II
SPXﾀｲﾑｱｳﾄｱﾎﾞｰﾄ nw_spx_abort	NetWareで使用するＳＰＸ監視停止タイムアウト時間を設定します。 （３０～３００秒） リモートプリンタモードで応答が受け取れないとき、セッションを終了する前にSPXﾌﾟﾛﾄｺﾙが待機する時間です。ネットワークが非常に遅い場合に値を大きくします。
SPXﾀｲﾑｱｳﾄﾘｯｽﾝ nw_spx_listen	NetWareで使用するＳＰＸ監視検査タイムアウト時間を設定します。 （１～１８０秒） リモートプリンタモードでパケットが受信できないとき，接続が有効かどうか確認するパケットを送信するまでSPXﾌﾟﾛﾄｺﾙが待機する時間です。ネットワークが非常に遅い場合に値を大きくします。
SPXﾀｲﾑｱｳﾄﾍﾞﾘﾌｧｲ nw_spx_verify	NetWareで使用するＳＰＸ確認待機タイムアウト時間を設定します。 （１～１５秒） リモートプリンタモードでSPXﾌﾟﾛﾄｺﾙが接続が有効であることを示すパケットを送信する間隔です。値を小さくすると通信異常の検知が早くなりますが，ネットワークのトラフィックは多くなります。
プリントサーバ名 pserver	接続するプリントサーバ名を設定します。最大47Byteまで設定が可能です。リモートプリンタモードを使用する場合は必ず設定してください。 指定が無い場合リモートプリンタモードでは接続を行いません。
タイムアウト timeout	リモートプリンタモードでのタイムアウト時間を設定します。 リモートプリンタモードの印字ではNetWareサーバから送られてくる印刷データが連続して一定時間来ない場合、一連の印字は終了として扱います。
ファイルサーバ名 fserver1～4	ログイン(接続)するファイルサーバの名前を設定します。それぞれ最大47Byteまで設定が可能です。プリントサーバモードでは最大４台のファイルサーバへログイン(接続)することができます。プリントサーバモードを使用する場合は、必ず１つ以上にファイルサーバ名を指定してください。 指定が無い場合プリントサーバモードでは接続を行いません。 同じファイルサーバ名を複数指定しないでください。
ポーリングタイム polltime	プリントサーバモードでのポーリング間隔を設定します。 この値を短くすると、ファイルサーバに転送された印刷データが、LANボード(プリンタ)へ転送開始されるまでの時間が短くなりますが、頻繁にプリントキュー中の印刷データ（プリントジョブ）の有無を調べるため、ファイルサーバの動作に影響を与えるか、もしくはネットワークに負荷を与える可能性があります。
パスワード **(NetWare)** nw_passwd	NetWareで使用するパスワードを設定します。最大15Byteまで設定が可能です。 プリントサーバモードの場合、ＬＡＮボードがプリントサーバとなりファイルサーバへログインするかたちとなりますが、この際に使用するパスワードを設定します。 ＰＣＯＮＳＯＬＥ上の「プリントサーバ情報」にて「パスワード」を設定した場合、同じ文字列を設定してください。

次ページへ

名称/変数名	解説
NCPｵﾌﾟｼｮﾝﾀｲﾑｱｳﾄ nw_ncp_timeout	NetWareで使用するＮＣＰタイムアウト時間を設定します。（１～２５５秒） プリントサーバモードでのポーリングパケットの応答が受信できないとき、再送信を行うまでNCPﾌﾟﾛﾄｺﾙが待機する時間です。ネットワークが非常に遅い場合に大きくします。
NCPｵﾌﾟｼｮﾝ ﾘﾄﾗｲｶｳﾝﾄ nw_ncp_retry	NetWareで使用するＮＣＰパケット再送信回数を設定します。（１～２５５回） ネットワーク上で多くのパケットが失われる場合は、この値を増やす必要があります。この値を増やすとマシン名の登録など、一部のネットワーク機能の実施に要する時間が長くなります。
SNMPモード snmp_mode	本LANボードでは、TCP/IP環境においてSNMPを使用してプリンタの状態監視を行うことができます。SNMPの動作モードを設定します。 ・enable　SNMPを使用する。 ・disable　SNMPを使用しない。 ※CP-NW100 Seriesに付属の「ＣＡＳＩＯ スピーディアマネージャ for Network」をご使用になる場合、必ず「enable」を指定してください。
コミュニティ名 snmp_name	SNMPで使用するコミュニティ名を設定します。 最大16Byteまで設定が可能です。
Trapホスト snmp_host	プリンタの状態が変化した場合に、SNMPのTrapパケットを送信するホストのIPアドレスを指定します。 指定は「xx.xx.xx.xx」の形式で行います。
ｲﾝﾃﾞｯｸｽ印刷 index	プリントジョブ毎にインデックスの印刷を行うかを設定します。 ・enable　インデックス印刷を行います。 ・disable　インデックス印刷を行いません。 ※インデックス印刷を行いますと、プリンタが印刷を行う際、各ページの端にインデックスを重ねて印刷します。インデックスの印刷位置は、印刷ジョブ毎に異なる位置となります。これにより、プリンタの排紙口に複数の印刷物がたまっていた場合に、簡単に仕分けをすることができます。
バナー banner0～2 **※４**	lpr/ftp印刷時、印刷ジョブの開始時にバナーを付加するかどうか設定します。 ・on　バナーを付加します。 ・off　バナーを付加しません。
タブサイズ tabsize1～2 **※４**	lpr/ftp印刷時、印刷データ内のタブコードをスペースデータへ展開する際のタブストップ位置の間隔を設定します。 0を指定するとタブコードはスペースコードへ展開されず、そのまま印刷を行います。指定可能範囲は、0 から 132 です。
プリンタタイプ printer_type1～2 **※４**	lpr/ftp印刷時、印刷データ内のシフトJIS漢字コードまたはEUC漢字コードを、JIS漢字コードへ変換する際のプリンタのタイプを設定します。 printer_type1にはシフトJIS漢字コードをJIS漢字コードへ変換する際のプリンタのタイプを指定します。 printer_type2にはEUC漢字コードをJIS漢字コードへ変換する際のプリンタのタイプを指定します。 ・PR201　PC-PR201H系の漢字コードへ変換します。 　プリンタ本体のプリンタモード(エミュレーション)を「201H」に設定してください。 ・ESCP　ESC/P系の漢字コードへ変換します。 　プリンタ本体のプリンタモード(エミュレーション)を「ESC/P」に設定してください。 ※指定したプリンタタイプとプリンタ本体のプリンタモード（エミュレーション）が一致していないと、正しい印刷が行われません。

次ページへ

※４　各変数の末尾の数字はプリンタポートを示しています。
- ・presto0　受信した印刷データをそのまま印刷するプリンタポートです。
- ・presto1　LPRプロトコルまたはFTPプロトコルを使用して印刷を行う際、受信した印刷データ内の**シフトJIS漢字コード**を**JIS漢字コード**に変換して印刷します。
  また、指定によりtabコードをスペースデータへ変換して印刷します。
- ・presto2　LPRプロトコルまたはFTPプロトコルを使用して印刷を行う際、受信した印刷データ内の**EUC漢字コード**を**JIS漢字コード**に変換して印刷します。
  また、指定によりtabコードをスペースデータへ変換して印刷します。

名称/変数名	解説
ジョブ開始文字列 bojstring0～2 **※4**	lpr/ftp印刷時、印字開始位置に出力される文字列を最大32Byte分、設定します。 特殊文字を指定する時は以下の様に指定してください。 ・CR(0dH)　　\r ・LF(0aH)　　\n ・TAB(09H)　　\t ・FF(0cH)　　\f ・\(5cH)　　\\ ・8進数指定　　\nnn　　例.￥115 (ASCIIｷｬﾗｸﾀ「M」を指定) ・16進数指定　　\xnn　　例.￥x4d (ASCIIｷｬﾗｸﾀ「M」を指定)
ジョブ終了文字列 eojstring0～2 **※4**	lpr/ftp印刷時、印字終了位置に出力される文字列を最大32Byte分、設定します 特殊文字を指定する時は以下の様に指定してください ・CR(0dH)　　\r ・LF(0aH)　　\n ・TAB(09H)　　\t ・FF(0cH)　　\f ・\(5cH)　　\\ ・8進数指定　　\nnn　　例.￥116 (ASCIIｷｬﾗｸﾀ「N」を指定) ・16進数指定　　\xnn　　例.￥x4E (ASCIIｷｬﾗｸﾀ「N」を指定)

※4　各変数の末尾の数字はプリンタポートを示しています。

- ・presto0　受信した印刷データをそのまま印刷するプリンタポートです。
- ・presto1　LPRプロトコルまたはFTPプロトコルを使用して印刷を行う際、受信した印刷データ内の**シフトJIS漢字コード**を**JIS漢字コード**に変換して印刷します。
  また、指定によりtabコードをスペースデータへ変換して印刷します。
- ・presto2　LPRプロトコルまたはFTPプロトコルを使用して印刷を行う際、受信した印刷データ内の**EUC漢字コード**を**JIS漢字コード**に変換して印刷します。
  また、指定によりtabコードをスペースデータへ変換して印刷します。

空白ページ

お問い合せ先

カシオ計算機株式会社
システムソリューション営業統轄部
ページプリンタ企画室

〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2
電話　03-5334-4552

テクニカル・インフォメーション・センター
電話　03-5334-4557
インターネット・インフォメーション
http://www.casio.co.jp/ppr/

CASIO SPEEDIA N5000 Series
CASIO SPEEDIA N5/N4-614 Series
CASIO SPEEDIA CP-E8500/CP-E8000 Series
CASIO COLOR PAGEPRESTO N4 Series
CASIO PAGEPRESTO CP-7000 Series

Ethernet Board ***CP-NW110***

ユーザーズマニュアル

2003年 11月 20日 第7.4版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

CPNW11-PDFUM0704